

つくば市記者会 御中

発信日：令和4年（2022年）6月9日（木）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

☐取材依頼 ☐周知依頼 ☐募集告知 ■その他

市長公約事業のロードマップ2020-2024 （2022改訂版）の公表について



令和4年6月9日（木）のつくば市議会定例会本会議行政報告において、「市長公約事業のロードマップ2020-2024（2022改訂版）」について報告をしました。

資料につきましては、添付ファイルのとおりです。また、庁舎2階記者会室内各社ボックスにも配布しております。

資料名：市長公約事業のロードマップ2020-2024（2022改訂版）

市長公約事業のロードマップ 2020-2024〈2022改訂版〉

世界のあしたが見えるまち

ともに創る

- 1 徹底した行政改革
- 2 安心の子育て
- 3 頼れる福祉
- 4 便利なインフラ
- 5 活気ある地域
- 6 誇れるまち

令和4年6月
つくば市





はじめに

2016年に市長に就任して以降、「誰一人取り残さない」という思いを胸に、対話を重ねながら「市民第一の市政」、そして「世界のあしたが見えるまち」の実現に向けて全力で取り組んできました。

1期目は、82項目のマニフェストについて、ロードマップを作成し、市民の皆さまとのコミュニケーションを重ね、市民・企業等とのパートナーシップを築き、市民とともにマニフェストを推進してきたことで、「達成」と「順調」で90.4%という成果を実現することができました。

2期目についても、「世界のあしたが見えるまち」を実現するため、135項目からなるマニフェストについて、その公約の実現に向けた事業内容やスケジュールを示したロードマップを作成しました。公約事業の進行に当たっては、1期

目と同様に、市民・企業等と行政がパートナーとしてともに事業に取り組み、対話を通じて修正しながら事業を着実に進めています。皆さまからお寄せ頂きました信頼と期待にお応えすべく、1期4年で作った流れを加速させ、「ともに創る」というスローガンの下、さらに市民第一の市政を実現するため、誠心誠意努めています。

今回の「2022 改訂版」は、令和3年度(2021年度)までの各事業の進み具合を検証し、2期目として最初の評価を公表するものです。新型コロナウイルス感染症の影響で計画どおりに実施できなかった事業もありましたが、全事業を共通の評価基準に照らし合わせ、できる限り公平・公正に評価しました。その結果、84.9%の公約事業が「おおむね順調」以上の評価となり、公約の実現に向けて、着実に事業が進んでいることをお示しできていると考えています。

本ロードマップについても皆さまから御意見・御提案を頂きながら改善を重ねていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年(2022年)6月9日
つくば市長 五十嵐 立青

本ロードマップの作成に際して



本ロードマップは、各公約について、いつまでに、どのような目標を持って、どのように取り組むのかについて工程を記載したものです。



毎年度、どこまで実現できたかを示すため、年度ごとの実施内容等を明らかにして進行管理を行います。



各公約の事業費見込みは、事業を実施する際に発生する費用などについて、想定される範囲で記載しています。（一部、想定が困難な箇所を「－」と表しています。）



本ロードマップは、作成日時点での内容となり、今後随時見直します。

進捗状況評価の概要

令和2年（2020年）12月に公表した市長公約事業のロードマップでは、公約に位置付けた各事業の個票を掲載し、実施内容とスケジュールをお示ししました。この度、令和3年（2021年）までの最終的な事業の進捗具合を評価しましたので、皆さまにお知らせします。

評価結果

達成 S : 11/166 個票※（6.6%） ➡ 当初の公約が実現した場合

順調 A : 103/166 個票（62.0%） ➡ 指標値を達成している場合

➡ 指標値がない事業は、年次計画どおり進捗している場合

おおむね

順調 B : 27/166 個票（16.3%） ➡ 指標値を達成していないが、実績において現状値（または前年度）からの改善・上昇傾向がみられる場合

➡ 年次計画どおりでないものの、着実な進捗がみられる場合

遅れ C : 25/166 個票（15.1%） ➡ 指標値を達成していない場合

➡ 指標値がない事業は、年次計画どおり進捗していない場合

未着手 D : 0/166 個票（0.0%） ➡ 事業に着手していない場合

※市長公約は全 135 事業で構成されていますが、1つの公約事業の中に複数の事務事業（担当課や事業内容が異なる事業）を位置付けて、それぞれに個票を作成しているものがあることから、全部で 166 の個票の評価としています。

公 約 事 業 一 覧

< 進捗状況評価の説明 >

- S 当初の公約が実現したもの
- A 指標値を達成しているもの（年次計画どおり進捗しているもの）
- B 改善・上昇傾向がみられるもの（年次計画どおりではないが着実に進捗しているもの）
- C 指標値を達成していないもの（年次計画どおり進捗していないもの）
- D 事業に着手していないもの

No	公約事業名称	評価	頁数
1 徹底した行政改革 さらに市民第一の市政へ			
1	スマホから「いつでも・どこでも」可能な行政手続きを実現	A	1
2	ほしい市役所の情報が自動で届き、道路破損などの気づきを気軽に通報できる双方向のシステムを導入	B	1
3	規制緩和を実現する内閣府スーパーシティ構想への申請とプライバシーを重視したデータ利活用	A	2
4	AI（人口知能）等の活用により業務効率化や行政サービス充実を推進	A	2
5	市民活動センターをリニューアルし地域活動の拠点整備	C	3
6	センタービルに便利な市役所窓口を新設	A	3
7-1	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔アイラブつくばまちづくり寄附基金〕	A	4
7-2	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔アイラブつくばまちづくり補助金〕	C	4
7-3	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔つくばこどもの青い羽根基金〕	A	5
8	持続可能な社会を実現するため、多様な主体が連携したまちづくりを推進	A	5
9	地域経済やまちづくりに貢献してきた方々への名誉市民や表彰の積極的授与によりともに創る市政を推進	B	6
10-1	区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成〔区会〕	C	6
10-2	区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成〔民生委員・児童委員〕	A	7
10-3	区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成〔ふれあい相談員〕	C	7
11-1	市政や市民の取り組みに関する情報発信の強化〔市政情報〕	B	8
11-2	市政や市民の取り組みに関する情報発信の強化〔市民情報〕	A	8
12	市役所の女性管理職の増加	C	9
13	市役所の男性職員の育休取得率向上	B	9
14	性的少数者が暮らしやすい環境づくり	A	10
15	日本語学習環境の充実等による海外出身者も住み続けたいくなるまちづくり	A	10
16	市の審議会等の会議について女性委員割合を向上させるなど多様性を高める	C	11
17	コーチングの手法活用により市役所職員の主体性をさらに引き出す	A	11
18	NPOや社会的企業等での実地研修による市役所職員の育成	A	12
19	高エネ研南側の総合運動公園用地について市民や市議会とともに方向性を決定して最終解決へ	A	12
2 安心の子育て こどもとママパパにもっとやさしい子育て環境			
20	産婦人科開設の助成金による市内で出産しやすい環境整備	B	13
21	マル福を高校生の外来診療まで拡大して家庭の負担を軽減	S	13
22-1	妊婦や子育て世帯の孤立や虐待を防ぎ、悩みに寄り添う相談事業の推進〔ホームスタート事業〕	B	14
22-2	妊婦や子育て世帯の孤立や虐待を防ぎ、悩みに寄り添う相談事業の推進〔子育て支援短期養育事業（ショートステイ）における里親の活用〕	A	14
23	不妊治療・不育症治療への支援を推進	S	15
24	市内保育所の定員拡充と月3万円の助成金による民間保育士確保の継続	A	15
25	病児保育受け入れ施設のさらなる充実	S	16
26	公立保育所の建て替え・改修の推進	A	16
27-1	公立保育所での昼食用白米持参・オムツ持ち帰りの慣行を見直し〔白米持参の慣行見直し〕	A	17
27-2	公立保育所での昼食用白米持参・オムツ持ち帰りの慣行を見直し〔オムツ持ち帰りの慣行見直し〕	S	17
28	公立幼稚園での満3歳からの受け入れを対応可能な園から試行的に開始	A	18
29	放課後児童クラブの待機児童をゼロへ	A	18
30	児童館ブレイルームのエアコン設置を推進	A	19
31-1	研究機関と連携したつくばの強みを活かす科学教育〔体験型科学教育事業（つくばSTEAMコンパス）〕	A	19
31-2	研究機関と連携したつくばの強みを活かす科学教育〔研究機関等と連携した科学教育事業〕	C	20
32	公民連携で推進するフリースクールにより不登校の児童生徒が安心して通える居場所を確保	A	20
33	「教えから学びへ」の転換を理念とする新たな教育大綱に基づく教育改革の推進	A	21
34	学習用品の共有化を推進して購入や名前記入の保護者負担を軽減	C	21
35	教職員の働き方改革を推進	A	22
36	2020年度中の一人一台の児童生徒用パソコン整備	S	22
37	理科室・音楽室等の特別教室のエアコン設置を推進	A	23
38	つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設	A	23
39	県立・私立高校の誘致に向けた県や私立学校への働きかけ	A	24

No	公約事業名称	評価	頁数
40	雨漏り対策など長寿命化の推進〔学校施設〕	A	24
41	児童生徒増加に対応するため給食センターの提供可能給食数を増加	A	25
3 頼れる福祉 すべての人が自分らしく生きる社会			
42	身近な地域で運動や趣味の活動ができる「高齢者憩いの広場」の整備を市内全域で推進	B	25
43	コロナに負けず健康を維持するための体力づくり支援	C	26
44	市内全域に整備した地域包括支援センターにより身近な福祉相談を推進	S	26
45	高齢者の地域での活躍を支え、いつまでも地域で役割や生きがいを持てる人生100年時代への支援	A	27
46	特別養護老人ホームの受け入れ環境を充実させて利用待機者を減らし安心の老後へ	C	27
47	高齢者向けスマホ教室を開始し、離れて暮らす家族や友人とのテレビ電話などを可能に	A	28
48	移動スーパー等による買い物しやすい環境の充実	B	28
49	こどもと保護者への支援が切れ目なく受けられる児童発達支援センターの開設	B	29
50-1	障害児保育環境の充実〔保育所等訪問支援等〕	A	29
50-2	障害児保育環境の充実〔障害児受入体制の拡充〕	S	30
51	特別支援教育支援員の充足による学習環境整備と一人一人の個性を大切にする教育の質向上	A	30
52	市内のバリアフリー化促進に関するマスタープラン策定と公共施設等の対応推進	A	31
53	市役所への遠隔手話通訳システム導入	A	31
54	精神障害者保健福祉手帳2級所持者への医療費助成実現に向けて茨城県と交渉を推進	A	32
55	障害者福祉タクシー利用料金助成についてタクシーを利用しない場合に他の交通手段の助成を選べる選択制へ	A	32
56-1	こどもたちが安心して過ごせる学習拠点やみんなの食堂の整備推進〔つくばこどもの青い羽根学習会〕	S	33
56-2	こどもたちが安心して過ごせる学習拠点やみんなの食堂の整備推進〔みんなの食堂〕	B	33
57	つくば市独自で新設したひとり親家庭の病院外来自己負担金助成の継続	A	34
58	つくば市民の陽性患者の入院を受け入れた病院を助成金により支援	S	34
59	陽性患者や感染発生施設、医療従事者への差別を防ぐ意識啓発	A	35
60	殺処分のための茨城県動物指導センターへの犬猫引渡頭数をゼロへ	A	35
4 便利なインフラ 快適で持続可能なインフラ整備			
61-1	公共交通をさらに便利にするための市民との対話と改善の継続、近隣自治体との連携推進〔市民との対話と改善の継続〕	A	36
61-2	公共交通をさらに便利にするための市民との対話と改善の継続、近隣自治体との連携推進〔近隣自治体との連携推進〕	A	36
62-1	自転車の拠点整備やシェアサイクル導入と自転車通勤への転換支援〔自転車の拠点整備〕	A	37
62-2	自転車の拠点整備やシェアサイクル導入と自転車通勤への転換支援〔シェアサイクル導入〕	A	37
62-3	自転車の拠点整備やシェアサイクル導入と自転車通勤への転換支援〔自転車通勤への転換支援〕	A	38
63	都市計画決定後も整備が難航している都市計画道路の開通に向けて交渉を加速	B	38
64	交通量増加に伴い深刻化している渋滞対策を推進	C	39
65	ベデストリアンデッキ周辺の魅力創出による歩きたくなるまちづくり	C	39
66	街路樹の保護を重視した道路管理	A	40
67	災害に備えて物資を保管する防災倉庫の整備	A	40
68	通学路等の防犯灯整備や安全対策をさらに推進	B	41
69	区会等の防犯カメラ設置補助を新設	B	41
70	防災無線整備と防災無線を補う災害時連絡手段の活用	A	42
71	避難行動要支援者の個別避難計画の策定推進	A	42
72	公設墓地整備の検討を開始	A	43
73-1	上下水道の管路整備と管路更新の推進〔上水道管路整備、更新〕	B	43
73-2	上下水道の管路整備と管路更新の推進〔下水道管路整備、更新〕	A	44
74	上水道整備後の簡易水道設備の撤去について地域との検討を推進	B	44
75	公共施設の効率的な維持管理のための計画策定を推進	A	45
76-1	余った食品の利活用や落ち葉等の堆肥化を推進〔余った食品の利活用推進〕	C	45
76-2	余った食品の利活用や落ち葉等の堆肥化を推進〔落ち葉等の堆肥化推進〕	C	46
77-1	食べ残しなどの食品ロス削減に向けた啓発活動〔フードドライブ等〕	A	46
77-2	食べ残しなどの食品ロス削減に向けた啓発活動〔家庭及び飲食店等の食品ロス削減推進〕	B	47
78	芝野焼き対策のためのストックヤード増設	A	47
79	低炭素の省エネ住宅への補助や公共施設の省エネ化の推進	A	48
80	市街化調整区域の既存集落への住宅立地基準緩和を活用した居住促進	A	48
81	違法看板などの是正による景観保護	A	49
5 活気ある地域 つながり力を活気ある地域へ			
82	周辺市街地8地区で取り組んできた地域振興のさらなる発展と他の周辺地域や団地への横展開	A	49
83	ジビエとしての活用等のイノシシ対策のさらなる推進	B	50
84	周辺地域への市内中心部や市外からの移住を推進	B	50

No	公約事業名称	評価	頁数
85-1	周辺地域での取り組みの事業化・収益化を支援して持続的な活動へ 〔既存商店街等空き店舗活用補助事業〕	A	51
85-2	周辺地域での取り組みの事業化・収益化を支援して持続的な活動へ〔地域資源収益化支援事業〕	A	51
86-1	学校との連携により、地域活性化の取り組みを学びの機会へ〔S高等学校との連携〕	A	52
86-2	学校との連携により、地域活性化の取り組みを学びの機会へ〔大学・高校・小中学校との連携〕	A	52
87	新設した空き家活用補助金等による空き家問題への対策の推進	C	53
88-1	筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ〔ジオパークの拠点〕	A	53
88-2	筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ〔サイクリングの拠点〕	A	54
89	筑波西中跡地に誘致する広域通信制高校との連携による地域活性化	A	54
90-1	小貝川や地域の商店等の地域資源を活かした誘客推進〔小貝川周辺の周遊観光促進〕	A	55
90-2	小貝川や地域の商店等の地域資源を活かした誘客推進〔周辺市街地活性化支援〕	B	55
91	道路の整備や拡幅の推進により大穂地区の東西移動をさらに円滑に	C	56
92	上郷高校跡地の利活用方針決定へ	B	56
93-1	豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上〔豊里ゆかりの森〕	C	57
93-2	豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上〔川口公園〕	A	57
93-3	豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上〔小貝川周辺の周遊観光促進〕	A	58
93-4	豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上〔小貝川等の魅力向上〕	B	58
94	桜庁舎跡地を活用した地域活性化推進	A	59
95	都市計画道路妻木金田線の整備に向けた交渉の加速	A	59
96-1	谷田部庁舎跡地への交番誘致や暫定的なイベント広場としての整備〔交番誘致〕	S	60
96-2	谷田部庁舎跡地への交番誘致や暫定的なイベント広場としての整備〔イベント開催支援〕	C	60
97	圏央道・つくば中央インターチェンジ周辺の土地利用を促進	C	61
98	荳崎庁舎跡地を活用した地域活性化推進	A	61
99	荳崎こもれび六斗の森や牛久沼のアウトドア拠点としての魅力向上	C	62
100	複数校で共同利用する温水プールを市民も利用できるよう整備	A	62
101	つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計	A	63
102-1	つくばエクスプレス沿線への交番や郵便局の誘致活動を推進〔交番誘致〕	A	63
102-2	つくばエクスプレス沿線への交番や郵便局の誘致活動を推進〔郵便局誘致〕	A	64
103	コロナの影響を受けている地元企業の相談体制を充実させ一元的にサポート	B	64
104	コロナの影響で就職先やアルバイトが減少している学生等と地元企業のマッチング	A	65
105-1	地域の事業を将来につなげる新規事業への挑戦や事業承継を支援〔新規事業への挑戦を支援〕	A	65
105-2	地域の事業を将来につなげる新規事業への挑戦や事業承継を支援〔事業承継を支援〕	A	66
106	起業家や研究機関と地元企業の連携による新規事業創出	A	66
107	総合評価方式の拡充等さらなる入札改革	A	67
108	空き店舗やチャレンジショップを活用した新規事業や創業の支援	B	67
109-1	企業の流出を食い止めるための中心市街地でのオフィス環境充実〔既存空き物件情報発信等〕	A	68
109-2	企業の流出を食い止めるための中心市街地でのオフィス環境充実 〔多様な働き方を支援する場の整備等〕	A	68
110	企業誘致のための受け入れ環境の充実	A	69
111	物産品の販路開拓やブランディングをサポート	A	69
112-1	日本酒・ワイン等の地酒振興に向けた取り組みを推進〔地酒の普及活動等〕	C	70
112-2	日本酒・ワイン等の地酒振興に向けた取り組みを推進〔ワイン産業の振興等〕	A	70
113	地元飲食店でのつくば産農産物の使用促進	A	71
114	「地産地消推進ガイドライン」により学校給食での地元食材利用を推進	B	71
115	若手農業者等の新規就農者育成による担い手確保	A	72
116	研究機関や企業等が持つ技術の社会実装のため、必要となる調整ごとを市役所が徹底支援	A	72
6 誇れるまち つくばの魅力をと共に創る			
117	老朽化が課題となっているセンタービル・センター広場のリニューアル	A	73
118	中心市街地の再生を担うまちづくり会社の立ち上げ	S	73
119	中心市街地の中核となるエリアに都市機能を集積させるため、マンション等の新たな住宅建設に関する制限導入	B	74
120	国家公務員宿舎跡地の再開発によるつくば駅周辺の活性化を促進	A	74
121	図書館懇話会提言書で示された公園のように自由な図書館「ふれあいライブラリーパーク」の理念を実現する中央図書館の施設改修	A	75
122	廃校を活用した文化芸術の新たな活動拠点整備	A	75
123	コロナで活動が困難になっている文化芸術・伝統芸能の支援	B	76
124	公式記録の取れる陸上競技場の整備	B	76
125	障害者スポーツ支援と体験機会のさらなる充実	C	77
126	シャワーを浴びられるランニング拠点の充実	A	77
127-1	筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荳崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実 〔筑波ふれあいの里〕	C	78

No	公約事業名称	評価	頁数
127-2	筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荳崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実 〔豊里ゆかりの森〕	C	78
127-3	筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荳崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実 〔荳崎こもれび六斗の森〕	C	79
128	筑波山観光案内所の建て替えによる観光客の利便性向上	A	79
129	道の駅整備の検討を推進	A	80
130	多言語での情報発信や案内の充実により外国人観光客にもさらに魅力的な観光地へ	A	80
131	筑波山山頂水道の渇水対策を推進	A	81
132	公園に滞在したくなるようなプレイスメイキングや店舗の出店促進	A	81
133	子どもが自由に自然の中で遊べるプレイパークの整備を推進	A	82
134-1	公園ごとの特色を大切にした維持管理と情報発信の充実〔官民連携・地域住民との連携等〕	A	82
134-2	公園ごとの特色を大切にした維持管理と情報発信の充実〔公園の維持管理等〕	A	83
135	スケートボードパークの整備について検討を開始	A	83

市長公約事業は全135事業で構成されていますが、1つの公約事業の中に複数の事務事業（担当課や事業内容が異なる事業）を位置付けて、それぞれに個票を作成しているものがありますので、全部で166の個票となっています。

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	1	公約事業名称	スマホから「いつでも・どこでも」可能な行政手続きを実現				担当部課	政策イノベーション部情報政策課、スマートシティ戦略課 市民部市民窓口課			
内容		スマホを使って、「いつでも・どこでも」可能な行政手続を実現する。また、情報弱者に対しても、窓口においてデジタルで手続ができるようにする。									
進捗評価		順調 A	評価の分析		該当手続27件のうち、9件の手続がスマホでできるようになった(実績値33.3%)。スマホとマイナンバーカードを使用して住民異動届出書の作成や証明書をオンラインで請求することができるようシステムを導入した。						
重要業績評価指標(KPI)		市民窓口課の各種手続のうち、スマホで手続ができる割合(%) (年間取扱件数概ね1,000件以上の手続について、スマホで手続ができるようにする 該当手続27件)					現状値(指標設定時)		3.7%		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		30.0		41.0		67.0		77.8	
実績値		7.4		33.3							
実施内容 [凡例] 計画 実績	電子申請システムの運用・拡充										
	デジタル・ガバメント推進会議での検討・実施										
	窓口のデジタル化										
	スマートシティ協議会行政サービス分科会との連携										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	32,597	2,189	1,553	3,460		2,525		2,525	
備考		・2020年度に新たに電子申請システムを構築し、スマホから住民票の写しの交付請求、転出届ができるシステムを2021年2月から稼働。さらに、2021年度には、印鑑証明書等の交付請求や戸籍証明書の交付請求を追加した。今後は、対応可能な電子申請手続を拡充していく。 ・デジタル・ガバメント推進会議で進めていた「書かない窓口」が2021年10月にスタートし、今後は利用率拡大に努めていく。また、新たに構築される「つくスマ」において、1つの入口からあらゆる手続ができるよう関係部署間で調整していく。									

公約番号	2	公約事業名称	ほしい市役所の情報が自動で届き、道路破損などの気づきを気軽に通報できる双方向のシステムを導入				担当部課	政策イノベーション部スマートシティ戦略課			
内容		スマートフォンアプリに属性を登録し、個人情報の取扱方針等に同意した市民に対し、属性情報(※1)、移動情報、閲覧履歴等から必要性が高いと思われる生活、イベント、防災・防犯、行政手続に関する情報等を多言語により必要な方に自動でお知らせするポータルサイトを構築する。この際、市に対する意見や道路破損などの気づきを市民が気軽に通報できるようにする。※1 本個票で使用する「属性」とは、例えば、年齢、性別、居住地、家族構成、職業、収入など、個人の特性をいう。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析		つくばスマートシティ協議会のアプリ整備プロジェクトを立ち上げ、「つくスマ」アプリの開発を行った。公開日を2022年4月11日としたことから、2021年度のダウンロードは未達となった。						
重要業績評価指標 (KPI)		スマートフォンアプリをダウンロードした市民の割合 (%)						現状値 (指標設定時)		0%	
								現状値 (2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		0.0		5.0		10.0		15.0		20.0	
実績値		0.0		0.0							
実施内容 [凡例] 計画 実績	仕様作成										
	運用										
事業費見込み (千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		1,600	1,600	0	0	24,584		8,799		8,799	
備考		【目標値の考え方】 2021年度から毎年 12,250D増 (外国人2,500D (25%) 大学生4,500D (25%) 転入者3,250D (25%) 小学一年生両親2,000D (40%))として計算 (D: ダウンロード)									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約 番号	3	公約事業名称	規制緩和を実現する内閣府スーパーシティ構想への申請とプライバシーを重視したデータ利活用				担当部課	政策イノベーション部スマートシティ戦略課			
内容		民間事業者等との連携を進め、プライバシーを重視したデータ利活用と規制改革により、社会課題の解決を図る革新的なサービスを生み出すとともに、そこから新たな成長産業を創出する好循環を生み出すことにより、便利で快適な人中心の未来都市の構築を目指す。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2021年4月に「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の申請を行い、2022年3月10日に開催された国家戦略特別区域諮問会議において、つくば市をスーパーシティ型国家戦略特別区域に指定することが決定された。							
重要業績 評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	構想作成										
	申請										
	申請内容の実施 ※採択された場合										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	14,739		45,739		42,739	
備 考											

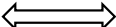
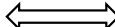
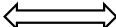
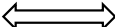
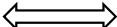
公約 番号	4	公約事業名称	AI(人口知能)等の活用により業務効率化や行政サービス充実に推進					担当部課	政策イノベーション部情報政策課			
内容	既存のRPA、AI-OCR、議事録AI等を活用し、自動化による業務効率化を推進するとともに、自治体に役立つ先進的なAI等の技術に着目し、導入について積極的に検討し、さらなる業務効率化や行政サービスの充実に推進していく。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	RPA/AI-OCRの導入部署は38部署に達し、議事録AIの利用数も年間300件を超えている。								
重要業績 評価指標 (KPI)	業務自動化等による導入前の業務時間に対する削減時間数(時間)							現状値(指標設定時)		2,900時間		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		
目標値			3,200	3,700		4,200		4,500		5,000		
実績値			3,465	14,959								
実施内容 [凡例] 計画 実績		RPA、AI-OCRの普及促進										
		AI議事録システムの導入										
		イノベーションスイッチ(共同研究)の実施										
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			15,496	13,190	9,818	8,482	9,562		11,000		12,000	
備考	2021年度の実績は、「紙の予診票からワクチン接種記録システムへの転記」が1万時間超と突出しているが、当該作業は一過性のものであり、既に入力用タブレットの普及により医療機関等が直接入力できる環境が整備されてきたことから、2022年度は激減する見込みである。											

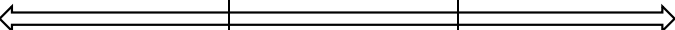
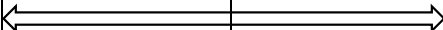
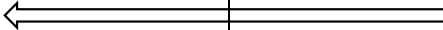
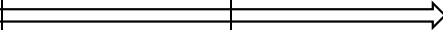
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	5	公約事業名称	市民活動センターをリニューアルし地域活動の拠点整備				担当部課	市民部市民活動課 都市計画部学園地区市街地振興課			
内容		市民活動センターをリニューアルすることで、市民の活動環境や相談体制の充実を図る。併せて、市民団体等が行う活動の情報提供や市民団体等のネットワーク化を図る。									
進捗評価		遅れ C	評価の分析		市民活動に関する専門的要素の高い講座(助成金活用、Zoom活用等)を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響から利用人数は増加しなかった。						
重要業績 評価指標 (KPI)		市民活動センター利用人数						現状値(指標設定時)		5,795人	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		6,000		6,000		6,500		7,000		7,500	
実績値		2,844		1,742							
実施内容 [凡例] 計画 実績	施設の検討・整備										
	(仮称)市民総合活動 センター開設										
	各種相談										
	市民団体のネットワーク化 (利用団体間の交流促進等)										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		13,583	13,054	10,034	8,134	9,771		9,771		9,771	
備 考		・つくばセンタービルのリニューアルについては、つくばセンター地区に関連する他の市民施設(吾妻交流センター、国際交流協会、消費生活センター、ノバホール小ホール)の再整備を進めている(公約番号117に掲載)。 ・市民団体のネットワーク化については、新型コロナウイルス感染症の影響から市民団体等利用者懇談会を実施できなかった。 ・2021年4月にセンター運営を指定管理者から市直営へ変更した。									

公約 番号	6	公約事業名称	センタービルに便利な市役所窓口を新設					担当部課	市民部市民窓口課 都市計画部学園地区市街地振興課				
内容		2023年春のつくばセンタービルリニューアルオープンに合わせ、行政手続ができる窓口施設のなかったつくばセンター地区に窓口センターを新設し、市民の利便性向上を図る。多様なライフスタイルに合わせ、夜間・土日でも利用可能な窓口とする。											
進捗評価		順調 A		評価の分析		市民がより利用しやすい場所として、BiViつくばにあるつくば総合インフォメーションセンター交流サロンを改修して窓口を新設することとした。なお、開設予定時期については当初と変更はない。							
重要業績 評価指標 (KPI)		—					現状値(指標設定時)		—				
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—				
				2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値				—		—		—		—		—	
実績値				—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	施設の検討・整備												
	運営方法の検討												
	市民窓口の開設												
事業費見込み(千円)		予算額		決算額		予算額		決算額		予算額		決算額	
		0		0		0				20,820			
備 考		つくばセンター地区の特性を踏まえた業務内容や業務形態を進めていく。											

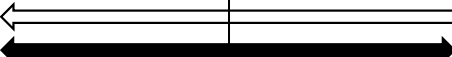
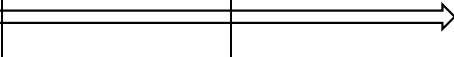
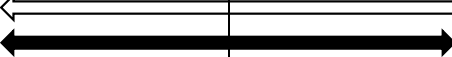
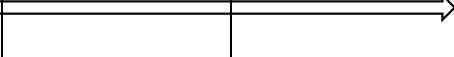
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	7-1	公約事業名称	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔アイラブつくばまちづくり 寄附基金〕				担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦略 室				
内容	市の魅力発信に取り組み、寄附金をアイラブつくばまちづくり実践団体を中心とした市民主体の地域活動や市民活動の促進などに、積極的に活用するとともに、寄附金の使い道について公表し、寄附制度活用の周知を図る。〔アイラブつくばまちづくり寄附基金〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析	寄附者の希望する使途に従って、寄附金をアイラブつくばまちづくり補助事業など市民主体の地域活動を促進するための財源として活用し、その使い道も市ホームページ等で公表するなど、順調に推移している。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	寄附金活用先の調整		 		 							
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			113,958	111,982	177,028	257,525	309,877		0		0	
備 考												

公約 番号	7-2	公約事業名称	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔アイラブつくばまちづくり補助金〕				担当部課	市民部市民活動課				
内容	アイラブつくばまちづくり寄付基金等を活用し、市民活動に対して補助金を交付するとともに、事業の自立に向けた活動支援を行う。〔アイラブつくばまちづくり補助金〕											
進捗評価	遅れ C		評価の分析		新型コロナウイルス感染症の影響から市民団体等の活動制限により補助金採択事業数は増加したが、目標値には達しなかった。							
重要業績 評価指標 (KPI)	補助金採択事業数						現状値(指標設定時)		30件			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			30		30		30		35		35	
実績値			19		22							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	補助金の交付											
	市民活動活性化 への検証											
	事業の自立支援											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			7,012	3,572	7,275	2,877	7,184		7,184		7,184	
備 考												

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	7-3	公約事業名称	地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔つくばこどもの青い羽根基金〕				担当部課	こども部こども未来課			
内容		子どもの未来支援のための寄付金を募り、学習支援事業や学習塾代助成、みんなの食堂、居場所づくり支援事業といった子どもの未来支援事業に活用する。〔つくばこどもの青い羽根基金〕									
進捗評価		順調 A	評価の分析		市内全域の企業への周知のため送付宛先の見直しを行うとともに、区会への周知のため市内全区長に事前の寄附依頼通知を送付することで、寄附件数の増加を図った。						
重要業績 評価指標 (KPI)		年間寄附件数 対前年度比 10%増					現状値(指標設定時)		416件		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		457		502		552		607		667	
実績値		577		640							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	計画										
	実施										
	検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		620	290	712	521	797		797		797	
備考	青い羽根基金の周知が浸透し、事業に対する理解と賛同が増え、子どもの未来を支援する意識を醸成できた。 2021年度寄付実績: 14,193,324円、640件										

公約番号	8	公約事業名称	持続可能な社会を実現するため、多様な主体が連携したまちづくりを推進				担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦略室			
内容		SDGsを通じたネットワークを市内に構築し、SDGsの取組を推進するため、SDGsの基礎的な知識を得るための講座を受講した個人とSDGsに取り組んでいる、又は取り組む意欲のある企業・団体等を「つくばSDGsパートナーズ」に認定し、会員対象に社会課題解決型ワークショップ「SDGsTRY」を実施している。個人会員と企業・団体等の団体会員が連携し、地域の課題を自ら解決するための活動をしていくことで、持続可能なまちづくりの実現を目指す。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2020・2021年度でワークショップ7回、会員交流会2回、地域活動7回を行い、目標値を上回る結果となり、順調に推移している。							
重要業績評価指標 (KPI)		社会課題解決型ワークショップ「SDGsTRY」の開催回数(活動を含む) ※「活動」とは、SDGsTRY参加者が実践する社会課題解決や、つくばSDGsパートナーズの会員交流会などを指す。						現状値(指標設定時)		2回	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		4		4		4		4		4	
実績値		6		10							
実施内容 [凡例]	ワークショップ実施及び地域活動の実施										
	個人会員と団体会員間の連携事業実施										
計画											
実績											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		4,334	4,334	4,334	4,297	4,317		4,681		0	
備考		・ワークショップを通して、SDGsTRY参加者による具体的な社会課題解決の実践を目指す。 ・2020年度(ワークショップ3回、会員交流会1回、地域活動2回)、2021年度(ワークショップ4回、会員交流会1回、地域活動5回)									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	9	公約事業名称	地域経済やまちづくりに貢献してきた方々への名誉市民や表彰の積極的授与によりともに創る市政を推進				担当部課	市長公室秘書課				
内容	地域経済やまちづくりに貢献してきた方々の実績等をたたえ、名誉市民や表彰を積極的に授与することで、市政の発展に資する。											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析	新型コロナウイルス感染症の影響で表彰を見送ることとなったが、そこまでの方針の見直し検討や庁内への照会等は予定通り実施した。								
重要業績評価指標 (KPI)	表彰者数						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		0人			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		— → 50		— → 50		— → 50	
実績値			—		0							
実施内容 [凡例] 計画 実績	方針の見直し検討											
	庁内への照会等											
	実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			152	0	270	80	466		466		466	
備考	・つくば市名誉市民候補者選定検討会議を開催し、候補者の選定基準や募集方法を検討した。庁内に照会をかけたが、感染拡大防止のため表彰を見送った。 ・候補者の選定基準等を検討したことで今後の見通しが立ったため、表彰者数をKPIとして設定した。 ・予算額に賞状筆料の5千円を計上することとしたため、各年度の予算額を5千円増で修正した。											

公約 番号	10-1	公約事業名称	区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成〔区会〕				担当部課	市民部市民活動課				
内容	区会活動を支援するとともに、地域を支える人材を育成するため地区リーダー勉強会等の充実を図り、地域コミュニティの活性化を目指す。〔区会〕											
進捗評価	遅れ C		評価の分析		地区リーダー勉強会及び市長・区長サミットについては、開催に向けて企画、準備等を行ったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。							
重要業績 評価指標 (KPI)	人材づくりイベント参加者数(地区リーダー勉強会)						現状値(指標設定時)		70人			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		70		80		90		100	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	行政情報の提供 集会所建設等補助金											
	地区リーダー勉強会											
	市長・区長サミット											
	検証											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			151,903	148,280	146,900	139,939	144,391		144,391		144,391	
備考	地区リーダー勉強会の参加対象者を区会関係者以外にも拡大するため、ホームページ等で周知する。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	10-2	公約事業名称	区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成〔民生委員・児童委員〕				担当部課	福祉部社会福祉課			
内容	民生委員・児童委員の要望を取り入れながら研修を実施する。〔民生委員・児童委員〕										
進捗評価	順調 A		評価の分析	定例会等において委員から研修内容についての要望を聞き取り、委員の資質向上を目的とした研修を実施した。							
重要業績 評価指標 (KPI)	研修の開催回数 (2023年度までに30回)						現状値(指標設定時)		16回		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		16		22		28		30		30	
実績値		37		46							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	計画										
	実施										
	検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		30,200	26,067	30,200	27,031	31,437		32,504		32,504	
備 考											

公約 番号	10-3	公約事業名称	区会、民生委員・児童委員等の活動支援や担い手育成〔ふれあい相談員〕				担当部課	福祉部社会福祉課				
内容	つくば市社会福祉協議会で実施している地域見守りネットワーク事業において、地域から選出された「ふれあい相談員」が区長や民生委員と連携して活動を行っている。「ふれあい相談員」の設置数を増加させることにより、区会、民生委員・児童委員等の活動支援や将来の担い手育成につなげていく。〔ふれあい相談員〕											
進捗評価	遅れ C		評価の分析		つくば市社会福祉協議会を補助することで活動の促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で周知機会が減少したことや、相談員の高齢化により健康上の理由による辞職が多く、目標値には達しなかった。							
重要業績 評価指標 (KPI)	ふれあい相談員の設置数						現状値(指標設定時)		160人			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			161		172		183		194		205	
実績値			157		138							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	計画 実績	計画 実績	計画		計画		計画		計画		計画	
			実績		実績		実績		実績		実績	
			検証		検証		検証		検証		検証	
			検証		検証		検証		検証		検証	
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	最終的に民生委員・児童委員と同数となることを目指す。(2021年度:271人)											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	11-1	公約事業名称	市政や市民の取り組みに関する情報発信の強化〔市政情報〕				担当部課	市長公室広報戦略課			
内容		市民に市政情報をより深く知っていただくことを目的に、新たな取組として、「市政情報かわら版」を制作し、区会回覧(全戸配布)にて配布する。また、広報紙において、年間数回程度、政策情報の特集ページを新設することで、地域の隅々まで情報を浸透させていく。〔市政情報〕									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析	目標値には達しなかったものの、年6回の区会を通じた市政情報かわら版の配布や、年間を通じて広報紙面上での市政情報特集ページの掲載などを行った。							
重要業績 評価指標 (KPI)		広報紙(広報つくば、市政情報かわら版)による情報発信について「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した人の割合(市民意識調査、%)					現状値(指標設定時)		58.9%(広報紙の満足度のみ)		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		61.3		— → 62.4		63.6		— → 64.9	
実績値		—		59.0							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	「市政情報かわら版」 「広報紙政策情報ページ」 への掲載内容の検討										
	「市政情報かわら版」 の制作・発行										
	「広報紙政策情報ページ」 の制作・発行										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		279	255	1,881	1,233	3,892		3,892		3,892	
備 考		・市政情報かわら版を2020年度に1回(2021年3月)、2021年度に6回(2021年5、7、9、11月、2022年1、3月)発行した。 ・広報つくばの紙面上では、毎月、タイムリーな市政情報を掲載した。 ・市公式YouTubeにおいて新たに「つくば市かわら版チャンネル」を開設し、動画を活用した市政情報の発信を行った。 ・KPIについて、毎年度測定することが可能となったため、隔年の設定から改めた。									

公約 番号	11-2	公約事業名称	市政や市民の取り組みに関する情報発信の強化〔市民情報〕				担当部課	市長公室広報戦略課				
内容	庁内で把握している市民の取組や活動に関する情報を広報戦略課に集約し、市が有する情報発信手段(公式ホームページ、Facebook、Twitter、Instagram等)で、定期的に発信を行う。情報発信を強化していくことで、現在活動している市民の活動意欲を更に向上させる。また、市職員向けの講座を開催し、情報発信に関する知見を深めていく。〔市民情報〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		年間を通じて、市公式SNSを活用し、市民による取組や活動についての情報発信を行ったほか、市職員向けに広報力向上のための講座を実施し、情報発信の強化を行った。							
重要業績 評価指標 (KPI)	市民の取組に関する情報発信件数(延べ件数) ※現状値(2021年度)を算出し、2022年度以降の目標値を新たに設定した。						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		49件			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		— → 55		— → 60		— → 65	
実績値			—		49							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	市民の取組に関する 情報の集約											
	情報の発信(公式ホーム ページ、Facebook、Twitter、 Instagram等)											
	市職員向け情報講座 の開催											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			2,379	1,356	1,286	790	22,764		4,650		4,650	
備 考	・各課からの情報を集約し、年間を通じて市民の活動やイベント等について市公式Facebook等で情報発信を行った。 ・対面型の市職員向け講座を実施するとともに、職員一人ひとりの業務形態に合わせて受講が可能となる動画配信を実施した。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約 番号	12	公約事業名称	市役所の女性管理職の増加				担当部課	総務部人事課、組織開発推進室、ワーク ライフバランス推進課				
内容	つくば市職員のワークライフバランス推進プランで示された長時間労働の是正に向けた取組、仕事と家庭生活の両立支援に関する取組、働きやすい職場環境の構築に向 けた取組、女性職員の活躍を推進するための取組を積極的に促進し、女性が管理職としてやりがいと意欲をもって活躍できる職場づくりを進める。											
進捗評価	遅れ C		評価の分析		両立支援の取組みは継続的に実施しているが、現段階では、目標にある女性管理職割合に直結していない。							
重要業績 評価指標 (KPI)	行政職給料表適用の職員における女性管理職割合(%)						現状値(指標設定時)		24.2%			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		26.0		28.0		29.0		30.0	
実績値			24.2		23.4							
実施内容 [凡例] 計画 実績	長時間労働の是正に 向けた取組の実施											
	仕事と家庭生活の両立 支援に関する取組の実施											
	働きやすい職場環境の構築 に向けた取組の実施											
	女性職員の活躍を推進 するための取組											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			85	85	85	85	330		330		330	
備 考	・2020年度、2021年度は課長補佐級研修において「女性活躍推進」について研修を実施。 ・2022年度の新たな取組として、管理職候補となっていく係長級職員のうち、特に新任女性係長を対象に、2021年度に育成した庁内コーチがコーチングを行うことを予定して いる。このコーチングにより、着任初期の悩みや迷い等に寄り添うとともに、自身が目指す係長像等について対話を行っていく。											

公約番号	13	公約事業名称	市役所の男性職員の育休取得率向上				担当部課	総務部ワークライフバランス推進課			
内容		子どもが生まれる男性職員へのサポートを充実させ、男性職員の育児休業取得率の向上を図る。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析		一部、育児休業を取得していない職員もみられるものの、制度の個別説明を継続的に実施することで、育児休業を取得しやすい組織風土が醸成され、育児休業取得率は徐々に上昇している。						
重要業績評価指標 (KPI)		男性職員の2週間以上の育児休業取得率(%)					現状値(指標設定時)		41.9%		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		80		100		100		100		100	
実績値		74.5		89.6							
実施内容 [凡例] 計画 実績	男性職員とその所属長への個別説明	←		→						→	
	全庁的な啓発	←		→						→	
	パパ'sランチ(※)の開催	←		→						→	
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備考		(※) パパ'sランチとは、市長と子どもが生まれたばかりの男性職員とのランチミーティングのこと。 新型コロナウイルス感染状況により、開催を検討する。									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	14	公約事業名称	性的少数者が暮らしやすい環境づくり				担当部課	市民部男女共同参画室						
内容	性的多様性に関する意識醸成のため、広報やセミナーを継続的に実施する。また、各種申請書やアンケート等において、性別記載欄の改定を実施する。													
進捗評価	順調 A		評価の分析		性的マイノリティに関するセミナーを開催したほか、「男女共同参画室だより」を発行し、意識啓発を行った。また、庁内の各種申請書等の性別記載欄等の調査結果を全庁に報告し、見直し可能な性別記載欄等について協力依頼を行った。									
重要業績評価指標 (KPI)	性的多様性に関する啓発のためのセミナー参加人数 (累計) ※ 適正な評価をする観点から、これまでのKPI「セミナー実施回数」から変更した。						現状値 (指標設定時)		—					
							現状値 (2021年度末) ※今回、指標設定する場合		40人					
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度			
目標値			—		1 → 40		1 → 70		1 → 100		1 → 130			
実績値			—		40									
実施内容 [凡例] 計画 実績	意識啓発事業													
	性別記載欄調査・検証													
	性別記載欄改定・周知													
事業費見込み (千円)			予算額		決算額		予算額		決算額		予算額		決算額	
			20		0		33		33		20			
備考	・男女共同参画セミナーの開催 開催日:2021年7月15日、テーマ:性的マイノリティ当事者から見たダイバーシティ、参加人数:40人。 ・男女共同参画室だより(子ども向け)の発行 発行日:2021年7月、テーマ:みんなが自分らしくいられる、性別のあり方とLGBTについて ・各種申請書の性別記載欄に関する調査報告 2021年7月、2021年3月に実施した調査結果を全庁に報告し、見直し可能な性別記載欄等について協力依頼を行った。													

公約番号	15	公約事業名称	日本語学習環境の充実等による海外出身者も住み続けたいまちづくり				担当部課	市長公室国際都市推進課 都市計画部学園地区市街地振興課							
内容	(一財)つくば市国際交流協会において大人向け日本語講座の開催及び子ども向けの日本語学習支援・就学進学支援を行うとともに、国際交流拠点を整備し、交流の場づくりや海外出身者の利便性向上を図る。														
進捗評価	順調 A		評価の分析	2020年度に試行的に開始したオンラインでの講座が軌道にのり、2021年度には現状の受入態勢での上限となる280名を超える参加を得られた。											
重要業績評価指標 (KPI)	日本語講座等、外国人向けの日本語学習支援事業の参加者数						現状値(指標設定時)		90名						
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—						
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度				
目標値			110		140		150 → 280		160 → 280		170 → 280				
実績値			160		281										
実施内容	[凡例]	計画	大人向け日本語講座の開催												
実績			子ども向け日本語学習支援・就学進学支援												
			国際交流拠点の検討・整備												
			国際交流拠点開設												
事業費見込み(千円)				予算額		決算額		予算額		決算額		予算額		決算額	
				1,324		565		1,980		1,521		4,623		4,623	
備考	・(一財)つくば市国際交流協会に運営費補助金3,400万円を交付しており、事業費見込みに記載の金額はそのうち当該事業費として国際交流協会です算化しているもの。 ・新型コロナウイルスの感染拡大のため、日本語講座や日本語学習支援事業はオンラインを活用し、2020年度は160名の参加だったが、2021年度は281名と大幅に参加者数を伸ばした。なお、日本語学習支援事業の拡充には指導者となるボランティアの増員が不可欠であることから、2022年度はボランティア指導者の待遇改善を行うほか、ボランティアの養成も並行して行う。また、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ対面指導の再開も図る。 ・国際交流拠点の整備については、つくばセンター地区に関連する他の市民施設(吾妻交流センター・市民活動センター等)の再整備と合わせて進める。														

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	16	公約事業名称	市の審議会等の会議について女性委員割合を向上させるなど多様性を高める				担当部課	政策イノベーション部企画経営課 市民部男女共同参画室			
内容		市政運営において、女性が自らの能力を十分生かし、様々な分野で政策や方針決定に関わり、意見や考え方を反映させることができる審議会等委員の女性割合を高める。市民委員が参加可能な審議会等において、市民委員の割合を3割以上とすることを徹底し、より多くの市民が市政に参加できるようにするとともに、無作為抽出による委員候補者名簿の積極的な活用を図ること等により、市政に参加する市民の多様性を高める。									
進捗評価		遅れ C	評価の分析		より多くの市民が市政に参加できるよう無作為抽出名簿を活用しながら、女性委員の積極的な登用に向け働きかけを進めているが、各審議会等における女性委員の割合について、2021年度の目標値が達成できなかった。						
重要業績評価指標 (KPI)		審議会等委員の女性委員の割合 (%)					現状値 (指標設定時)		30.2%		
							現状値 (2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		31.0		32.0		33.0		35.0	
実績値		30.2		28.1							
実施内容 [凡例] 計画 実績	審議会等の女性委員の参画状況調査、女性委員の登用推進										
	市民委員・無作為抽出制度運用状況の調査、検証										
	市民委員・無作為抽出制度の運用										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		466	415	98	260	563		100		114	
備考		・年度ごとの市民参加推進の取組状況は、行政経営懇談会に報告し、検証を行う。 ・2020年度は、「市民参加推進に関する取組課題」について行政経営懇談会から提言を受け、2021年度は、前年度の提言内容を掘り下げ、若い世代を中心に、参加者層の拡大に向けて「オンラインを活用した市民参加推進」について協議した。 ・男女共同参画推進本部(本部長:市長、副本部長:副市長、本部長:各部等の長)等の機会において、審議会等への女性委員の積極的な登用の推進が図られるよう働きかけを行う。									

公約番号	17	公約事業名称	コーチングの手法活用により市役所職員の主体性をさらに引き出す				担当部課	総務部組織開発推進室			
内容	コーチングの手法を活用した研修プログラムを導入し、自ら考え行動する職員の育成を図る。										
進捗評価	順調 A	評価の分析	3グループ(18名)がプログラムを受けた。業務を実施する職員のコミュニケーションが変化したことで、新たな気づき生まれ、それに伴う行動へとつながったことで、事業の質が高まるなど、日常の業務執行において効果が現れた。加えて、対話する文化が生まれたことで、心理的安全性が高い組織づくりに向けた推進力になった。								
重要業績評価指標(KPI)	2021年度から2024年度までのコーチング研修を受講した延べグループ数						現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		
	目標値	—	3		— → 6		—		—		
	実績値	—	3								
実施内容 [凡例] 計画 実績	準備・計画										
	プログラム試行							2022年度までの実施状況を踏まえて、2023年度以降の事業内容を今後検討。			
	プログラム実施										
	研修修了生による庁内コーチングの展開										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	5,500	5,500	4,500		0		0	
備考	・2021年度は3グループ(18名)が受講。 ・2022年度は前年度と同程度の規模にて実施予定。										

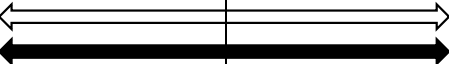
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	18	公約事業名称	NPOや社会的企業等での実地研修による市役所職員の育成				担当部課	総務部組織開発推進室			
内容		NPOや社会的企業等で、自分のスキルをいかして社会の課題解決に向けた業務を行うことで、厳しい環境の中でも成果を生み出し、未来を切り開く職員の育成を図る。									
進捗評価		順調 A	評価の分析		2名を国内の社会的企業に派遣した。派遣先の業務を通して、市役所にいる以上に近い距離で社会課題に触れるとともに、その解決に向けて最前線で活躍する派遣先のリーダーの姿を目の当たりにすることで、研修生の視野や考え方が広がるなど、職員のリーダーシップ醸成に寄与した。						
重要業績評価指標 (KPI)		2021年度から2024年度までの実地研修を受けた延べ職員数					現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		2		4 → 2		6 → 4		8 → 4	
実績値		—		2							
実施内容 [凡例] 計画 実績	準備・計画										
	プログラム運用										
	検証・改善										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	4,400	4,400	0		4,400		0	
備 考		・2021年度は2名を国内実地研修に派遣した。 ・2022年度以降は、派遣研修の効果を高めるため、研修実施の翌年に効果検証や庁内展開、次期研修計画の立案等を実施する。このことから、2022年度以降は隔年実施へと変更するため、目標値も変更となる。 ・新型コロナウイルス感染症などの状況を見極めながら、海外での研修も検討する。									

公約番号	19	公約事業名称	高エネ研南側の総合運動公園用地について市民や市議会とともに方向性を決定して最終解決へ				担当部課	都市計画部公有地利活用推進課			
内容	つくば市土地開発公社が総合運動公園用地として取得した土地について、利活用方策を決定する。										
進捗評価	順調 A	評価の分析	市議会の「高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会」からの提言を踏まえて、土地利用方針を策定した。								
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	利活用方策の検討										
	公募型プロポーザル										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		5,716	5,341,046	907,896	1,510,490	0		0		0	
備考	・金融機関からの借入利子軽減のため、土地開発公社へ約15億円を貸付した。貸付金により土地開発公社は借入を完済している。 ・2022年3月10日から売却に係る公募型プロポーザル実施要領を公表し、事業者募集を開始した。										

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	20	公約事業名称	産婦人科開設の助成金による市内で出産しやすい環境整備				担当部課	保健部健康増進課			
内容		市民が市内で安心して出産できるよう、病院又は診療所等の開設等をしようとする者に対し、その経費の一部を支援する。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析		2020年度までは産婦人科医療施設の開設がなかったが、2021年4月につくば市産婦人科施設開設支援助成金を活用して産婦人科医療施設が開設したので、今後は改善が見込まれる。						
重要業績評価指標 (KPI)		あかちゃん訪問時に実施しているアンケート調査にて、「市内の医療機関で産みたかったが予約が取れなかった」と回答した人の割合を減らす。					現状値(指標設定時)		6.7%		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		6.7 → 6.5		6.0 → 6.1		5.0 → 5.7		4.0 → 5.3		3.0 → 5.0	
実績値		9.5		8.7							
実施内容 [凡例] 計画 実績	実施										
	検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		50,000	0	100,000	50,000	50,000		0		0	
備考		・目標値を戦略プランに合わせて修正した。 ・2022年3月28日つくば市産婦人科施設開設支援事業助成金の交付に関する条例を2年延長した。 ・2021年度に助成金を活用した産婦人科施設が1件開設した。 ・筑波大学産婦人科医局へポスター掲示を依頼し、周知活動を継続している。									

公約番号	21	公約事業名称	マル福を高校生の外来診療まで拡大して家庭の負担を軽減					担当部課	保健部医療年金課			
内容	医療福祉費支給制度（マル福）の支給対象を高校生の外来診療まで拡大する。また、高校生の入院診療の所得制限を撤廃する。											
進捗評価	達成 S	評価の分析	2021年9月議会において、事業実施に必要な条例を改正した後、関連する規則の改正を行った。12月には拡大対象となる方へ申請書送付、3月中に受給者証を発送した。これにより、令和4年4月診療分から高校生相当がマル福を受給できる体制が整った。									
重要業績評価指標（KPI）	—							現状値（指標設定時）		—		
								現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		
目標値		—		—		—		—		—		
実績値		—		—								
実施内容 [凡例] 計画 実績	制度設計 条例改正											
	高校生外来医療費 の助成											
	高校生入院医療費 の助成 （県所得制限超過者）											
事業費見込み（千円）		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		0	0	0	0	75,704		83,148		84,312		
備 考												

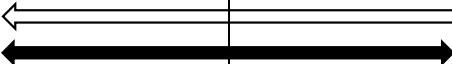
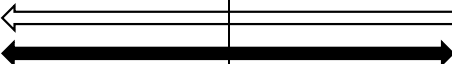
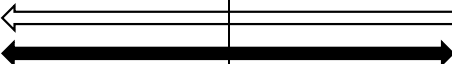
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	22-1	公約事業名称	妊婦や子育て世帯の孤立や虐待を防ぎ、悩みに寄り添う相談事業の推進〔ホームスタート事業〕				担当部課	こども部こども政策課			
内容		未就学児がいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問(週に1回、2時間程度、概ね2〜3か月間)し、「傾聴」(気持ちを受け止めながら話を聴く)や「協働」(育児家事や外出を一緒にする)等を行うことで、親の孤立感の解消や虐待の未然防止を図る。〔ホームスタート事業〕									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう状況の中でも一定の世帯に訪問を行い、親の孤立感の解消や虐待の未然防止に資する活動を実施した。							
重要業績 評価指標 (KPI)		子育ての不安を解消するために、ホームビジターが訪問する世帯数					現状値(指標設定時)		23世帯		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		16		20		20		25		30	
実績値		19		19							
実施内容	実施										
	検証・見直し等										
〔凡例〕											
計画											
実績											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		2,004	1,008	2,004	924	2,019		2,019		2,019	
備考	・2019年度末の現状値については、民間事業者と市との協働型事業においての数値であり、2020年度から市の委託事業となった。 ・2020年度から2022年度の目標値は、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、訪問数が限定的となるため現状値より低く見積もっている。										

公約 番号	22-2	公約事業名称	妊婦や子育て世帯の孤立や虐待を防ぎ、悩みに寄り添う相談事業の推進〔子育て支援短期養育事業（ショートステイ）における里親の活用〕				担当部課	こども部こども未来課				
内容	保護者の疾病、出産、事故その他の理由により、児童を養育することができない場合に、児童養護施設において一時的に児童の養育を行っているが、定員等の制限により、児童を預かることができない場合が多いという課題がある。家庭的養育を推進するという観点から、里親を活用して短期養育支援事業を実施し、児童の受け入れ先を増やすことにより、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。〔子育て支援短期養育事業（ショートステイ）における里親の活用〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		2021年度中に子育て支援短期養育を里親に委託している先進自治体を調査し、つくば市における運営方法を定め、実施要綱の改正を行った。また、本事業に協力していただく里親を対象に制度説明会を実施し、2022年度から実施できる体制を整えた。							
重要業績 評価指標 （KPI）	子育て支援短期養育事業の里親委託数						現状値（指標設定時）		—			
							現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		2		3		4	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	運営方法の検討・先進自治体の調査・実施要綱の改正											
	里親への委託実施											
	児童養護施設への委託実施											
事業費見込み（千円）			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			1,450	88	1,100	65	500		0		0	
備考	・2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、児童養護施設での短期養育の受け入れが困難であったため、予算額に対して決算額が低くなった。 ・児童養護施設での短期養育実績 2019年度 延べ人数 43人 延べ日数 109日、2020年度 延べ人数 6人 延べ日数 16日、2021年度 延べ人数 2人 延べ日数 6日											

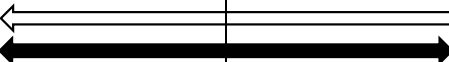
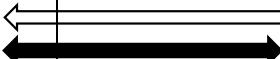
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	23	公約事業名称	不妊治療・不育症治療への支援を推進				担当部課	保健部健康増進課			
内容		不妊治療費補助の範囲の拡充を図ることにより、不妊治療を行う夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の一助とする。									
進捗評価		達成 S	評価の分析		申請者の所得制限撤廃の影響もあり、制度利用者が多く目標値を大幅に超える申請があった。ただし、2022年度より不妊治療費の保険適用により、不妊治療に対する補助制度は終了とする。						
重要業績評価指標 (KPI)		制度利用者(実組数)を2024年度までに年間410組(特定不妊及び男性不妊:330組、不妊検査及び一般不妊:70組、不育症:10組)に拡充する。					現状値(指標設定時)		179組		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		8組		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		260		395		400 → 10		405 → 11		410 → 12	
実績値		313		603							
実施内容 [凡例] 計画 実績	特定不妊治療助成										
	不妊検査及び一般不妊治療費助成										
	不育症検査及び不育症治療費助成										
	検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		18,436	17,817	44,608	37,263	44,663	44,663	44,663		44,663	
備考		・2022年4月からの不妊検査・不妊治療費の一部保険適用に伴い、不妊検査・不妊治療費の助成を終了とする。特定不妊に対しては県の経過措置に併せて助成を行ったあと終了とする。 ・2022年度より目標値は不育症のみとする。(2021年度不育症検査費及び不育症治療費助成申請者は8組) ・2019年度申請者数:実人数179組 延人数272組 (うち、男性不妊 2人)									

公約番号	24	公約事業名称	市内保育所の定員拡充と月3万円の助成金による民間保育士確保の継続				担当部課	こども部幼児保育課				
内容	保育所等の新設や既存施設の定員増により市内保育施設の定員拡充を図り、待機児童解消につなげる。また、民間保育所等に勤務する保育士等への月3万円の助成金を継続し、保育を担う人材の確保及び離職防止を図るとともに、質の高い保育を安定的に提供する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		2022年4月1日現在、保育施設等数は98か所(前年度比5施設増)、定員は8,456人(前年度比186人増)となった。保育士等処遇改善助成金を継続し、2021年度の交付決定者数(延べ)は869人であった。							
重要業績評価指標(KPI)	保育施設利用定員 (保育施設の整備と保育士等の確保を推進し、待機児童ゼロに向けた定員の拡充を行う)						現状値(指標設定時)		7,528人			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			8,023		8,369		8,697		9,043		9,371	
実績値			8,270		8,456							
実施内容	実施 (保育施設の定員拡充)											
												
[凡例]	実施 (月3万円の助成金)											
計画	検証											
実績												
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			1,842,334	1,618,200	758,930	—	927,960		948,120		968,280	
備考	・2021年4月1日現在の保育施設等数は93か所(前年度比11施設増)、定員は8,270人(前年度比742人増)であった。 ・これまでの保育士等処遇改善助成金の交付決定者数(延べ)は、2017年度566人、2018年度643人、2019年度707人、2020年度769人であった。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約 番号	25	公約事業名称	病児保育受け入れ施設のさらなる充実					担当部課	こども部幼児保育課		
内容	乳幼児等が発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペースで看護師等が保育する病児保育の受入施設数をより充実させる。										
進捗評価	達成 S		評価の分析	開設の相談があった事業者に対して、事業開始に向けての準備や、開設後の運営に関する助言等を丁寧に行った。							
重要業績 評価指標 (KPI)	病児保育受入施設を、2022年度までに6か所にする。							現状値(指標設定時)		4か所	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		4		5		6		6		6	
実績値		6		8							
実施内容 [凡例] 計画 実績	検討・計画										
	施設整備										
	実施										
	検証・実績確認										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		89,230	67,463	119,065	—	149,329		149,329		149,329	
備 考	随時、新型コロナウイルス感染症の影響等を確認し、必要に応じて目標値を見直す。										

公約 番号	26	公約事業名称	公立保育所の建て替え・改修の推進						担当部課	こども部こども政策課、幼児保育課、こども育成課		
内容	公立保育所の施設改善に関する基本方針を基に、良好な保育環境を確保するための施設改善を推進する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		「つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針」を策定し、それに基づき上境保育所の個別整備計画に着手したことで、つくば市の良好な保育環境の確保に向けて前進が図られた。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	各保育所の状況確認											
	建て替えを基本的方向とする施設に対する着手											
	長寿命化のための大規模修繕及び改修を要する施設に対する着手											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	2021年度は、新耐震基準を満たさない保育所の整備の全体方針を定めた「つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針」を策定し、その策定にあたって、保護者及び会計年度任用職員に対する説明会、子ども・子育て会議での意見聴取、文教福祉委員会等での議員への相談・報告を行った。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	27-1	公約事業名称	公立保育所での昼食用白米持参・オムツ持ち帰りの慣行を見直し〔白米持参の慣行見直し〕				担当部課	こども部幼児保育課			
内容		公立保育所の3～5歳児クラスで実施している昼食用白米の持参を見直し、子育てしやすい環境の整備に向けて保育所での主食提供を実施する。〔白米持参の慣行見直し〕									
進捗評価		順調 A		評価の分析		2021年1月に自園調理と方針を決定。2021年度から4保育所で主食提供を開始した。					
重要業績 評価指標 (KPI)		主食提供を実施している施設数					現状値(指標設定時)		0施設		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		— → 4		— → 16		— → 23		— → 23	
実績値		0		4							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	検討・計画										
	実施										
	検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		1,804	1,804	5,449	4,670	21,330		30,662		30,662	
備 考		2022年度から12保育所で、2023年度から7保育所で主食提供を開始し、全公立保育所での主食提供を実施予定。									

公約 番号	27-2	公約事業名称	公立保育所での昼食用白米持参・オムツ持ち帰りの慣行を見直し[オムツ持ち帰りの慣行見直し]				担当部課	こども部幼児保育課				
内容	公立保育所で実施しているオムツの持ち帰りを見直し、子育てしやすい環境の整備に向けて保育所での紙オムツ廃棄を実施する。[オムツ持ち帰りの慣行見直し]											
進捗評価	達成 S		評価の分析		2021年度から全公立保育所で実施している。							
重要業績 評価指標 (KPI)	2021年度中に、市内全ての公立保育所(23施設)で紙オムツ廃棄を実施する(実施施設数を指標とする)。						現状値(指標設定時)		0施設			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			16		23		23		23		23	
実績値			0		23							
実施内容 [凡例] 計画 実績	検討・計画											
	実施											
	検証											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			554	554	280	202	280		280		280	
備 考	実施に当たり、他市町村の状況調査及び市内の公立保育所の現地調査を行った。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	28	公約事業名称	公立幼稚園での満3歳からの受け入れを対応可能な園から試行的に開始				担当部課	教育局学務課、教育施設課			
内容		公立幼稚園で満3歳からの受入が可能な園を選定し試行的に3歳保育を行う。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2022年度から手代木南幼稚園で3歳保育を開始するために、関係機関との協議や保護者説明会等を実施した。							
重要業績評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	関係機関との協議 保護者説明会等										
	設計業務										
	改修工事										
	実施										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	6,050	5,577	218,138		0		0	
備考		・受入れの園については、2022年度に手代木南幼稚園、2023年度に高崎・岩崎幼稚園を統合する新しい幼稚園で3歳児の受入れを実施する。 ・2021年度、手代木南幼稚園トイレ改修設計及び荻崎地区幼稚園移転改修設計を実施済み。2022年度、工事実施予定。 ・実施内容、改修工事計画の錯誤を是正。									

公約 番号	29	公約事業名称	放課後児童クラブの待機児童をゼロへ					担当部課	こども部こども育成課			
内容	人口増加やライフスタイルの変化に伴い、当市の放課後児童クラブニーズが急激に高まり、待機児童や国の床面積要件を超過して児童を受け入れている課題が生じている。受入れ枠を拡充して適正な児童クラブスペース(室)を確保し、待機児童数をゼロにするために、公立の児童クラブにおいては、児童クラブ室の新増設や学校施設等の活用を行っていく。また今後も、放課後児童クラブニーズは相当量高まることから、民間事業者と緊密に連携をしていくとともに、新たな民間児童クラブの誘致を積極的に行っていく。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		学校の協力もあり、クラブ室の確保は順調に進んでいる。 2021年度は、待機児童数を23名に抑えている。							
重要業績 評価指標 (KPI)	放課後児童クラブ待機児童数							現状値(指標設定時)		45人		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			45		35		25		15		0	
実績値			45		23							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	児童クラブ室の確保											
	民間児童クラブの誘致											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			849,722	840,369	1,244,760	1,070,125	1,600,418		1,448,602		1,204,604	
備考	・「民間児童クラブの誘致」の児童クラブ数については、1クラブあたり40人程度の規模を示している。 ・児童クラブ室の確保は、実績として2020年度竹園西、栄、谷田部、吉沼児童館児童クラブ、2021年度上郷児童館、荃崎第一小、柳橋小児童クラブがある。 ・民間児童クラブの誘致は、毎年度9クラブを誘致する(2021年度からの4年間で36クラブ)ことを目標とする。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	30	公約事業名称	児童館プレイルームのエアコン設置を推進					担当部課	こども部こども育成課		
内容	市内にある児童館のプレイルームのうち、既に設置済みの東児童館及び大曽根児童館を除く16か所へのエアコンの設置を行う。										
進捗評価	順調 A		評価の分析	児童館3館のプレイルームへの空調設備設置工事を完了した。							
重要業績 評価指標 (KPI)	児童館プレイルーム空調新規設置箇所数							現状値(指標設定時)		4か所	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		4		7		10		13		16	
実績値		4		7							
実施内容 [凡例] 計画 実績	設置工事										
	設計委託										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		55,447	42,849	44,594	32,437	46,772		46,772		46,772	
備考											

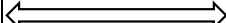
公約 番号	31-1	公約事業名称	研究機関と連携したつくばの強みを活かす科学教育【体験型科学教育事業（つくばSTEAMコンパス）】				担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課				
内容	市の特徴である科学技術を教育に活用するというコンセプトのもと、未来を担う子ども達が、つくばのSTEAMを素材に、自ら進んで知識を吸収することや創造することの楽しさを、身近な日常生活のフィールドで体験的に学ぶ機会を提供することを目的とした教育事業を実施する。【体験型科学教育事業（つくばSTEAMコンパス）】											
進捗評価	順調 A		評価の分析		事業開催時期の状況によって、対面やオンラインでの実施をうまく使い分け、子ども達の学びをとめない取組を実施した。また、学校での体験型科学教育プログラムの実施や、学校外でのイベント実施など学内外のプログラムがシームレスになるよう取り組んだ。							
重要業績 評価指標 （KPI）	体験型科学教育事業イベントへの参加者数						現状値（指標設定時）		276人			
							現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			200		200		— → 200		— → 200		— → 200	
実績値			57		246							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	計画											
	実施											
	検証											
事業費見込み（千円）			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			8,300	8,297	7,300	7,047	3,900		3,900		3,900	
備 考			・新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンラインを積極的に活用した事業を実施 つくばこどもクエストオンライン GIGAスクール特別講座×つくばスタートアップパークで宇宙とつながる バーチャル宇宙飛行士選抜イベント ・つくばスタイル科のカリキュラムとして谷田部南小（小5・6年生）で授業を実施									

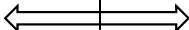
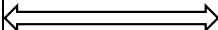
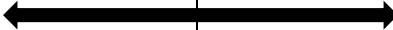
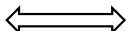
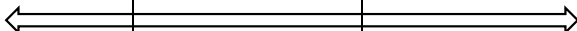
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	31-2	公約事業名称	研究機関と連携したつくばの強みを活かす科学教育〔研究機関等と連携した科学教育事業〕				担当部課	教育局生涯学習推進課			
内容		市内の協力研究機関等と連携して科学教育を行う。〔研究機関等と連携した科学教育事業〕 ・小中学生がスタンプラリー形式で研究機関を見学する、つくばちびっ子博士事業。 ・小中学校、高校、大学、研究機関が科学実験等を出展する、つくば科学フェスティバル。 ・学校の希望により研究機関の研究員等を講師派遣する、つくば科学出前レクチャー。									
進捗評価		遅れ C	評価の分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数は減少。講座一覧には、新しく感染症対策について記載する欄を追加した。 2020年度には、対象に市内高等学校を加えた。							
重要業績 評価指標 (KPI)		出前レクチャー実施回数						現状値(指標設定時)		15回	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		15		15		15		15		15	
実績値		6		2							
実施内容 [凡例] 計画 実績	ちびっ子博士										
	科学フェスティバル										
	科学出前レクチャー										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		1,664	347	2,327	1,908	9,747		9,747		9,747	
備 考		・2020年度のちびっ子博士及び科学フェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。 ・2021年度のちびっ子博士は、現地開催にあわせて動画公開も行った。 ・科学フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症等を踏まえた新たな実施手法を検討する。 (科学フェスティバルは隔年開催のため、次年度の調整等を行った)									

公約 番号	32	公約事業名称	公民連携で推進するフリースクールにより不登校の児童生徒が安心して通える居場所を確保				担当部課	教育局学び推進課、教育相談センター					
内容	不登校児童生徒に対し、個性に応じた様々な学習機会を提供するとともに、オンラインによる支援等、新たな支援方法を構築する。民間事業者の専門的知見を活用し、市と相互に協力・補完することで、不登校児童生徒の社会的自立へ向けた進路の選択肢を広げる支援を行う。												
進捗評価	順調 A		評価の分析		事業について市内学校に周知が進んだことで、多くの申し込みがあり、それに対応できるよう、受入れと支援を行っている。受入れた人数が、目標とする学習機会の提供人数に到達したため、順調と評価した。利用者ニーズに合わせて通所日数を調整するなどの個別の対応によって、当初の想定より多くの申し込みに対応した。								
重要業績 評価指標 (KPI)	運営体制の充実と児童生徒、保護者、学校への広報活動に取り組み、1日あたりに10人程度分の学習機会の提供を目指す。2022年度より新たな学びの場(学習機会)を提供することになり、合計80名分の学習機会を提供する。						現状値(指標設定時)		5人				
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—				
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		
目標値			10		10		— → 80		— → 80		— → 80		
実績値			31		32								
実施内容	[凡例]	計画 ↔ 実績 ↔	学習機会の提供	↔		↔		↔		↔		↔	
				↔		↔		↔		↔			
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
			12,303	19,975	15,649	15,991	45,528		45,163		45,163		
備考	・2021年度まで実証を行い、成果を確認しながら評価指標や予算額の見直しを行う。 ・2020年度、2021年度は目標値10に対し、受入方法の工夫により受入数を増やすことができ、それぞれ31名、32名を受入れた。												

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	33	公約事業名称	「教えから学びへ」の転換を理念とする新たな教育大綱に基づく教育改革の推進				担当部課	教育局教育総務課				
内容		一人ひとりが幸せな人生を送ることを最上位の目標とするつくば市教育大綱の理念を実現するため、2020年度に、2021年度から2025年度までを計画期間とする第3期つくば市教育振興基本計画を策定し、教育の転換を図り、新しいつくばの教育への取組を進めていく。										
進捗評価		順調 A	評価の分析		第3期つくば市教育振興基本計画を策定し、つくば市教育大綱の具現化を進めている。							
重要業績 評価指標 (KPI)		—							現状値(指標設定時)		—	
									現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容	教育大綱に基づく、 教育振興基本計画の 策定											
												
[凡例]	教育振興基本計画の 進捗管理 (点検・評価の実施)											
計画												
実績												
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			4,685	4,459	288	256	288		288		4,685	
備考	・教育大綱については、小学校1年生全児童、新規採用及び市外転入の教職員に配布し、その理念の浸透を継続的に行っている。 ・また、市長が主宰する総合教育会議においても、大綱の理念実現をテーマとした議論が行われている。											

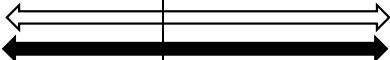
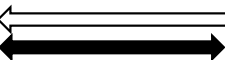
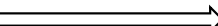
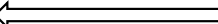
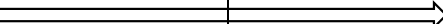
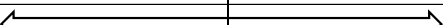
公約 番号	34	公約事業名称	学習用品の共有化を推進して購入や名前記入の保護者負担を軽減						担当部課	教育局学務課、学び推進課	
内容		現在、各校で使用している学習用品について使用状況を調査し、共有化できるもの(教材備品化)と、個別購入しなければならない教材を選定し、可能な範囲で教材の共有化を図り、保護者負担を軽減する。ただし、共有化については感染症の感染防止の徹底を十分に考慮する。									
進捗評価		遅れ C	評価の分析		各校に、算数セットの使用状況と共有化が可能かどうかの調査を実施した。おおよそ共有化できそうな教材を把握しつつある。一方、新型コロナウイルス感染症のため、直ちに備品配置して共有化することが難しく、今後の感染状況や共有使用の方法も検討しつつ、備品配置する教材を精選している。						
重要業績 評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	教材の洗い出し 共有化、個別化の選定										
	備品配置準備・配置										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備考		・現在使用している教材について調査を行った結果、学校によって、共有化できそうな教材にばらつきがあるため、共有化する教材を学校ごとに決定する。また、新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況の下、今後の感染状況を踏まえた共有使用の方法等も検討しつつ、備品配置する教材を精選していく。 ・学校の実態によっては、新しいものを購入するだけでなく、使用済みの学年から寄付という形で、通年で随時、教材を補充することも考えられる。 ・備品配置、共有化できる学習用品を洗い出してからKPIを設定する。									

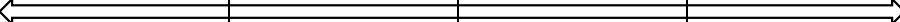
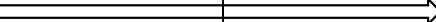
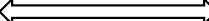
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	35	公約事業名称	教職員の働き方改革を推進				担当部課	教育局教育総務課、学び推進課			
内容		2019年度に策定した教員の働き方改革に関する実行計画の進捗管理及び成果の検証を毎年度教育総務課で実施する。 実行計画については定期的に教育委員会会議において議題として取り扱い、教育委員会と認識の共有を図り、施策の着実な実行や体制整備に取り組む。実行計画の内容は、教員の勤務状況に関する調査や学校現場での実際の取組状況を踏まえ、必要な見直しを行う。特に2021年度において、本実行計画の全面的な評価と見直しを行う。									
進捗評価		順調 A		評価の分析		現実行計画の評価と見直しを行い、2022年3月31日に「第2期教員の働き方改革に関する実行計画」を策定した。					
重要業績評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	教職員業務の見える化と検証										
	「実行計画」の管理・進行										
	「実行計画」に基づく取り組みの進捗管理										
	「実行計画」の全体的な評価と見直し										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	5	5	993		993		993	
備考		・総合教育委会議において、教員の働き方改革について議論し、2022年度から学校サポーターを107名配置するとともに、スクールカウンセラーを2名から7名へ、スクールソーシャルワーカーを4名から8名へ増員する予算を確保し、学校への人的支援の充実を図った。 ・2022年度から教職員の働き方改革を推進することを目的とした学校運営支援補助金を創設した。									

公約番号	36	公約事業名称	2020年度中の一人一台の児童生徒用パソコン整備				担当部課	教育局総合教育研究所				
内容	文部科学省のGIGAスクール構想を実現するため、市内小中学校の全児童に一人一台の教育用パソコンを整備する。											
進捗評価	達成 S		評価の分析		2020年度補正予算により予算化を行い、2020年度中に一人一台の整備目標を達成した。また、2021年度に児童生徒の増加に伴う追加整備を行い、整備目標を維持している。							
重要業績評価指標 (KPI)	児童生徒数に対しての、端末整備済台数の割合 ※ 2021年度以降も適正な評価ができるよう指標を見直した。						現状値(指標設定時)		11.8%			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			100		— → 100		— → 100		— → 100		— → 100	
実績値			100		100							
実施内容 [凡例] 計画 実績	計画											
	準備											
	運用											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			26,234	25,925	239,810	236,044	248,210		248,210		248,210	
備考	既設導入台数:2,464台(コンピュータ教室導入済分) 賃借期間:2020年7月1日から2025年6月30日(700台導入) 賃借期間:2021年3月1日から2026年2月28日(18,216台導入) 賃借期間:2021年9月1日から2026年8月31日(1,546台導入)											

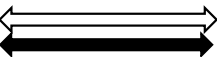
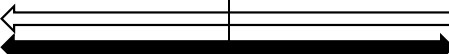
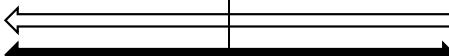
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	37	公約事業名称	理科室・音楽室等の特別教室のエアコン設置を推進				担当部課	教育局教育施設課			
内容	小中学校及び義務教育学校の特別教室にエアコン設置を行う。 中学校・義務教育学校：2020・2021年度に設計を行い、2021年度から3か年で整備する。 小学校：2023年度から3か年で設計を行い、2024年度から3か年で整備する。										
進捗評価	順調 A		評価の分析		中学校及び義務教育学校については、2022年度をもって全ての学校に整備が完了し、また、小学校については、2022年度より3か年で設計を行い、2023年度から3か年で整備する予定であるため、いずれも当初計画より進行している。						
重要業績評価指標 (KPI)	2026年度までに小中学校における特別教室のエアコン設置率を100%とする。 ※ 実数からパーセント表記に変更した。						現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		10 → 20.0		21 → 33.3		31 → 48.9		53 → 64.4	
実績値		—		20.0							
実施内容 [凡例] 計画 実績	中学校・義務教育学校 設計委託										
	中学校・義務教育学校 設置工事 (3か年計画)										
	小学校設計委託										
	小学校設置工事 (3か年計画)										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		4,719	3,850	395,942	282,777	362,879		171,018		175,943	
備考	総学校数:45校(小学校:29校、中学校:12校、義務教育学校:4校)										

公約番号	38	公約事業名称	つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設					担当部課	教育局教育施設課			
内容	つくばエクスプレス沿線開発に伴う児童生徒の増加に対応するため、新設校の建設や既存校における校舎増築工事を計画的に実施することで、安心して学べる学習環境を整備する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	新設校5校については、開校年度に向けて順調に設計・工事が進んでいる。 増築校舎についても、予定通り2021年度より供用を開始している。								
重要業績評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	基本・実施設計		 									
	建設工事		 									
	用地購入		 									
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			3,331,973	2,732,088	2,667,532	1,450,700	10,346,766		5,251,678		0	
備考	・研究学園小・中、香取台小：2020年度基本・実施設計、2021年度～2022年度建設工事、2023年度開校 ・みどりの南小・中：2020年度用地購入、2020年度～2021年度基本・実施設計、2022年度～2023年度建設工事、2024年度開校 ・葛城小：2020年度増築建設工事、2021年度供用開始 ・事業費については、公約番号101と重複して記載している。											

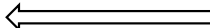
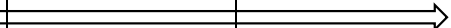
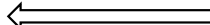
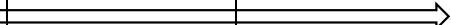
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	39	公約事業名称	県立・私立高校の誘致に向けた県や私立学校への働きかけ					担当部課	総務部総務課			
内容	市内の子どもが通いやすい県立高校の設置要望を茨城県に対して行うとともに、私立高校の誘致活動を行う。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	2021年8月3日に県立高等学校の設置について県知事へ要望した。 2021年4月、S高等学校(私立通信制高等学校)が開校した。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容	茨城県への県立高校 設置要望活動	←								→		
		←		→								
[凡例]	私立高校誘致に関する 調査・研究	←								→		
		←		→								
計画												
実績												
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	県への県立高等学校設置要望は、2017年度から継続して実施している。											

公約 番号	40	公約事業名称	雨漏り対策など長寿命化の推進〔学校施設〕				担当部課	教育局教育施設課				
内容	学校施設としての機能・性能を将来にわたり確保するため、効率的なメンテナンスサイクルの構築や予防保全型の改修・改築の実施を図るため、長寿命化計画を策定し、計画に基づき雨漏りや設備の改修等を実施していく。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		2020年度に策定した長寿命化計画に基づき、2022年度から設計を行う。その他外壁改修工事や屋根の改修工事等を実施している。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	長寿命化計画策定											
	幼稚園・小・中学校 改修工事設計委託											
	幼稚園・小・中学校 改修工事											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			380,878	342,834	521,630	439,531	45,188		954,000		2,597,000	
備考	設計の翌年度に改修工事を実施予定。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	41	公約事業名称	児童生徒増加に対応するため給食センターの提供可能給食数を増加				担当部課	教育局健康教育課			
内容		園児、児童、生徒数等の推移及び沿線開発の状況等を踏まえ提供給食数を設定し、設定した食数に基づく整備事業を推進する。 整備方針及び基本計画策定において、複数の整備手法を検討し、最適な手法を選定する。 安心・安全な給食を提供するため、施設整備内容の詳細な検討を行う。									
進捗評価		順調 A	評価の分析		将来的に必要な食数を設定し、整備手法を選定した上で、新しい給食センター建設のための基本計画を策定した。基本計画策定後には、基本設計業務に着手し、新センターの具体的な間取りや付帯設備等の詳細な検討を行った。						
重要業績 評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	整備方針作成										
	基本計画策定										
	基本・実施設計										
	建設工事										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	28,922	23,111	245,568		1,351,276		2,113,744	
備 考		・2020年度 整備方針策定 ・2021年度 基本計画策定、基本設計実施 ・2020年度末、新しい給食センターの建設が決定したため、実施内容を一部修正した。									

公約 番号	42	公約事業名称	身近な地域で運動や趣味の活動ができる「高齢者憩いの広場」の整備を市内全域で推進				担当部課	福祉部高齢福祉課				
内容	週1回以上、高齢者を中心とした地域住民が気軽に通うことができ、高齢者の介護予防及び孤立化防止のための活動を行う団体へ補助金を交付する。											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析		新型コロナウイルス感染症の影響で十分な広報や支援活動を行うことができない中でも、活動団体は1団体増え10団体が活動を行った。							
重要業績 評価指標 (KPI)	憩いの広場活動団体数を2024年度までに14団体とする。						現状値(指標設定時)		6団体			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			9		11		12		13		14	
実績値			9		10							
実施内容 [凡例] 計画 実績	事業広報											
	事業実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			2,300	3,550	6,650	2,750	6,650		6,650		6,650	
備考	2021年度は活動団体間の交流会を開催した。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	43	公約事業名称	コロナに負けず健康を維持するための体力づくり支援				担当部課	保健部健康増進課			
内容		新型コロナウイルス感染症の状況下において、活動低下によるフレイル、認知機能低下、うつ等、健康状態の悪化を予防するため、DVDの配布や動画配信を活用した自宅での運動を推進する。									
進捗評価		遅れ C	評価の分析	60歳代までの応募者数は増加したものの、70歳代以上では動画閲覧やアプリを使っでの応募に不自由さを感じる事例がみられ、応募が伸びなかった。また、外出機会の減少から窓口での応募が減少した。							
重要業績評価指標 (KPI)		つくば健康マイレージ事業の応募者数 2022年度から、茨城県ヘルスケアポイントへの65歳以上の応募者延人数。					現状値(指標設定時)		1,236人		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		111人		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		1,300		1,350		— → 130		— → 140		— → 150	
実績値		1,030		1,107							
実施内容	つくば健康マイレージの実施										
	検証										
[凡例]											
計画	茨城県ヘルスケアポイントへの参画										
実績											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		4,510	2,069	2,000	1,267	396		0		0	
備考		2022年度からつくば市健康マイレージ事業を県健康アプリ「元気アッパ！りいばらき」へ移行したことにより、KPIを変更した。年2回の応募があり、そのうち65歳以上応募者延人数とする。(参考:2020年:42人、2021年:111人)									

公約番号	44	公約事業名称	市内全域に整備した地域包括支援センターにより身近な福祉相談を推進				担当部課	福祉部地域包括支援課				
内容	地域包括支援センターを各地区に配置したことで、高齢者に対して、より身近な存在となり、地域に密着した相談や支援に迅速な対応をする。											
進捗評価	達成 S		評価の分析	市内全圏域に地域包括支援センターを2020年10月に設置完了し、高齢者にとって身近な相談や支援機関として対応を行った。								
重要業績評価指標 (KPI)	地域包括支援センターの配置数						現状値(指標設定時)		5か所			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			7		7		7		7		7	
実績値			7		7							
実施内容 [凡例] 計画 実績	計画・準備											
	実施(配置)											
	検証・改善											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			146,000	133,452	146,000	145,743	144,000		150,000		144,000	
備 考												

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	45	公約事業名称	高齢者の地域での活躍を支え、いつまでも地域で役割や生きがいを有する人生100 年時代への支援				担当部課	福祉部高齢福祉課			
内容		地域で役割を持ち、社会参加の機会を得ることができる環境の整備や生きがいづくりを進めていくことが重要であることから、地域での役割や生きがいに関する実態を把握 するため調査を実施し、施策に反映させていく。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2021年8月に実施した市民意識調査にて「豊かな高齢期に重要なこと」及び「生涯を通じて参加してみたい社会参加活動」につい て問う設問を掲載した。調査の結果からは、市民の運動を通じた健康づくり、経済基盤や収入についての意識の高さが伺えた。							
重要業績 評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	アンケート調査方法検討										
	アンケート調査実施										
	アンケート結果を反映 させた事業の検討 及び実施										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備 考		・KPIについては、アンケート調査後事業開始時に設定する。									

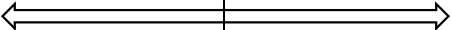
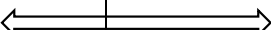
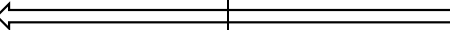
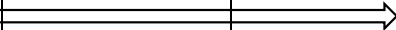
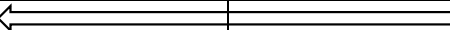
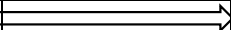
公約 番号	46	公約事業名称	特別養護老人ホームの受け入れ環境を充実させて利用待機者を減らし安心の老後へ				担当部課	福祉部高齢福祉課				
内容	つくば市高齢者福祉計画に基づき、県の施設整備補助金を活用して介護施設を整備し、高齢者福祉の向上を図る。											
進捗評価	遅れ C		評価の分析		つくば市高齢者福祉計画に基づき公募を行い、事業者を選定し、介護施設の整備に向けて支援を行ったが、目標に届かなかった。							
重要業績 評価指標 (KPI)	特別養護老人ホーム入所申込者数調査において、現状値を基準とし、つくば市高齢者福祉計画に基づき整備する床数と同数の待機者減を目指す。						現状値(指標設定時)		294人			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			294		236		236		236		—	
実績値			325		356							
実施内容 [凡例] 計画 実績	施設整備計画											
	事業者公募											
	施設整備											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			57,052	403,642	244	81	151,020		0		81	
備考	・KPIの目標値について、施設開設年度の翌年に整備床数を減じた値とする。開設(予定)年度は3年おきで、2020年度及び2023年度。 ・2024年度の目標値については、第8期高齢者福祉計画の施設整備数に合わせて検討する。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	47	公約事業名称	高齢者向けスマホ教室を開始し、離れて暮らす家族や友人とのテレビ電話などを可能に					担当部課	政策イノベーション部スマートシティ戦略課 福祉部高齢福祉課		
内容		スマートフォンを通じて提供される便利な市民サービスをスマートフォンに不慣れな高齢者に有効に利用してもらうため、一部のスマートフォンを持っていない高齢者に試験的にスマートフォンを配布するほか、スマートフォンを使ったサービスを適切に利用してもらえるよう(仮称)スマホアドバイザー(相談員)を設置する。また、アドバイザーを講師とするスマホ教室を高齢者向けの事業にも組み入れていく。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2021年度は総務省「デジタル活用支援事業」を活用し、小田・宝陽台でスマホ教室(11月～2月)を開催した。また、小田地区・宝陽台地区を対象に、スマートフォンの貸与、利用支援等による情報格差の解消に向けた調査事業の検討・予算化を行った。							
重要業績 評価指標 (KPI)		スマホアドバイザー委嘱数 10人						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		10		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	アドバイザー委嘱					⇔					
	スマホ教室の実施			⇔ ⇔							
	情報格差解消調査業務					⇐		⇐		⇐	
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	37,316		37,316		37,316	
備 考											

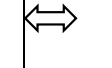
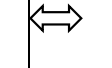
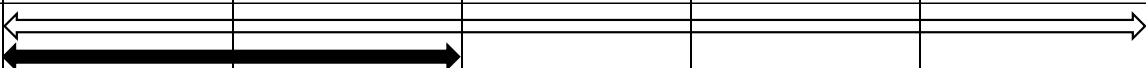
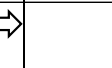
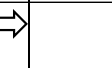
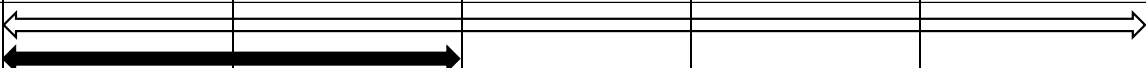
公約番号	48	公約事業名称	移動スーパー等による買い物をしやすい環境の充実				担当部課	福祉部地域包括支援課				
内容	つくば市内で移動販売事業を実施する事業者に対し、移動販売に要する経費の一部を補助することで、買い物が困難な状況に置かれた高齢者等を支援する。											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析	目標には届かなかったものの、市内各地の要望や利用状況に合わせて販売場所の見直しを行った。								
重要業績 評価指標 (KPI)	各販売場所の利用者数(人)						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			18,000		40,000		40,000		40,000		40,000	
実績値			18,398		34,590							
実施内容 [凡例] 計画 実績	計画											
	実施											
	検証・見直し											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			2,000	2,000	4,000	4,000	4,000		0		0	
備考	2台体制で運行しているところ、事業者は市民ニーズに対する効果を感じていることから、今後は3台目を追加して事業を進める予定としている。											

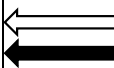
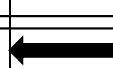
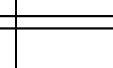
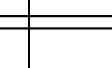
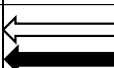
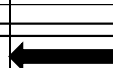
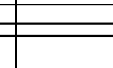
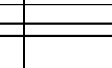
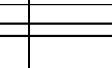
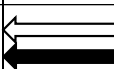
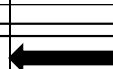
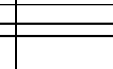
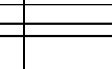
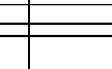
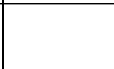
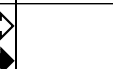
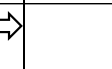
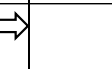
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	49	公約事業名称	こどもと保護者への支援が切れ目なく受けられる児童発達支援センターの開設				担当部課	福祉部障害福祉課			
内容		障害児に対する療育訓練と保護者への支援を包括的に実施する上で、中核的役割をもつ児童発達支援センターを新設する。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析		2021年2月に筑波大学が事業者公募を開始したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業者選定のスケジュールが遅延している状況である。今後も関係機関と協議し、可能な限り早い時期の開設を目指していく。						
重要業績評価指標 (KPI)		新設する児童発達支援センターを2024年度までに稼働させる。						現状値(指標設定時)		0か所	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		0		0		0		1 → 0		1	
実績値		0		0							
実施内容 [凡例] 計画 実績	実施設計										
	工事・工事監理										
	筑波大学との連携										
	庁内連携会議での事業内容の検討・実施										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		292	0	9,423	0	340		473,101		13,208	
備考		・児童発達支援センターの設置については、筑波大学との覚書に基づき進めていく。筑波大学が春日消防本部跡地にPFI事業で建物を建て、その一部を市が賃借し、児童発達支援センターを設置する予定で筑波大学と協議を実施している。 ・筑波大学の事業者選定の遅延により、児童発達支援センターの稼働が2024年度になる見込みであるため、KPIの目標値を変更した。また、それに伴い、実施設計については、2022年度に実施、工事・工事監理についても遅れる見込みである。									

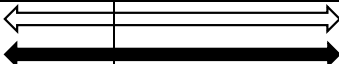
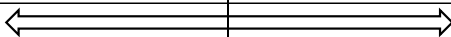
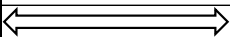
公約番号	50-1	公約事業名称	障害児保育環境の充実〔保育所等訪問支援等〕					担当部課	福祉部障害福祉課			
内容	発達に課題がある又は障害のある児童が、保育所等での集団生活に対応できるようにするための専門的な支援を行う保育所等訪問支援の新設や、障害福祉サービスを効果的に受けるためのマネジメントを行う障害児相談支援を実施していく。また、医療的ケア児とその保護者のニーズに応じた支援ができるように医療的ケア児等コーディネーターを配置し、相談支援を充実させる。2024年度に新設予定の児童発達支援センターでは、単独通所での医療的ケア児療育事業を実施する。〔保育所等訪問支援等〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析	2020年度から障害児相談支援支援事業、2021年度から保育所等訪問支援事業を開始した。								
重要業績評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	検討・計画 (保育所等訪問支援 医療的ケア児単独通所)											
	実施											
	検証											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			140	57	193	83	207		207		207	
備考	・2020年度から障害児相談支援事業、2021年度から保育所等訪問支援事業を開始した。 ・筑波大学の事業者選定の遅延に伴い、児童発達支援センターの稼働が2024年度になる見込みであるため、「内容」を一部変更(2023年度から2024年度に変更)し、医療的ケア児単独通所についても2024年度中に開始予定。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約 番号	50-2	公約事業名称	障害児保育環境の充実〔障害児受入体制の拡充〕				担当部課	こども部幼児保育課			
内容		障害児に対し加配にあたる保育従事者をつけることで、障害児保育環境の充実を図る。また、その費用に対し民間保育所に補助を出すことで障害児を受け入れしやすくなり、利用者側の保育所の選択肢増加にもつながる。〔障害児受入体制の拡充〕									
進捗評価		達成 S	評価の分析		新設園の募集の際、募集要項に「障害児保育の実施」を明記するとともに、既存園に対し、障害児保育事業費補助金の周知を図ったことで、受入れ体制の拡充に繋がった。						
重要業績 評価指標 (KPI)		民間保育所での障害児受入人数について、2024年度までに150人を目指す。 ※ 当初の目標値(100人)から上方修正した。						現状値(指標設定時)		60人	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		64		70		80 → 120		90 → 130		100 → 150	
実績値		72		110							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	検討・計画 (要項制定等)										
	実施										
	検証										
	公立保育所の加配雇用										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		276,594	284,519	241,171	—	304,539		332,139		367,539	
備 考		・障害児保育事業費補助金は、障害の程度によって1人当たり月額100,000円、または月額50,000円を補助し、その経費は障害児の加配にあたる保育従事者の雇用に係る費用としている。現在、障害区分及び補助基準額について、見直しを検討している。 ・目標値について、上方修正を行った。									

公約 番号	51	公約事業名称	特別支援教育支援員の充足による学習環境整備と一人一人の個性を大切にする教育の質向上				担当部課	教育局学び推進課、特別支援教育推進室			
内容		障害のある児童生徒の安全確保、日常生活動作の介助や発達障害の児童生徒に対する学習活動上のサポートを行う特別支援教育支援員を、各学校の実情に応じ適切に配置し、教師の補助を行うことで、児童生徒一人一人の力を十分に伸ばせるよう学習環境整備を行う。併せて、通常の学級担任を対象に、学級環境・指導方法・授業をユニバーサルデザイン化するための研修会を実施する。									
進捗評価		順調 A	評価の分析		各学校の要望に基づき状況把握を行い、支援員の必要人数を配置した。また、特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任だけでなく、通常の学級担任、管理職まで対象を広げた研修を実施し、特別支援教育を推進した。						
重要業績 評価指標 (KPI)		学校からの特別支援教育支援員配置要望を基本に、学校訪問による児童生徒の実態や校内支援体制状況、支援員活用状況を確認・精査後の必要数に対する配置率(%)					現状値(指標設定時)		100%		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		100		100		100		100		100	
実績値		100		100							
実施内容 [凡例] 計画 実績	各学校の実態・要望の把握										
	支援員配置										
	教員研修										
	検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		111,635	112,184	123,685	109,744	128,251		128,251		128,251	
備考		【研修内容】・特別支援教育の理解と実践(管理職・教務主任等) ・発達性ディスレクシアの早期発見と専門的指導のための教員養成研修(コーディネーター・特別支援学級担任) ・ユニバーサルデザイン授業に関する研修(通常の学級担任)									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	52	公約事業名称	市内のバリアフリー化促進に関するマスタープラン策定と公共施設等の対応推進				担当部課	政策イノベーション部企画経営課				
内容		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に基づく移動等円滑化促進方針(マスタープラン)を作成し、市内のバリアフリー化を促進するとともに、公共施設等のバリアフリー対応を推進する。										
進捗評価		順調 A	評価の分析		バリアフリーマスタープランを策定している他自治体の事例研究を進めるとともに、「(仮称)バリアフリーマスタープラン検討協議会」の設置に向けた庁内体制を整えた。							
重要業績 評価指標 (KPI)		—					現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	調査・研究											
	計画策定											
	実施・検証											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	7,429		7,429		0	
備考		・他自治体の事例調査やバリアフリーに関する学習会へ参加するなど、必要な情報収集を行った。 ・庁内のバリアフリーマスタープランに関係する部署を特定した上で、2022年2月に庁内検討会議設置説明会を開催し、外部の有識者や関係者等で構成する「(仮称)バリアフリーマスタープラン検討協議会」の設置に向け、策定の趣旨の共有を図るとともに、庁内の協力体制を整えた。										

公約番号	53	公約事業名称	市役所への遠隔手話通訳システム導入				担当部課	福祉部障害者地域支援室				
内容	電話リレーサービスなど、聴覚障害者や耳の聞こえにくい人への意思疎通に関する支援方法を検討し、実施していく。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		2021年7月から国は電話リレーサービスを開始。市では利用状況を把握するとともに、遠隔手話サービスのニーズも捉え、常駐する手話通訳者が遠隔手話サービスを行うための機器整備を実施した。							
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	調査・検討											
	実施											
	検証											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	481	111		111		111	
備考	・聴覚障害者や耳の聞こえにくい人の通信手段の一つとして、2021年7月から国は電話リレーサービスを開始した。 ・2021年度の、遠隔手話サービスに関するアンケート調査では、回答者の6割以上が遠隔手話サービスを希望されていた。 ・遠隔手話サービスの実施に向けて、各窓口センターでも対応できるようタブレット端末等を準備した。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	54	公約事業名称	精神障害者保健福祉手帳2級所持者への医療費助成実現に向けて茨城県と交渉を推進				担当部課	保健部医療年金課				
内容		医療福祉費支給制度(マル福)の受給対象を精神障害者保健福祉手帳2級の所持者まで拡大するため、茨城県と交渉する。										
進捗評価		順調 A	評価の分析	県制度による精神障害者支援拡大の働きかけを行った。								
重要業績評価指標(KPI)		—						現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績		県への要望活動及び調査検討										
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考		・県への要望により、2019年4月1日から精神障害者保健福祉手帳1級所持者がマル福対象となった。また、2018年度以降、継続して県に精神障害者保健福祉手帳2級所持者等の中度の手帳所持者への医療費助成について要望を行っている。 ・マル福は県の補助事業であり、県の動向を注視する必要があることから、指標の設定はしない。										

公約番号	55	公約事業名称	障害者福祉タクシー利用料金助成についてタクシーを利用しない場合に他の交通手段の助成を選べる選択制へ					担当部課	福祉部障害者地域支援室			
内容	障害者福祉タクシー利用助成券事業についてタクシー事業以外の公共交通機関の運賃（バス・鉄道共通ICカード）にも利用できるよう選択制を検討する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		重度障害者が交通系ICカードを利用して鉄道・バスに乗車した時の運賃助成について、障害者へのヒアリングや先行事例を参考に実施の仕組みづくりをし、交通手段の助成が選択できるよう制度を整備した。							
重要業績評価指標（KPI）	—					現状値（指標設定時）		—				
						現状値（2021年度末）※今回、指標設定する場合		—				
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	検討・計画											
	実施											
	検証											
事業費見込み（千円）			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			6,466	4,812	6,033	5,444	17,469		17,469		17,469	
備考	2021年度は障害者へのヒアリング及び先行事例の調査を行った。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	56-1	公約事業名称	子どもたちが安心して過ごせる学習拠点やみんなの食堂の整備推進〔つくばこどもの青い羽根学習会〕				担当部課	こども部こども未来課			
内容		貧困の連鎖を断ち切るため、生活保護又は就学援助受給世帯の4～9年生(はやぶさ教室は3年生)の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行う。〔つくばこどもの青い羽根学習会〕 ・学習支援団体と協定を締結し協働事業として実施 ・事業者同士の事例共有・連携強化のための連絡会議を開催(年4回予定)									
進捗評価		達成 S		評価の分析		2021年度に北部地区の学習支援拠点1か所と、はやぶさ教室の1か所を新規開設した。					
重要業績評価指標(KPI)		学習拠点の開設数				現状値(指標設定時)				13か所	
						現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合				—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		14		15		16		16 → 17		16 → 18	
実績値		14		16							
実施内容 [凡例] 計画 実績	計画										
	実施										
	検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		28,448	27,822	28,878	28,663	31,228		31,228		31,228	
備考		10事業者との協働事業として、それぞれ特色のある教室を提供できおり、利用者が利便性や特色に合わせて教室を選択できるようになった。各教室へのアンケートで、「テストの点数が上がった」、「授業がわかるようになった」、「勉強習慣が付いてきた」、「相談できる大人ができた」という回答が多数みられる。2021年度に目標達成(KPI:市内全中学校・義務教育学校の全学区16か所に学習拠点を開設する。)(S評価)したが、市内全小学校区への学習拠点の開設を目指し、上方修正した。									

公約番号	56-2	公約事業名称	こどもたちが安心して過ごせる学習拠点やみんなの食堂の整備推進[みんなの食堂]				担当部課	こども部こども未来課				
内容	食を通じて地域の子どもや大人が交流することができる地域の交流スペースとしての居場所を提供できるよう、みんなの食堂実施団体の運営を支援し新規開設を促進するため補助金を交付する。[みんなの食堂] ・月1回…50,000円/年、月2回…100,000円/年 ・食材費や消耗品、保険料などが対象経費											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析		新型コロナウイルス感染症の影響でみんなの食堂が活動自粛となり、新規の開設はできなかったものの、弁当等の配布による実施が補助金の対象となるよう制度改正し、通常の活動が困難な場合における体制を構築した。							
重要業績評価指標 (KPI)	みんなの食堂実施団体を2023年度までに10団体とする。						現状値(指標設定時)		4団体			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			5		6		8		10		10	
実績値			5		5							
実施内容 [凡例] 計画 実績	計画											
	実施											
	検証											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			500	355	500	387	600		600		700	
備考	みんなの食堂マップを改定し、区会回覧や保育所等へチラシを配布するなど周知を行った。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	57	公約事業名称	つくば市独自で新設したひとり親家庭の病院外来自己負担金助成の継続				担当部課	保健部医療年金課				
内容	ひとり親家庭マル福の受給者である親子に対して、外来自己負担金の負担額を後日助成する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	ひとり親家庭の病院外来自己負担金の助成を継続して実施した。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容	ひとり親家庭マル福の 外来自己負担金の助成											
[凡例]												
計画												
実績												
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			27,299	23,452	25,825	23,590	27,211		27,592		27,979	
備考	ひとり親家庭マル福受給者 4,737人(父子 327人、母子 4,410人)(2022年2月28日現在)											

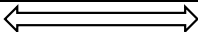
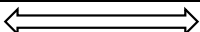
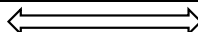
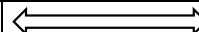
公約 番号	58	公約事業名称	つくば市民の陽性患者の入院を受け入れた病院を助成金により支援				担当部課	保健部健康増進課、感染症対策室				
内容	新型コロナウイルス感染症に罹患したつくば市民を受け入れる市内医療機関の入院医療体制を確保するため、交付金により支援を実施する。											
進捗評価	達成 S		評価の分析	陽性者を受け入れた市内医療機関に助成金を交付し支援を実施した。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			48,500	42,900	0	0	0		0		0	
備考	市内医療機関4か所に交付(単年度事業)											

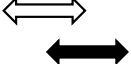
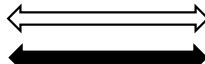
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	59	公約事業名称	陽性患者や感染発生施設、医療従事者への差別を防ぐ意識啓発				担当部課	保健部健康増進課、感染症対策室			
内容		市民へ新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を普及するため、ホームページやチラシ配布などによる周知のほか、市民への健康教育を実施し差別の防止を推進する。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	新型コロナウイルス感染症に関する正しい情報について、県の感染症情報を把握し、市民に向けてチラシの作成や健康講話、ホームページやSNS等で周知した。							
重要業績評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	計画										
	実施(周知・健康教育)										
	検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備考		・つくば市自殺対策に関する連携会議の意見を踏まえ、新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見等を防ぐためのチラシを作成し周知した。また、健診、ゲートキーパー研修や出前健康教室などにおいて、新型コロナウイルス感染症の正しい知識と感染予防対策について啓発していく。									

公約番号	60	公約事業名称	殺処分のための茨城県動物指導センターへの犬猫引渡頭数をゼロへ				担当部課	生活環境部環境保全課				
内容	・犬・猫の避妊・去勢手術費補助及び地域猫活動を活用し無秩序な繁殖等を防止する。 ・動物愛護団体及びその他関係機関と連携した譲渡会や学習会を実施する。 ・保護した犬・猫の動物病院での一時預かりと、新たに動物愛護団体や今後募集するサポーターによる里親制度を構築する。 以上を柱とし殺処分ゼロを目指す。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		犬・猫避妊・去勢手術費補助及び地域猫活動の活用により、無秩序な繁殖の防止を図った。							
重要業績評価指標 (KPI)	つくば市役所経由での茨城県動物指導センターへの引き渡し頭数						現状値(指標設定時)		15頭(犬9匹、猫6匹)			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			12頭以内		9頭以内		6頭以内		3頭以内		0頭	
実績値			9		6							
実施内容 [凡例] 計画 実績	動物愛護施策の実施											
	動物愛護団体等との連携											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			2,279	2,113	2,642	2,182	3,444		9,560		9,560	
備考	・保護した犬・猫の動物病院での一時預かりと、新たに動物愛護団体や今後募集するサポーターによる里親制度を構築するため、先進地である守谷市を訪問し、手続き、実施方法などを学び、警察と犬猫の拾得物の取り扱いについての協議を実施した。 ・獣医師会と犬猫の一時預かり実施に向けた話し合いを重ねたが獣医師会との合意形成が図れなかったことから、改善策として、犬猫の引き渡し頭数削減のため、飼主の身元特定が容易であるマイクロチップ装着補助金事業を2022年度実施予定。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	61-1	公約事業名称	公共交通をさらに便利にするための市民との対話と改善の継続、近隣自治体との連携推進〔市民との対話と改善の継続〕				担当部課	都市計画部総合交通政策課			
内容		地域の声を聞き、持続可能な公共交通網構築を推進するため、住民との継続的な意見交換会を行う。〔市民との対話と改善の継続〕									
進捗評価		順調 A	評価の分析		筑波地区及び荃崎地区の各種実証実験について、市民説明会等を実施し、意見の聴取を行った。筑波地区支線型バスについて、地域住民との意見交換会を5回実施し、きめ細やかな対応を行った。						
重要業績 評価指標 (KPI)		意見交換会回数					現状値(指標設定時)		1回		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		2		4		4		4		4	
実績値		1		9							
実施内容	意見交換会日程調整 及び実施	 		 						 	
	[凡例]										
	計画  実績 										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備 考		意見交換会には、出前講座等、地域住民からの要請に応じ総合交通政策課職員が出席した会議体も含む。									

公約 番号	61-2	公約事業名称	公共交通をさらに便利にするための市民との対話と改善の継続、近隣自治体との連携推進〔近隣自治体との連携推進〕				担当部課	都市計画部総合交通政策課				
内容	持続可能な広域公共交通網を構築するため、近隣自治体との連携を推進する。〔近隣自治体との連携推進〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		周辺自治体と公共交通網について担当学会議及び広域連携首長会議を開催した。また、関係市町村の公共交通会議への出席を行い、自治体間の公共交通の連携を図った。							
重要業績 評価指標 (KPI)	調整会議等開催回数						現状値(指標設定時)		3回			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			3		6		6		6		6	
実績値			6		8							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	調整会議開催内容検討											
	自治体間及び交通事業者との調整会議											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	・現在、広域連携については、公共交通網の広域連携を図る検討会議を年1回開催(担当課長会議についても年1回)開催している。 ・他市の交通会議への出席や個別会議も含む。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	62-1	公約事業名称	自転車の拠点整備やシェアサイクル導入と自転車通勤への転換支援〔自転車の拠点整備〕				担当部課	都市計画部サイクルコミュニティ推進室				
内容	更なる自転車利用を促進するために自転車拠点を整備する。〔自転車の拠点整備〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		旧筑波東中学校への自転車拠点整備について、校舎リニューアル工事の設計及びBMXレーシングコース造成の設計が完了した。また、地方創生拠点整備交付金の内示を受けた。							
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	整備方針の検討											
	設計											
	工事											
	運用に向けた準備											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	2,915	11,575	234,479		0		0	
備考	・KPIは、自転車拠点の運用開始に合わせて設定予定。 ・公約番号88-2「筑波東中跡地をサイクリングの拠点へ」と同一の実施内容。 ・自転車の拠点整備内容は、自転車のまちづくば推進委員会にて検討。											

公約 番号	62-2	公約事業名称	自転車の拠点整備やシェアサイクル導入と自転車通勤への転換支援[シェアサイ クル導入]				担当部課	都市計画部サイクルコミュニティ推進室			
内容		シェアサイクルを導入することで、移動手段の選択肢を増やし回遊性を向上する。シェアサイクル導入後は、利用実績のデータ分析に基づきステーションの設置箇所や自転 車配置を随時見直すことで、利便性を向上する。[シェアサイクル導入]									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2021年10月からつくば市シェアサイクル実証実験事業「つくチャリ」を開始し、利用者数は当初目標の20人/日を超えている。							
重要業績 評価指標 (KPI)		1日当たりのシェアサイクル利用者数[人/日]						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		20		27		37		50	
実績値		—		31							
実施内容 [凡例] 計画 実績	事業検討										
	事業開始										
	事業改善										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	15,687	10,764	5,574		0		0	
備 考											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	62-3	公約事業名称	自転車の拠点整備やシェアサイクル導入と自転車通勤への転換支援〔自転車通勤への転換支援〕				担当部課	都市計画部サイクルコミュニティ推進室			
内容		通勤時間帯を始めとした道路渋滞の緩和や、温室効果ガスの削減等を推進するべく、自転車通勤への転換を支援する。〔自転車通勤への転換支援〕									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2021年度中に市内18の企業等と自転車通勤の取組についての意見交換をし、実態調査を行った。2022年度に将来的な自転車通勤への転換の足掛かりとなる自転車イベントを実施する予定。							
重要業績 評価指標 (KPI)		市民意識調査「あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。」の問に対する「自転車」との回答割合[%]					現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		24%		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		25		—	
実績値		—		24							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	市内企業等の 自転車通勤の実態調査										
	自転車のまちづくば推進委 員会にて検討										
	自転車通勤への転換の足 掛かりのためのイベント										
	自転車通勤支援施策の展 開										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	5,993		0		0	
備 考		つくば市職員通勤手段の自動車から自転車への転換誘導施策も検討。									

公約番号	63	公約事業名称	都市計画決定後も整備が難航している都市計画道路の開通に向けて交渉を加速				担当部課	建設部都市計画道路整備推進室			
内容		都市計画決定されている都市計画道路の開通に向け、未事業化の路線については、都市計画道路整備プログラムに基づき事業化を推進し、既に事業化されている路線については、整備を推進する。									
進捗評価		おおむね順調 B		評価の分析		都市計画道路整備プログラムに基づき、都市計画道路の整備に必要な用地の取得を行った。					
重要業績評価指標 (KPI)		都市計画道路の未事業延長L=14.88km 事業中延長L=10.42km (事業中路線 台町萱丸線L=2.3km 酒丸上沢線L=6.1km 上河原崎東環状線L=1.58km 上河原崎西環状線L=1.74km 小白碓島名線L=0.28km 島名原新田線L=0.56km)					現状値(指標設定時)		2.2km		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		2.3		3.3		4.4		6.4	
実績値		—		2.2							
実施内容 [凡例] 計画 実績	調査・設計										
	用地交渉										
	実施 (整備)										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		172,536	39,313	169,992	69,806	465,726		631,055		851,954	
備考		都市計画道路 45路線約70km うち 整備済延長約45km [事業中] 整備済区間 台町萱丸線 L=0.99km 酒丸上沢線 L=1.19km 用地買収済 台町萱丸線(2工区) A=4,705m2 / 24,780m2 酒丸上沢線(2工区) A=25,806m2 / 30,079m2									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	64	公約事業名称	交通量増加に伴い深刻化している渋滞対策を推進				担当部課	建設部道路計画課				
内容		市内の交通渋滞の解消に向けて、渋滞の発生している箇所の抽出とその対応方針を検討し、渋滞対策を推進する。										
進捗評価		遅れ C	評価の分析	2020年度に完了予定であった交通量調査及び対応方針の検討については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う従来交通量の低下により、交通量調査に約1年の遅延が生じたが2021年度に完了した。調査完了した結果を基に、2022年度からの渋滞対策として、交通量分散のための方策を講じることとした。								
重要業績 評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	渋滞発生箇所の抽出と 対応方針の検討											
	検討した箇所の 協議・調整											
	渋滞対策の実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			9,482	0	0	9,482	0		0		0	
備 考		2020年度の事業費を2021年度に繰り越した。										

公約 番号	65	公約事業名称	ペDESTリアンデッキ周辺の魅力創出による歩きたくなるまちづくり				担当部課	都市計画部学園地区市街地振興課			
内容		つくば市の特徴的なパブリックスペースであるペDESTリアンデッキやセンター広場において、地域の事業者や住民と連携しながら、オープンカフェやイベント、マルシェ等への活用、路面型店舗の誘導、滞留空間の創出など、様々な仕掛けを検討し、歩いて楽しい空間づくりを推進する。									
進捗評価		遅れ C	評価の分析		新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントが開催できなかったことから、賑わいの創出には至らなかった。						
重要業績 評価指標 (KPI)		センター広場への休日歩行者流入量					現状値(指標設定時)		2.6 → 1.15万人		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		2.6 → 1.15		2.7 → 1.20		2.8 → 1.25		2.9 → 1.30		3.0 → 1.35	
実績値		0.78		0.83							
実施内容 [凡例] 計画 実績	施策の検討 計画 実施										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		24,800	17,105	22,256	10,990	23,945		23,945		23,945	
備考		・KPIの現状値として使用した調査データに誤りがあったことから修正。併せて目標値も修正。 ・現在はつくばセンター広場の維持管理や許可・調整業務を学園地区市街地振興課において直営で行っているが、指定管理などの検討が必要。									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	66	公約事業名称	街路樹の保護を重視した道路管理				担当部課	建設部道路管理課			
内容	街路樹は原則、枯損木等以外は伐採せず、剪定作業により樹形を保つ街路樹の維持管理を行い、緑豊かな都市景観を維持する。										
進捗評価	順調 A		評価の分析		計画していた剪定作業を行うことにより、樹勢・樹形を保ち緑豊かな都市景観を維持することができた。また、倒木の危険性のある枯損木等の伐採を行うことにより、安全・安心なまちづくりに寄与した。						
重要業績評価指標 (KPI)	伐採本数における枯損木の割合 (%) ※ 新規設定						現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		99.5		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		— → 100		— → 100		— → 100		— → 100	
実績値		100		99.5							
実施内容 [凡例] 計画 実績	樹形を保つ剪定作業										
	倒木の危険性のある枯損木等の伐採										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		523,611	520,882	501,083	496,925	522,126		510,000		515,000	
備考	・2021年度、枯損木以外の街路樹を1本伐採している。理由としては、保育所正門前に位置する街路樹の樹液にスズメバチが群がり、保育所利用者等へ危険を及ぼす可能性があったため、安全を最優先としたもの。 ・街路樹の維持管理をする上での基本方針となる「街路樹の維持管理指針(案)」を作成した。										

公約 番号	67	公約事業名称	災害に備えて物資を保管する防災倉庫の整備					担当部課	市長公室危機管理課		
内容		平時から食料や飲料水、防災資機材などの災害備蓄品を備蓄でき、過去に発生した大規模災害の教訓を踏まえ、災害時に国等からの支援や、全国の地方自治体等からの災害支援物資の受入が可能な防災倉庫の整備検討を行う。									
進捗評価		順調 A	評価の分析		高エネ研南側未利用地の一部に防災拠点（防災倉庫、防災多目的広場、防災水源）を整備するため、高エネ研南側未利用地の売却に係る公募型プロポーザル実施要領により、事業者及び事業提案の募集を実施している。						
重要業績 評価指標 （KPI）		—						現状値（指標設定時）		—	
								現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	物流拠点となる防災倉庫の 検討										
	倉庫設計										
	整備工事										
事業費見込み（千円）		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備考		2021年度に実施した、高エネ研南側未利用地に関する2回目のサウンディング調査結果や特別委員会の提言書、高エネ研南側未利用地土地利用方針案住民説明会の意見を踏まえ、防災拠点の整備方針を含めた土地利用方針を決定した。									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	68	公約事業名称	通学路等の防犯灯整備や安全対策をさらに推進				担当部課	建設部防犯交通安全課			
内容		夜間の犯罪の抑止や通学路における児童の安全を確保するため防犯灯整備を進めるとともに、さらなる安全対策として、カーブミラー、交通事故防止啓発看板等の設置を推進する。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析	目標値に達しなかったものの、区会や学校等からの設置要望に対しては、通学路を中心に防犯灯、カーブミラー、路面標示(スクールゾーン)、交通事故防止啓発看板等、必要箇所への設置はすべて実施した。							
重要業績 評価指標 (KPI)		市内の通学路を中心に市内全域に防犯灯や交通安全施設(カーブミラー、交通事故防止啓発看板等)を設置していく。(当該年度における新規設置数)						現状値(指標設定時)		485か所	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		490		500		500		500		500	
実績値		445		485							
実施内容 [凡例] 計画 実績	実施										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		54,975	52,907	51,803	50,978	51,803		51,803		51,803	
備 考											

公約番号	69	公約事業名称	区会等の防犯カメラ設置補助を新設				担当部課	建設部防犯交通安全課				
内容	安全で安心なまちづくりを推進するため、区会等が自主防犯活動の補完として設置する防犯カメラ等の費用の一部に対し、つくば市防犯カメラ等設置事業補助金を交付する。											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析	新型コロナウイルス感染症の影響により2021年度に設置を見送った区会があったが、2022年度に設置する意向を確認した。								
重要業績評価指標 (KPI)	区会等から補助申請があった防犯カメラの設置数						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		3		3		3		3	
実績値			—		0							
実施内容 [凡例] 計画 実績	補助金交付要綱制定											
	補助金交付実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	600	0	1,200		600		600	
備考	多くの区会から相談はあったが防犯カメラ設置までには至らなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により区会等の総会が開催できず、住民の賛否を得られなかったことが要因の一つと考えられる。しかし、2021年度に設置を見送った区会から、2022年度に3基設置する意向を確認したため、2022年度の当初予算でプラス3基分の補助金を計上した。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	70	公約事業名称	防災無線整備と防災無線を補う災害時連絡手段の活用				担当部課	市長公室危機管理課			
内容		市内各地の土砂災害警戒区域や浸水想定区域など災害リスクが高い場所に、継続してデジタル防災行政無線の設置を行う。既にアナログ防災行政無線が設置されている茅崎地区は、法改正により利用できなくなるため、災害リスクが高い場所のデジタル防災行政無線の設置を行う。 防災行政無線以外の連絡手段の活用検討を行う。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	当初の計画どおり、茅崎地区の土砂災害警戒区域にデジタル防災行政無線を7基設置した。							
重要業績評価指標 (KPI)		デジタル防災行政無線設置計画数に対する設置割合					現状値(指標設定時)		80%(48基)		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		90%(54基)		100%(61基)		100%(61基)		100%(61基)		100%(61基)	
実績値		90%(54基)		100%(61基)							
実施内容 [凡例] 計画 実績	調査設計(危険箇所)										
	実施(危険箇所)										
	連絡手段の活用検討										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		44,990	42,964	37,664	33,550	0		0		0	
備 考		・2021年度 7基(うち高性能6基)[茅崎地区危険箇所] ・2022年2月28日に谷田川の洪水浸水想定区域が新たに公表されたため、設置箇所数の再検討が必要である。									

公約番号	71	公約事業名称	避難行動要支援者の個別避難計画の策定推進				担当部課	福祉部社会福祉課				
内容	外部への情報提供に同意している避難行動要支援者について、災害時の避難支援を実効性のあるものにするため、個別の避難支援計画を策定する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		個別避難計画未作成者に対し、作成を依頼する文書を送付した。また、民生委員による訪問を実施し、作成にあたっての相談援助を実施することにより計画策定を推進した。							
重要業績評価指標 (KPI)	外部への情報提供に同意している避難行動要支援者の個別計画の策定割合 (%)						現状値 (指標設定時)		0.7%			
							現状値 (2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			7.0		30.0		60.0		70.0		80.0	
実績値			3.4		67.3							
実施内容 [凡例] 計画 実績	計画 実績	計画 実績	計画		計画		計画		計画		計画	
			実績		実績		実績		実績		実績	
			検証		検証		検証		検証		検証	
			実績		実績		実績		実績		実績	
事業費見込み (千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			719	685	745	699	5,972		6,211		6,211	
備考	2020年度は、土砂災害警戒区域・浸水想定区域に指定されている区域内に居住している同意者に対して、優先的に個別計画の策定を行った。											

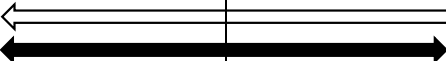
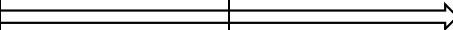
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	72	公約事業名称	公設墓地整備の検討を開始					担当部課	政策イノベーション部企画経営課 生活環境部環境保全課			
内容	時代に合った新たな形態の墓地について調査・研究を行い、公設墓地の整備について検討する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	情報収集や調査、筑波大学とのプロジェクト型共同実習の活用により、市営墓地についての知見の蓄積につながった。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)	—			
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合	—			
			2020年度	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	調査・研究											
	民間整備状況調査											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	他自治体の整備状況について情報収集するとともに、市内における民間墓地の空き区画数の調査を実施した。また、つくば市と筑波大学とのプロジェクト型共同実習において、「公設墓地の検討」をテーマとして、需要予測や新たな形態の墓地の設置事例について調査結果の報告を受けた。											

公約番号	73-1	公約事業名称	上下水道の管路整備と管路更新の推進〔上水道管路整備、更新〕						担当部課	上下水道局水道工務課		
内容	・上水道未整備地域解消のため、配水幹線管路については実施整備計画を基に、配水支線管路(面)については整備要望を基に整備する。 ・老朽化により、漏水頻度の高い管路、管内部の錆が原因で赤水が発生している管路、管径が細く出水不足の管路等を、計画的または、緊急度に応じた優先順位を決め更新する。〔上水道管路整備、更新〕											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析		競合する道路改良工事や河川改修工事との調整により、発注を先送りした工事があったものの、整備は着実に進捗している。							
重要業績 評価指標 (KPI)	配水幹線管路実施整備計画延長に対する各年度の累積整備率(%)							現状値(指標設定時)		8.70%		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			19.89		29.92		40.09		50.12		60.10	
実績値			16.90		26.75							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績		配水幹線管路の整備										
計画 実績		配水管路の更新(改良)										
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			2,269,673	2,161,466	1,923,012	1,801,443	2,495,296		2,500,000		2,500,000	
備考	・配水幹線管路の実施整備計画については、2017年に未整備地区を対象とした10年計画の前期(～2023年)整備計画を策定し、2018年より開始している。 ・2006年に策定した研究学園都市中心地区管路改良実施整備計画に基づく更新事業が2024年に完了予定。 ・2018年に開始した筑波地区老朽管路の更新事業が2021年に完了。 ・事業の改善策として、県や市の担当部署と綿密な協議を行い、迅速に工事を進めていく。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	73-2	公約事業名称	上下水道の管路整備と管路更新の推進〔下水道管路整備、更新〕					担当部課	上下水道局下水道工務課				
内容		下水道の管路整備は、市民の安全で快適な生活環境の確保及び公共水域の水質汚濁防止のため、事業認可取得地内の管路整備を行う。 下水道の管路更新は、老朽化した下水道管路施設を計画的効率的に管理するため、長期的な視点で老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったストックマネジメント計画を策定し、その計画に基づき管路の更新(改築)を行う。〔下水道管路整備、更新〕											
進捗評価		順調 A	評価の分析		下水道整備率 : 94.6%(整備面積8,320.9ha/認可面積8,800.5ha) R3年度整備面積48.4ha(上作谷、野畑、島名、上河原崎など)								
重要業績 評価指標 (KPI)		管路整備:整備率 整備率(%)=(整備面積/認可面積)×100					現状値(指標設定時)		93.3%				
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—				
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度			
目標値		94.0		94.6		95.4		96.0		96.5			
実績値		94.0		94.6									
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	管路整備												
	管路更新												
事業費見込み(千円)		予算額		決算額		予算額		決算額		予算額		決算額	
		1,131,971		336,404		1,097,249		1,011,917		1,545,372			
備 考		管路整備 ・現在の管路整備は2018年度の事業計画に基づき実施。事業期間は2018年度から2024年度。 ・次期事業計画は、2024年度に申請予定で、事業期間は、2025年度から2029年度を予定。											
		管路更新 ・現在の管路更新は2018年度のストックマネジメント計画に基づき実施。実施期間は2019年度から2023年度。 ・次期ストックマネジメント計画は、2022年度から策定予定で、実施年度は、2024年度から2028年度を予定。											

公約 番号	74	公約事業名称	上水道整備後の簡易水道設備の撤去について地域との検討を推進					担当部課	上下水道局水道工務課			
内容	上水道が整備されたことにより不用となった旧荃崎町の簡易水道施設の撤去について、検討する。											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析	施設撤去の方策検討のため、土地の売却や土地利用等について市関係部署からの聞き取り調査を実施した。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	実施の可能性について 検討											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	引き続き、売却や公的利活用の可能性等を含め検討していく。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	75	公約事業名称	公共施設の効率的な維持管理のための計画策定を推進						担当部課	財務部公共施設マネジメント推進室	
内容		各施設所管等による個別施設計画(長寿命化計画)の策定を推進する。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	各施設所管課による積極的な取り組みにより、当初の目標数を上回る個別施設計画(長寿命化計画)が策定された。							
重要業績 評価指標 (KPI)		各施設所管等が策定する個別施設計画(長寿命化計画)の数						現状値(指標設定時)		5	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		6		7		8		9		10	
実績値		9		11							
実施内容	個別施設計画(長寿命化計画)策定支援										
[凡例]											
計画											
実績											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		714	525	5,763	5,428	2,928		2,928		2,928	
備考	【2020年度策定計画】 つくば市学校施設長寿命化計画、つくば市スポーツ施設個別施設計画、つくば文化会館アルス長寿命化計画、情報ネットワークセンター個別施設計画 【2021年度策定計画】 つくば市市民文化施設長寿命化計画、つくば市学校給食センター長寿命化計画										

公約 番号	76-1	公約事業名称	余った食品の利活用や落ち葉等の堆肥化を推進〔余った食品の利活用推進〕						担当部課	生活環境部環境衛生課		
内容	つくば市一般廃棄物処理基本計画（2020年4月策定）に基づき、調理くずや食べ残しなどの食品残渣のリサイクルを推進するフードリサイクルを進める。〔余った食品の利活用推進〕											
進捗評価	遅れ C		評価の分析	近隣で実施している市町村が少ないため、今後も引き続き、他自治体等の事例調査を行う。								
重要業績 評価指標 （KPI）	—							現状値（指標設定時）		—		
								現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	食品残渣のリサイクルに関する調査・研究											
	事業の具体的方針、 手法の確定、 事業実施に向けた準備											
事業費見込み（千円）			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備 考	フードリサイクルについて、今後、調査・研究の上、具体的な目標等が定まってから、KPIを設定する。											

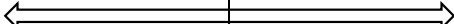
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	76-2	公約事業名称	余った食品の利活用や落ち葉等の堆肥化を推進〔落ち葉等の堆肥化推進〕				担当部課	生活環境部環境衛生課			
内容	つくば市一般廃棄物処理基本計画(2020年4月策定)に基づき、落ち葉、剪定枝及び草等を土壌改良材や堆肥として活用できるための調査研究を進める。〔落ち葉等の堆肥化推進〕										
進捗評価	遅れ C	評価の分析	近隣で実施している市町村が少ないため、今後も引き続き、他自治体等の事例調査を行う。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)	—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合	—			
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	落ち葉、剪定枝及び草等の リサイクルに関する 調査・研究										
	事業の具体的方針、 手法の確定、 事業実施に向けた準備										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備 考	落ち葉、剪定枝及び草等のリサイクルについて、今後、調査・研究の上、具体的な目標等が定まってから、KPIを設定する。										

公約 番号	77-1	公約事業名称	食べ残しなどの食品ロス削減に向けた啓発活動〔フードドライブ等〕					担当部課	政策イノベーション部持続可能都市戦略室		
内容		10月の食品ロス削減月間を中心に、広報つくばなどでの周知啓発やフードバンク活動啓発のためのフードドライブキャンペーンを実施するとともに、つくばSDGsパートナーズなど民間団体へも周知啓発するなど食品ロス削減に対する市民意識の向上を図る。〔フードドライブ等〕									
進捗評価		順調 A		評価の分析		2020年度・2021年度ともに目標値を達成しており、順調に推移している。					
重要業績 評価指標 (KPI)		食品ロス削減のための周知啓発のためフードドライブの実施回数					現状値(指標設定時)		2回		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		2		2		2		2		2	
実績値		2		2							
実施内容 〔凡例〕	広報つくばなどを活用した周知・啓発										
	フードバンク活動啓発のためのフードドライブキャンペーンの実施										
計画 	つくばSDGsパートナーズなど民間団体への周知啓発										
実績 											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備考		・10月が食品ロス削減月間、10月30日が食品ロス削減の日となっているため、これに併せて、広報つくばへの周知掲載やフードドライブキャンペーン(家庭に眠る食品を集めて生活困窮者支援に活用する)を実施している。 ・フードドライブキャンペーンは、つくばSDGsパートナーズ向けと市職員向けの年2回実施している。 ・2020年度は、つくばSDGsパートナー講座において、NPO法人フードバンク茨城による講演を実施した。 ・「広報つくばなどを活用した周知・啓発」は、新型コロナウイルス感染症によるイベント中止等のため、2020・2021年度は通年で実施できなかった。									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	77-2	公約事業名称	食べ残しなどの食品ロス削減に向けた啓発活動〔家庭及び飲食店等の食品ロス削減推進〕				担当部課	生活環境部環境衛生課			
内容		いばらき食べきり協力店への加入促進及び、.30・10(サンマルイチマル)運動を通じた食べ残し削減の啓発を行う。また、家庭における食品ロス削減の啓発を行う。〔家庭及び飲食店等の食品ロス削減推進〕									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、飲食店等への協力啓発が予定どおり進められなかったものの、前年度より登録店数を伸ばした。							
重要業績 評価指標 (KPI)		いばらき食べきり協力店に登録している飲食店数(店舗)					現状値(指標設定時)		18店舗		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		30		50		70		90		110	
実績値		18		44							
実施内容	飲食店等への周知及び 協力店への登録要請										
	家庭系食品ロス 削減の啓発										
[凡例]											
計画											
実績											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備考	2022年度における家庭系食品ロス削減の啓発については、広報紙等による周知、スーパー等食品販売店での周知を実施予定。										

公約番号	78	公約事業名称	芝野焼き対策のためのストックヤード増設				担当部課	経済部農業政策課				
内容	葉刈り芝の野焼きを防止するため、回収目的のストックヤードを増設し、生活環境に配慮した農業を推進する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		葉刈り芝の野焼きを防止するため、回収目的のストックヤードを2020年度の3か所から1か所増設し、4か所とした。回収目的のストックヤードを増設したことにより、生活環境に配慮した農業を推進した。							
重要業績評価指標 (KPI)	葉刈り芝のストックヤード設置数						現状値(指標設定時)		3か所			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			3		4		6 → 5		—		—	
実績値			3		4							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	葉刈り芝回収 ストックヤードの設置											
	葉刈り芝回収 ストックヤードの設置計画											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			3,830	2,050	3,658	2,658	5,531		6,666		7,777	
備考	・2023年度以降の目標値は、2022年度までの状況を踏まえて検討していく。 ・ストックヤードとして増設する用地を市が地権者から借用することから、地権者の協力が必要な事業であるが、増設を予定する2地区のうち1地区については、地権者との交渉に時間を要することが見込まれ、2022年度の予算計上を見送った。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	79	公約事業名称	低炭素の省エネ住宅への補助や公共施設の省エネ化の推進				担当部課	生活環境部環境政策課			
内容		低炭素社会の促進を目的として、省エネ住宅への補助を実施及び公共施設の省エネ化を推進することにより、温室効果ガスの排出抑制を図る。									
進捗評価		順調 A		評価の分析		2021年度の目標値(CO2削減量:172t-CO2)に対して、CO2削減量:347t-CO2を達成した。					
重要業績評価指標(KPI)		低炭素ガイドラインに基づく補助(低炭素戸建住宅レベル2・3)によるCO2削減量(t-CO2)					現状値(指標設定時)		125		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		172		172		172		172		172	
実績値		260		347							
実施内容	低炭素ガイドラインに基づく補助についての 内容検討及び実施										
	公共施設の省エネ化を図るための助言、設備 改修調査、事業の実施										
[凡例]											
計画											
実績											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		142,674	169,386	26,875	24,730	23,440		23,000		23,000	
備考		・目標値＝省エネ住宅認定戸数×年間削減効果(*)、《戦略プランⅣ-4-④の指標と同数としている》 ・実績:2018年度(27件、84t-CO2)、2019年度(40件、125t-CO2)、2020年度(83件、260t-CO2)、2021年度(111件、347t-CO2) ・2020年度の事業費は公共施設の省エネ改修事業を実施したため事業規模が大きい。 *年間削減効果は、つくば市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)で用いる基礎数値を準用。									

公約番号	80	公約事業名称	市街化調整区域の既存集落への住宅立地基準緩和を活用した居住促進				担当部課	都市計画部開発指導課				
内容	市内の既存集落における過疎化を防ぎ、空き地、空き家等の有効利用をするとともに、集落の保全を図ることを目的とした制度について、広報活動を行う。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		2019年に既存集落の過疎化対策等を目的に制定した許可基準について、市ホームページ・窓口にて基準の公開を行うなど、前年度に引き続き広報活動を行った。							
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容	[凡例]	地権者、不動産仲介者 への広報活動										
 計画 実績												
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考												

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約 番号	81	公約事業名称	違法看板などの是正による景観保護				担当部課	都市計画部都市計画課			
内容		市内の主要幹線道路沿いに無許可で設置された屋外広告物を是正するため、2019年に施行したつくば市違反広告物等は正事務処理要領に基づき、重点是正地域を指定し、是正指導を行う。									
進捗評価		順調 A		評価の分析		重点是正地域を指定し、無許可で設置された屋外広告物に対して是正指導を行った。					
重要業績 評価指標 (KPI)		重点是正地域に指定し、是正指導を行った屋外広告物の累計数 (毎年7月に重点是正地域を指定し、その時点で目標値を見直す。)					現状値(指標設定時)		35基		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		73		107 → 89		137 →		167 →		197 →	
実績値		73		89							
実施内容 [凡例] 計画 実績	重点是正地域の指定										
	調査による指導の 相手方の特定										
	是正指導										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		3,076	1,550	2,405	1,649	1,035		1,035		1,035	
備 考		2019年度：交差点3か所を重点是正地域に指定し、35基を是正指導。うち33基が是正完了、残り2基が是正指導中(2022年3月現在)。 2020年度：交差点4か所を重点是正地域に指定し、38基を是正指導。うち34基が是正完了、残り4基が是正指導中(2022年3月現在)。 2021年度：交差点3か所を重点是正地域に指定し、16基を是正指導。うち11基が是正完了、残り5基が是正指導中(2022年3月現在)。									

公約 番号	82	公約事業名称	周辺市街地8地区で取り組んできた地域振興のさらなる発展と他の周辺地域や団地 への横展開				担当部課	都市計画部周辺市街地振興課			
内容		持続可能な地域づくりに向け、地域づくりの次世代を担う多様な人材の掘り起こしをはじめとして、周辺市街地活性化協議会の組織力・活動の充実化を支援する。また、これ までに周辺市街地で行ってきた取組を、地域振興を必要とする他地域へ横展開する。									
進捗評価		順調 A		評価の分析		周辺市街地活性化協議会が発足されていなかった高見原にて2021年10月に協議会が発足された。また、地域振興の横展開の ための制度設計を行い、2022年度から運用する体制を整えた。					
重要業績 評価指標 (KPI)		活性化協議会設置地域数				現状値(指標設定時)		7地域			
						現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		7		8		9		9		9	
実績値		7		8							
実施内容 [凡例] 計画 実績	地域人材の発掘を目的と するコンテストの開催										
	ガイドブックによる横展開										
	横展開の制度設計										
	地域振興の横展開を希望す る地域の公募										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		17,600	17,593	13,321	13,266	20,613		18,920		9,460	
備 考		〈2020、2021年度の主な実績〉 ・2022年度に開催する地域づくりの多様な人材を発掘するイベントの企画を行った。 ・地域振興の横展開に向けての制度設計を行い、2022年度から運用を行う。 〈実施内容見直しの理由〉 ・横展開に向けての制度設計を行い、対象地域を市が選定するのではなく、公募することとしたため変更を行った。									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	83	公約事業名称	ジビエとしての活用等のイノシシ対策のさらなる推進					担当部課	経済部鳥獣対策・森林保全室		
内容		イノシシによる農業被害及び生活被害の軽減のため、イノシシ捕獲等の更なる推進を図るとともに、捕獲したイノシシのジビエ等の活用について他市との連携も含めて検討する。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析	筑波山麓で豚熱の発生や餌の減少など環境の変化等により、イノシシの生息個体数が減少していると推測される。そのため、捕獲頭数は目標値より大きく減少したが、農作物被害や生活被害も前年度より減少している。また、ジビエ等の活用については、石岡市との連携に向けた調整を実施した。							
重要業績評価指標 (KPI)		つくば市鳥獣被害防止計画におけるイノシシの捕獲目標頭数					現状値(指標設定時)		398頭		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		550		550		550		—		—	
実績値		505		193							
実施内容	つくば市鳥獣被害防止計画に基づく捕獲等の実施										
	ジビエ等の活用検討										
[凡例]											
計画											
実績											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		8,647	6,664	8,736	4,637	9,500		9,500		9,500	
備考	第2次つくば市鳥獣被害防止計画で2020年度から2022年度までの目標値を定めているため、2023年度以降の目標値は計画改定後に設定する。										

公約 番号	84	公約事業名称	周辺地域への市内中心部や市外からの移住を推進					担当部課	市長公室広報戦略課 都市計画部周辺市街地振興課			
内容		周辺市街地活性化協議会等と連携し、地域交流イベント等の開催や、周辺地域の魅力を発信することで、市内外から周辺地域に人を呼び込む。また、周辺市街地活性化協議会等から移住希望者等と地域をつなぐコーディネーターを掘り起こし、新規移住者への受入態勢の構築を行うことで、移住の推進を図る。										
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析		新型コロナウイルス感染症の影響でコーディネータの掘り起こしは進まなかったが、2021年の転入超過数が一般市で全国1位となるなど、移住に関する相談件数が増加した。周辺市街地に関する相談実績も増加しており、多くの方に周辺市街地の魅力を伝えるとともに、条件に応じて移住支援金の案内や交付を行った。							
重要業績 評価指標 (KPI)		移住コーディネーターの登録数(延べ人数)						現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		3		5		8	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	地域交流イベントの開催・周辺地域の魅力発信											
	事業準備 (コーディネーターの掘り起こし、養成)											
	コーディネート活動											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			3,166	3,040	256	156	629		629		0	
備考		・SNSを通じて周辺地域等の魅力を随時発信した。 ・周辺市街地のイベントに参加するなど、地域との関係づくりを実施したが、コーディネーターの掘り起こしには至っていない。 ・事業準備について、コーディネーターの掘り起こしとコーディネート活動を優先的に行うこととし、「移住ポータルサイト」に関する事項は削除し、必要に応じて再検討する。										

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	85-1	公約事業名称	周辺地域での取り組みの事業化・収益化を支援して持続的な活動へ〔既存商店街等空き店舗活用補助事業〕				担当部課	経済部産業振興課						
内容	既存商店街の空き店舗の解消と地域振興を目的に、既存商店街における空き店舗を活用して事業を行う事業者に対し、店舗賃借料及び改装費の1／2を補助する。また、周辺市街地振興室と連携して周知を行い制度の活用を図る。〔既存商店街等空き店舗活用補助事業〕													
進捗評価	順調 A		評価の分析		商工会等の関係機関と共に、制度の周知を図ったことにより、交付決定件数が増加した。									
重要業績評価指標 (KPI)	既存商店街等空き店舗活用補助金の交付決定件数						現状値(指標設定時)		3件					
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—					
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度			
目標値			3		3		3 → 7		3 → 4		3 → 4			
実績値			2		5									
実施内容 〔凡例〕 計画 実績		賃借料補助												
事業費見込み(千円)			予算額		決算額		予算額		決算額		予算額		決算額	
			2,550		110		2,100		2,643		4,807			
											4,200			
備考	2020年度 賃借料補助 2件 2021年度 賃借料補助 3件、改装費補助 2件 2022年度 予算4件分と2021年度からの継続補助3件分の合計で目標値を7件に上方修正した。													

公約 番号	85-2	公約事業名称	周辺地域での取り組みの事業化・収益化を支援して持続的な活動へ〔地域資源収益化支援事業〕				担当部課	都市計画部周辺市街地振興課				
内容	周辺市街地活性化協議会やつくばR8地域活性化プランコンペティション採択者の自走化のために、専門家の伴走のもと事業化・収益化を支援する。また、意欲ある者が自らの能力と地域資源を活かし、地域経済に貢献できる「チャレンジエリア」を設定し、空き店舗を活用したマーケットプレイスの提供をはじめとする出店支援を行うとともに、既存店舗との相乗効果により、周辺市街地の徒歩圏内に特色ある店舗が集まるコアエリアの形成を目指す。〔地域資源収益化支援事業〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析	各協議会の代表者等が一堂に会する「つくばR8ネットワーク」を立ち上げ、自走化に向けた協議会間の課題共有をはじめ、情報交換・人的交流の機会を促進した。 吉沼市街地にチャレンジショップ「吉沼まちかどテラス」を整備した。（2022年4月から利用者の募集を行う）								
重要業績 評価指標 （KPI）	—						現状値（指標設定時）		—			
							現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	つくばR8地域活性化プラン コンペ2020の開催											
	協議会とR8コンペ採択者の 自走化支援											
	チャレンジエリアの選定・ チャレンジショップの整備											
	店舗誘致・チャレンジショップ の提供											
	チャレンジショップ利用者の エリア内出店の支援											
事業費見込み（千円）			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			17,600	17,593	13,321	13,266	20,613		18,920		9,460	
備考	〈2020年度、2021年度の主な実績〉 ・つくばR8ネットワーク会議を2回開催し、自走化に向けた情報共有を行った。 ・「吉沼まちかどテラス」内に2店舗分のスペースを整備した。 〈実施内容見直しの理由〉 ・マーケットプレイスをチャレンジショップに名称変更。											

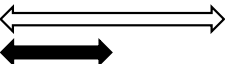
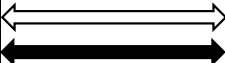
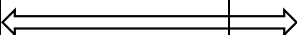
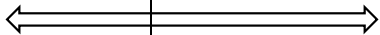
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	86-1	公約事業名称	学校との連携により、地域活性化の取り組みを学びの機会へ〔S高等学校との連携〕				担当部課	政策イノベーション部企画経営課 都市計画部公有地利活用推進課				
内容	S高等学校との連携により学びの機会の充実を図る。〔S高等学校との連携〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		S高等学校と連携・協議の上、児童が参加できるイベントの開催を企画し、市内の学校でオンラインによる児童体験学習型イベントを実施した。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	連携協議											
	連携した取組の実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校(N高等学校も共催)と連携し、みどりの学園義務教育学校において、オンラインによる児童体験学習型イベント(SDGsに関係した)を実施した。											

公約 番号	86-2	公約事業名称	学校との連携により、地域活性化の取り組みを学びの機会へ〔大学・高校・小中学校との連携〕				担当部課	都市計画部周辺市街地振興課				
内容	・大学・高校の協力のもと周辺市街地活性化を推進していくとともに、学生にとっての学びの機会を提供していく。 ・周辺市街地活性化協議会等によるイベントに、小中学校の協力のもと児童生徒が参加することで、地域振興にとって重要な要素である地域への愛着の醸成を図っていく。 ・公約番号82に記載の地域人材の発掘を目的とするコンテストの開催に学生部門を設置する。〔大学・高校・小中学校との連携〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		筑波大学藤田直子研究室によるロゲイニングが各市街地で開催されている。また、大学院生の授業の中で地域の課題を発見し、解決策を実施する取組が行われた。 地域の小学校の協力のもと協議会のイベントが開催された。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容	[凡例]	大学・高校との連携										
	計画 実績	地域人材の発掘を目的とするコンテストの開催										
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			17,600	17,593	13,321	13,266	20,613		18,920		9,460	
備考	KPIについては大学・高校との連携の具体化と併せて検討する。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	87	公約事業名称	新設した空き家活用補助金等による空き家問題への対策の推進					担当部課	建設部住宅政策課		
内容		空き家のリフォーム・リノベーション等を行い活用する者に補助金を交付し、空き家の有効活用を促進する。									
進捗評価		遅れ C	評価の分析		空家活用補助金対象となる空家バンクの物件登録数が横ばいで伸びていない。空家バンクの制度の周知を図るとともに、空家バンク制度で成功している自治体(登録増)の事例、関係事業者の活用検討等を行い、バンク登録物件を増やす。						
重要業績評価指標(KPI)		補助件数(空家活用補助金・地域交流拠点補助金の利用件数)5年間で25件					現状値(指標設定時)		0件		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		5		10		15		20		25	
実績値		0		1							
実施内容 [凡例] 計画 実績	空家活用補助金交付										
	空家活用・地域交流拠点づくり支援補助金 (要綱策定・予算要求)										
	空家活用・地域交流拠点づくり支援補助金交付										
	空家等対策計画(第2期)策定										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		3,000	0	2,800	500	25,955		2,800		2,800	
備 考		・2020年度から空家活用補助金(改修工事費・家財処分費)を開始した。 ・2021年度から空家活用・地域交流拠点づくり支援補助金を開始し、1件の交付を行った。 ・空家活用補助金対象となる空家バンク登録物件の件数を伸ばすため、引き続き制度の周知(固定資産税納税通知へ制度案内同封、空家適正管理啓発冊子の送付等)を図るとともに、空家バンクで登録を伸ばしている自治体の事例検討や関係事業者の活用検討等を行う。									

公約番号	88-1	公約事業名称	筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ〔ジオパークの拠点〕				担当部課	経済部ジオパーク室				
内容	旧筑波東中学校の一部教室を活用し、筑波山地域ジオパークのネットワークや情報発信、地域連携、教育普及等の中心となるような中核拠点施設を整備することで、筑波山地域ジオパークの魅力を高め、ジオパーク活動を推進する。〔ジオパークの拠点〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析	筑波山地域ジオパーク中核拠点施設を整備するため、旧筑波東中学校の建物改修及び展示設計業務を完了した。								
重要業績評価指標 (KPI)	年間の入場者数(人)						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		6,000 → 4,000		8,000	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	基本構想・計画策定											
	展示設計 建築設計											
	展示物製作 建築工事											
	施設稼働											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			4,453	4,453	22,249	17,815	150,769		117,800		15,500	
備考	・2020年10月に、筑波山地域ジオパーク中核拠点施設基本構想・計画を策定した。 ・設計業務の結果、展示物製作業務が2022年度内に完了しないことから、施設の稼働が予定より遅れるため、2023年度のKPI(年間の入場者数)目標値を下方修正した。 ・2022年度地方創生拠点整備交付金(2021年度補正予算分)の内示を受けた。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	88-2	公約事業名称	筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ〔サイクリングの拠点〕				担当部課	都市計画部サイクルコミュニティ推進室				
内容	更なる自転車利用を促進するために自転車拠点を整備する。〔自転車の拠点整備〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析	旧筑波東中学校への自転車拠点整備について、校舎リニューアル工事の設計委託業務及びBMXレーシングコース設計委託業務を完了した。また、地方創生拠点整備交付金の内示を受けた。								
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	整備方針の検討		公約番号62-1と同一の実施内容									
	設計											
	工事											
	運用											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	2,915	11,575	234,479		0		0	
備考	・KPIは、自転車拠点の運用開始に合わせて設定予定。 ・自転車の拠点整備内容は、自転車のまちつくば推進委員会にて検討。											

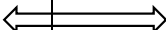
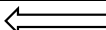
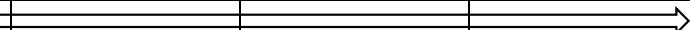
公約番号	89	公約事業名称	筑波西中跡地に誘致する広域通信制高校との連携による地域活性化				担当部課	政策イノベーション部企画経営課 都市計画部公有地利活用推進課				
内容	S高等学校との連携により地域活性化を図る。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		S高等学校と連携・協議の上、児童が参加できるイベントの開催を企画し、市内の学校でオンラインによる児童体験学習型イベントを実施した。							
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	連携協議		公約番号86-1と同一の実施内容									
	連携した取組の実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校(N高等学校も共催)と連携し、みどりの学園義務教育学校において、オンラインによる児童体験学習型イベント(SDGsに関係した)を実施した。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約 番号	90-1	公約事業名称	小貝川や地域の商店等の地域資源を活かした誘客推進〔小貝川周辺の周遊観光促進〕				担当部課	経済部観光推進課			
内容		小貝川周辺の豊かな観光資源を活用し、市内の周遊観光を促進するため、周遊観光電子コンテンツを構築し、魅力ある小貝川周遊観光を提供する。また、利用者の属性等から分析・検証を行うことで、持続可能な地域活動を支援するとともに、地域経済に貢献する。〔小貝川周辺の周遊観光促進〕									
進捗評価		順調 A		評価の分析		2022年度末の周遊観光電子コンテンツ導入に向け順調に準備を進めることができている。					
重要業績 評価指標 (KPI)		電子コンテンツの利用者数					現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		— → 500		500		1,000	
実績値		—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	周遊観光電子コンテンツ 手法の検討										
	地域等との意見交換 資源調査 周遊観光コース策定										
	周遊観光電子コンテンツ の構築及び導入										
	分析・検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	1,352	1,352	4,990		3,535		3,535	
備 考		・2022年度中に周遊観光電子コンテンツの構築を行い、2022年度末の導入を目指す。 ・2021年度に周遊観光電子コンテンツ構築のため、試行的に実施したまち歩きイベントに967名の利用があった。 ・公約番号93-3と同一の実施内容。									

公約 番号	90-2	公約事業名称	小貝川や地域の商店等の地域資源を活かした誘客推進〔周辺市街地活性化支援〕				担当部課	都市計画部周辺市街地振興課				
内容	市西部における地域資源である小貝川や商店の活用について、「吉沼、元気！協議会」及び「上郷市街地活性化協議会」等の発案を実現するために、周辺市街地活性化チャレンジ補助金の交付をはじめとする支援を行っていく。〔周辺市街地活性化支援〕											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析		実施を予定していたイベントの一部が新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったため、目標値に達しなかったものの、周辺市街地活性化協議会（吉沼、上郷）やつくばR8地域活性化プランコンペティション採択者により小貝川や商店を活用した取組が行われた。							
重要業績 評価指標 （KPI）	小貝川や商店を活用した取組件数						現状値（指標設定時）		3件			
							現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			4		6		6		6		6	
実績値			5		4							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	周辺市街地活性化チャレンジ補助金の補助制度の効果検証・制度検討											
	周辺市街地活性化チャレンジ補助金の交付											
	周辺市街地活性化チャレンジ補助金を活用した取組等の実施											
事業費見込み（千円）			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			1,000	932	1,000	895	1,000		1,000		1,000	
備考	〈2020年度、2021年度の主な実績〉 上郷、吉沼で以下のイベントを実施した。 2020年度 水辺で乾杯／防災の集い／Bond Job職場体験／田倉三匹獅子／あーとどあ筑波嶺三十六景 2021年度 吉沼マルシェ／防災の集い／上郷フェスティバル／ロゲイニングin上郷											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	91	公約事業名称	道路の整備や拡幅の推進により大穂地区の東西移動をさらに円滑に				担当部課	建設部道路計画課				
内容	大穂地区を横断する主要地方道つくば古河線、つくば千代田線の整備を促進する。											
進捗評価	遅れ C		評価の分析	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い打合せをすることが難しくなったため、茨城県との協議に至るまでに時間を要した。								
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	主要地方道つくば古河線、つくば千代田線について、さらに円滑な移動が可能となるよう、整備手法等について県と協議											
	主要地方道つくば古河線、つくば千代田線について、県への拡幅整備の要望											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	2022年度も引き続き茨城県と協議を実施し、合わせて要望を行う。											

公約番号	92	公約事業名称	上郷高校跡地の利活用方針決定へ				担当部課	市民部スポーツ施設整備室 都市計画部公有地利活用推進課				
内容	上郷高校跡地の利活用方針として、陸上競技場の整備を検討する。											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析		2021年度中に大規模事業評価の答申を受け、市の方針を決定する予定であったが、市の方針決定が2022年度になる予定のため、スケジュールを見直した。							
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容	[凡例]	計画 実績	陸上競技場の整備検討									
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			9,687	9,192	0	0	0		0		0	
備考	・2020年7月～3月 陸上競技場整備基本構想策定検討会議 ・2021年4月 (仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想策定 5月 全員協議会報告 6月 市民説明会 7月～3月 大規模事業評価委員会											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	93-1	公約事業名称	豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上〔豊里ゆかりの森〕				担当部課	経済部観光推進課、豊里ゆかりの森			
内容		豊里ゆかりの森の各既存施設を最大限に活用し、利用者のニーズに合致した魅力あるアウトドア体験施設としての整備を行う。〔豊里ゆかりの森〕									
進捗評価		遅れ C	評価の分析		緊急事態宣言等による利用停止を始めとした新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、利用者数が目標値に達成することが困難であった。バーベキュー場屋根改修工事及びキャンプ場女子トイレ改修工事並びにキャビンの改修設計を実施し、ゆかりの森の魅力度の向上を図った。						
重要業績 評価指標 (KPI)		豊里ゆかりの森利用者数				現状値(指標設定時)		75,820人			
						現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		40,000		50,000		70,000		76,000		78,000	
実績値		21,077		30,959							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	調査・分析										
	設計										
	工事										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		2,475	1,865	17,061	15,656	21,000		54,500		4,500	
備 考		・2021年度は、バーベキュー場屋根改修工事及びキャンプ場女子トイレ改修工事並びにキャビンの改修設計を実施。 ・設計の次年度に工事を実施予定。 ・公約番号127-2と同一の内容。									

公約番号	93-2	公約事業名称	豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上〔川口公園〕				担当部課	建設部公園・施設課				
内容	公園内の池・橋・植栽など施設の適正な維持管理を行い、自然環境をいかした水辺の整備を実施する。〔川口公園〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		年間を通して草刈りなどの植栽維持管理を実施した。 職員による園内点検により、良好な公園維持管理を実施した。							
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	園内点検											
	維持管理の実施											
	修繕・維持管理計画の策定											
	魅力向上のための施設整備の計画と実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			11,587	11,587	10,468	10,468	10,294		10,294		10,294	
備考	・年間を通して池内・流れ除草、芝刈りなどの公園維持管理を実施する。 ・職員による園内点検を年2回実施し、軽微なものについては当年度対応、大規模になる場合に予算化などの対応をする。 ・「修繕・維持管理計画の策定」は、年間を通して実施しているため、2022年度から通年で計画する。 ・さらなる魅力向上のため、2022年度から「施設整備の計画と実施」を追加した。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	93-3	公約事業名称	豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上〔小貝川周辺の周遊観光促進〕				担当部課	経済部観光推進課			
内容		小貝川周辺の豊かな観光資源を活用し、通年型周遊観光を促進することを目的に、周遊観光電子コンテンツを構築し、魅力ある小貝川周遊観光を提供する。また、利用者の属性等から分析・検証を行い、市内周遊観光の誘客促進に繋げていく。〔小貝川周辺の周遊観光促進〕									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2022年度末に周遊観光電子コンテンツ導入に向け順調に準備を進めることができている。							
重要業績評価指標 (KPI)		電子コンテンツの利用者数						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		— → 500		500		1,000	
実績値		—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	周遊観光電子コンテンツ 手法の検討	公約番号90-1と同一の実施内容									
	地域等との意見交換 資源調査 周遊観光コース策定										
	周遊観光電子コンテンツ の構築及び導入										
	分析・検証										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	1,352	1,352	4,990		3,535		3,535	
備考		・2022年度中に周遊観光電子コンテンツの構築を行い、2022年度末の導入を目指す。 ・2021年度に周遊観光電子コンテンツ構築のため、試行的に実施したまち歩きイベントに967名の利用があった。 ・公約番号90-1と同一の実施内容。									

公約番号	93-4	公約事業名称	豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上〔小貝川等の魅力向上〕				担当部課	都市計画部周辺市街地振興課			
内容		市西部における地域資源である豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等の活用について、「吉沼、元気！協議会」及び「上郷市街地活性化協議会」の発案を実現するために、周辺市街地活性化チャレンジ補助金の支給をはじめとする支援を行っていく。〔小貝川等の魅力向上〕									
進捗評価		おおむね順調 B		評価の分析		実施を予定していたイベントの一部が新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったため、目標値に達しなかったものの、周辺市街地活性化協議会（吉沼、上郷）やつくばR8地域活性化プランコンペティション採択者により小貝川や商店を活用した取組が行われた。					
重要業績評価指標（KPI）		小貝川や商店を活用した取組件数					現状値（指標設定時）		3件		
							現状値（2021年度末）※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		4		6		6		6		6	
実績値		5		4							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	周辺市街地活性化チャレンジ補助金の補助制度の効果検証・制度検討	公約番号90-2と同一の実施内容									
	周辺市街地活性化チャレンジ補助金の交付										
	周辺市街地活性化チャレンジ補助金を活用した取組等の実施										
事業費見込み（千円）		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		1,000	932	1,000	895	1,000		0		0	
備考		〈2020年度、2021年度の主な実績〉 上郷、吉沼で以下のイベントを実施した。 2020年度 水辺で乾杯／防災の集い／Bond Job職場体験／田倉三匹獅子／あーとどあ筑波嶺三十六景 2021年度 吉沼マルシェ／防災の集い／上郷フェスティバル／ロゲイニングin上郷									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	94	公約事業名称	桜庁舎跡地を活用した地域活性化推進				担当部課	都市計画部公有地利活用推進課			
内容		既存の子育て総合支援センター、桜窓口センター、桜保健センター等と連携しながら、利活用方策を検討する。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	2021年度に庁舎を解体することを意思決定し、解体設計及び付属の倉庫の撤去を行った。2022年度には庁舎の解体工事が行われることになった。							
重要業績評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	庁内ニーズ調査	↔									
	庁舎の解体設計及び付属の倉庫の撤去			↔ ↔							
	庁舎解体工事					↔					
	利活用方策の検討					↔					
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備考		・都市計画部公有地利活用推進課が主体となり、現在立地する施設の管理者である市民部、保健部等の関係部署との連携も行う。 ・2022年度に庁舎の解体工事を行うため、解体後の土地利用について関係課と協議する。 ・プレイパークは2020年2月から利用開始し、スケートボードパークとオフロード自転車コースについては現在整備計画を進めている。									

公約番号	95	公約事業名称	都市計画道路妻木金田線の整備に向けた交渉の加速					担当部課	建設部都市計画道路整備推進室			
内容	都市計画道路妻木金田線の早期完成を目指して、事業化への道筋を検討する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	地元区会や地権者等と、妻木金田線等に関する意見交換会を行った。								
重要業績評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	懇談会の実施 意見交換会の実施 関係者に意見聴取の実施		↔		↔						↔	
			↔		↔						↔	
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考												

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約 番号	96-1	公約事業名称	谷田部庁舎跡地への交番誘致や暫定的なイベント広場としての整備〔交番誘致〕				担当部課	都市計画部公有地利活用推進課 建設部防犯交通安全課				
内容		地区交番の設置に向けて、茨城県警と協議調整を行う。〔交番誘致〕										
進捗評価		達成 S	評価の分析	2021年7月17日に谷田部地区交番移設についての住民説明会を実施し、地域住民の理解を得た。 茨城県警が2021年10月から2022年3月にかけて交番の設置工事を行った。 2022年4月に谷田部地区交番運用開始。								
重要業績 評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	茨城県警との調整											
	交番設置工事(茨城県警)											
	交番運用開始											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備 考												

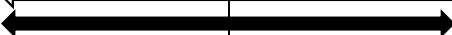
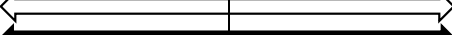
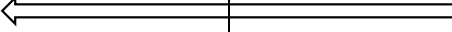
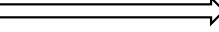
公約 番号	96-2	公約事業名称	谷田部庁舎跡地への交番誘致や暫定的なイベント広場としての整備〔イベント開催支援〕					担当部課	都市計画部公有地利活用推進課、周辺市街地振興課		
内容		谷田部市街地活性化協議会によるイベント開催の支援を行う。〔イベント開催支援〕									
進捗評価		遅れ C	評価の分析		新型コロナウイルス感染症の影響により、庁舎跡地や千歳通りなどでのイベントは行われなかった。						
重要業績 評価指標 (KPI)		イベント広場でのイベント開催数					現状値(指標設定時)		0回		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		0		1		1		2		2	
実績値		0		0							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	広場でのイベント開催										
	周辺市街地活性化チャレンジ補助金の補助制度の効果検証・制度検討										
	周辺市街地活性化チャレンジ補助金の交付										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		500	420	500	500	500		500		500	
備考		〈2020年度、2021年度の主な実績〉 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントは自粛されたものの、周辺市街地活性化チャレンジ補助金を活用し、地域を紹介するパンフレットの作成などが行われた。									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	97	公約事業名称	圏央道・つくば中央インターチェンジ周辺の土地利用を促進					担当部課	建設部道路計画課			
内容		土地区画整理事業による圏央道つくば中央インターチェンジ周辺の土地利用を促進するため、事業主体となる土地区画整理組合の早期設立(土地区画整理法第14条)に向けて必要な支援をする。										
進捗評価		遅れ C	評価の分析	これまでの進捗状況を踏まえ、2021年末から、準備組合の体制強化のため、つくば市において、円滑な事務局運営を支援している。								
重要業績 評価指標 (KPI)		—							現状値(指標設定時)		—	
									現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	技術的援助及び助成											
	国土利用計画法 都市計画法 (農林協議、都市計画決定)											
	土地区画整理法 (組合設立認可)											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			10,265	30,296	20,208	44	1,108		8,149		73	
備 考		計画策定に関する関係機関協議の未了によって、都市計画手続の時期に遅れが生じていることから、土地区画整理法(組合設立認可)の手続を2024年度以降とし、工程表から計画を削除した。										

公約 番号	98	公約事業名称	茎崎庁舎跡地を活用した地域活性化推進				担当部課	都市計画部公有地利活用推進課				
内容	公共施設併設型商業施設の設置について検討を進め、地域活性化を推進する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	2021年度に公共施設併設型商業施設を設置する利活用案を見直し、茎崎保健センターを存続させ、庁舎跡地に小売店（食料品、日用品）を設置する土地利用の指針を策定した。この指針は、従来の行政サービスを低下させず、小売店の設置によって住民の買い物利便性を向上させ、地域活性化を推進するものである。								
重要業績 評価指標 （KPI）	—						現状値（指標設定時）		—			
							現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	事業者公募に向けた整理											
	事業者公募、選定											
	公共施設併設型 商業施設設置に向けた 手続、工事等											
	新たな土地利用指針の 策定											
	新たな土地利用指針に基づ く事業者公募及び選定											
事業費見込み（千円）			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	・事業者からの聞き取りの結果や行政サービスの維持を求める住民の意向があることから、公共施設併設型商業施設ではなく、庁舎跡地に小売店（食料品・日用品）を設置する利活用案に見直しを行った。 ・2022年度に利活用の指針について住民説明会等で説明し、理解を得られれば、小売店の事業者を公募する予定。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	99	公約事業名称	荻崎こもれび六斗の森や牛久沼のアウトドア拠点としての魅力向上				担当部課	経済部観光推進課、荻崎こもれび六斗の森				
内容	牛久沼周辺観光を推進するため、荻崎こもれび六斗の森の現状を分析し、利用者のニーズに合致した魅力あるアウトドア体験施設の整備を行う。											
進捗評価	遅れ C		評価の分析	2021年2月にサンタリー棟完成、2022年3月に団体用屋根付きBBQ場が完成し施設の充実を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が長引き、利用者が外出を自粛したことなどから、利用実績が目標値には届かなかった。								
重要業績 評価指標 (KPI)	荻崎こもれび六斗の森利用者数						現状値(指標設定時)		8,896人			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			4,000		8,000		9,000		11,000		12,000	
実績値			3,691		4,894							
実施内容 [凡例] 計画 実績	調査・分析											
	設計											
	工事											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			115,020	87,208	109,788	17,277	30,455		31,705		29,813	
備考	・設計完了後、2020年度にサンタリー棟と駐車場を整備し、2021年度に団体用バーベキュー場を整備した。 ・今後、施設が充実し魅力度が向上したことを利用者にアピールすることで、目標値の達成に努める。 ・公約番号127-3と同一の実施内容											

公約番号	100	公約事業名称	複数校で共同利用する温水プールを市民も利用できるよう整備					担当部課	市民部スポーツ施設整備室 教育局教育施設課			
内容	つくばエクスプレス沿線地区を主とした一部の学校プールを集約し、学校の授業で使用するとともに、授業以外の時間帯は一般開放を行うことで、市民の健康づくりの場となる、通年利用可能な屋内温水プールを建設し、2024年4月の供用開始を目指す。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	2024年度の供用開始に向け、2021年度に設計を完了し、2022～2023年度の工事費予算を確保した。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	用地購入											
	基本・実施設計業務											
	建設工事											
	施設供用準備 (条例制定、維持管理)											
	(仮称)みどりの 学校プール開設											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			885,248	884,929	67,012	65,542	1,189,730		1,645,287		60,374	
備考	・2020年10月 用地購入 10月 設計業務開始 ・2021年6月～1月 新設校建設説明会 ・2022年1月 設計業務完了											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	101	公約事業名称	つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計				担当部課	教育局教育施設課				
内容	今後建設する新設校について、家庭科室や図書室等の特別教室を地域の住民に開放できるように計画・検討することで、地域に開かれた学校とする。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	地域住民への開放を想定した教室配置を、設計業務で検討した。								
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	基本・実施設計											
	建設工事											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			279,477	279,477	2,667,532	1,450,700	10,346,766		5,251,678		0	
備考	事業費については、公約番号38と重複して記載している。											

公約番号	102-1	公約事業名称	つくばエクスプレス沿線への交番や郵便局の誘致活動を推進〔交番誘致〕				担当部課	建設部防犯交通安全課				
内容	人口増加地域や犯罪増加地域等に対し交番設置を促進するため、つくば警察署を通じて茨城県警察本部へ要望していく。〔交番誘致〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		つくばエクスプレス沿線の駅周辺で唯一、交番が未設置のみどりの駅周辺への交番設置については、2021年2月19日に、つくば警察署を通じて茨城県警察本部へ要望書を提出した。 市民からの要望に対しては、速やかに、つくば警察署へ要望の申し立てを行った。							
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	要望活動											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	・市民からの要望に対するつくば警察署への要望の申立件数 2020年度: 2件 2021年度: 1件 ・今後も交番設置の要望を継続していくとともに、新たに、みどりの駅周辺への防犯ステーション設置について検討を進める。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	102-2	公約事業名称	つくばエクスプレス沿線への交番や郵便局の誘致活動を推進〔郵便局誘致〕				担当部課	総務部総務課				
内容	つくばエクスプレス沿線への郵便局の誘致活動を行う。〔郵便局誘致〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析	2021年4月、日本郵便株式会社とつくばエクスプレス沿線への郵便局設置について協議した。								
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	誘致に関する調査研究											
	郵便局の誘致活動											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備 考												

公約 番号	103	公約事業名称	コロナの影響を受けている地元企業の相談体制を充実させ一元的にサポート				担当部課	経済部経済支援室				
内容	国や市の経済支援制度の案内や申請手続などについて、専門家のコンサルティング等を行う「経営支援ワンストップ窓口」を開設し、きめ細やかな伴走型支援を実施する。さらに、毎年、新型コロナウイルス感染症の影響調査等を実施し、地元企業のニーズに応じた相談メニューの追加やオンライン面談の導入などの相談体制の強化を実施する。											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析		商工会と連携し、専門家相談体制を増強した。 目標値には到達しなかったものの、継続を望む意見が多く寄せられている。							
重要業績 評価指標 (KPI)	経営支援ワンストップ窓口における相談満足度(5段階評価の5を選んだ相談者の割合)						現状値(指標設定時)		80.0%			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			82.5		85.0		85.0		—		—	
実績値			83.1		83.0							
実施内容 [凡例] 計画 実績	経営支援ワンストップ 窓口の開設								経済状況、相談状況に応じて、 実施方法を検討			
	実態・ニーズ調査											
	相談体制構築											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			11,259	9,193	4,695	8,761	11,715		0		0	
備考	相談件数:10,240件(1日平均 24.9件) ・2022年度も実施することから計画の期間を延長した。商工会との連携による専門家相談体制の増強を継続し、要望の多いオンライン面談を本格的に導入する。 ・実態・ニーズ調査は窓口を利用した事業者へのアンケートを通年でやっていることから、実績を通年とした。(アンケート回答数:1,040件 2022年3月31日時点) ・相談体制構築は専門家との調整を通年でやっていることから実績を通年とした。 ・2023年度以降については、経済状況、相談状況に応じて、実施方法を検討する。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	104	公約事業名称	コロナの影響で就職先やアルバイトが減少している学生等と地元企業のマッチング				担当部課	経済部経済支援室			
内容		学生等を新たに雇用した地元企業に対して賃金の一部を助成し、市内における安定的な就労環境を醸成する。また、学生及び地元企業のニーズを的確に把握し、双方が望む幅広いマッチングの機会及び場を提供する。									
進捗評価		順調 A	評価の分析		雇用促進交付金では、短時間勤務の学生アルバイトも対象となるよう制度の改正を行った。 また、企業向けの採用セミナー及び就活支援イベントをオンライン開催し、参加者満足度も高い事業となった。						
重要業績 評価指標 (KPI)		補助金の交付により就業(アルバイトを含む)した学生等の人数						現状値(指標設定時)		0人	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		10		20		20 → 300		20 → 300		20 → 300	
実績値		99		266							
実施内容 [凡例] 計画 実績	雇用促進交付金の交付										
		マッチングの機会の提供									
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		5,950	38,966	15,950	58,557	47,998		47,998		47,998	
備 考		・雇用促進交付金による学生アルバイトの雇用者数: 2020年度97人、2021年度262人 ・2020年8月に週10時間以上勤務する学生アルバイトを対象とする制度改正を実施した。 ・2021年8月に週5時間以上勤務する学生アルバイトを対象とする制度改正を実施した。 ・就活支援イベント実施後の内定者数: 2020年度2人、2021年度4人 ・KPIの実績値が目標値を大幅に超えていることから2022年度以降の目標値を見直している。 ・就活支援イベント時のマッチング相談件数: 2020年度709件、2021年度609件 ・雇用促進交付金については、2023年度以降の経済状況により、事業の拡充・縮小・廃止を検討する。									

公約 番号	105-1	公約事業名称	地域の事業を将来につなげる新規事業への挑戦や事業承継を支援〔新規事業への挑戦を支援〕					担当部課	経済部産業振興課			
内容	市内事業者の新たなチャレンジの機運を高め、創出したアイデアを新製品・事業展開に着実につなげていくため、つくば市認定制度を軸とした重点支援を実施するとともに、研究開発から製品・事業化までの一連のプロセスにおいて、抱えている課題に応じて専門家や支援機関への仲介・助言の場の提供、補助金等の紹介等を行う。〔新規事業への挑戦を支援〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		認定・認証制度については、市からの情報発信に加え、認定・認証事業者間による横展開が図られたことで、認知度の向上につながった。							
重要業績 評価指標 (KPI)	つくば市認定制度への申請件数を2024年度までに100件以上とする。(累計)							現状値(指標設定時)		9件		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			20		40		60 → 80		80 → 90		100	
実績値			50		76							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	つくば市認定制度の見直し、 プラットフォーム設置 認定制度への 再チャレンジのメニュー 検討、支援実施 専門家や支援機関への 仲介・助言の場の提供	←								→		
		←								→		
		←								→		
		←								→		
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			298	272	4,027	4,011	3,935		3,935		3,935	
備考	認定制度の認知度の向上等の理由により、目標値を実績値が上回ったため、目標を上方修正した。 つくばコレクション申請件数(2019 9件、2020 15件、2021 18件) つくばクオリティ申請件数(2020 26件、2021 8件)											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	105-2	公約事業名称	地域の事業を将来につなげる新規事業への挑戦や事業承継を支援〔事業承継を支援〕				担当部課	経済部産業振興課			
内容	貴重な地域産業を次世代に残すため、事業承継に向けた準備が行えない後継者不在の中小企業等を対象に、事業承継を支援する。〔事業承継を支援〕										
進捗評価	順調 A		評価の分析	中小企業等にアンケートを実施し、事業承継を希望する3社を事業承継の専門機関である茨城県事業承継・引継ぎ支援センターに紹介し、今後のマッチングの機会提供を行った。							
重要業績 評価指標 (KPI)	事業承継のマッチング件数を2024年度までに9件以上とする。(累計)						現状値(指標設定時)		0件		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		2		5		9	
実績値		—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	事業承継未定事業者の 顕在化に向けた方法 検討、調査										
	承継先事業者の抽出										
	事業承継マッチング										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	294	186	329		0		0	
備 考											

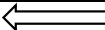
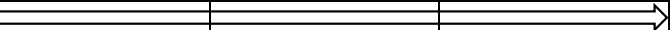
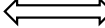
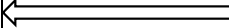
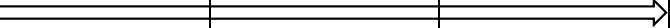
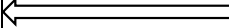
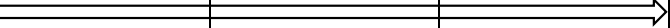
公約 番号	106	公約事業名称	起業家や研究機関と地元企業の連携による新規事業創出				担当部課	政策イノベーション部スタートアップ推進 室 経済部産業振興課					
内容	各企業や研究機関の取組を積極的に情報発信するとともに、研究機関内での市内企業による展示会開催や、異業種間における交流会を開催することにより、交流機会の提供、連携の場を創出する。また、Society 5.0等の社会実装トライアルや、研究機関等によって得られた知見を、地元企業へ展開し、協業を促すことで、新規事業創出を目指す。加えて、起業家と地元企業がそれぞれの持つ課題を共有し、双方のソリューションとのマッチングを図る仕組みを構築する。												
進捗評価	順調 A		評価の分析		スタートアップ・エコシステムの土台づくりを強化するため市内研究機関との情報連携を強化したことにより、市内スタートアップと研究機関での協業事例が生まれた。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて一部展示会が開催できていないものの、スタートアップパーク等において交流機会や展示機会を設けた。								
重要業績 評価指標 (KPI)	提携連結・協業成果情報発信支援件数を、2024年度までに3件以上とする。(累計)						現状値(指標設定時)		1件				
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—				
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		
目標値			1		1		1		2		3		
実績値			1		1								
実施内容 〔凡例〕 計画 実績		市内企業情報の発信											
			展示会の開催										
				交流会の実施									
			起業家と市内企業との 相談機会の創出										
事業費見込み(千円)				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			44	0	56	0	61		61		61		
備考	つくばスタートアップパークで毎週開催するセミナー系イベント(現地、オンラインのハイブリッド開催)において、交流の場やパネル展示などを実施し、より効果が得られやすい手法を模索しながら実施している。 事例)農研機構と市内スタートアップの共同研究開発で農作業で使う自動追従ロボットが製作された。												

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	107	公約事業名称	総合評価方式の拡充等さらなる入札改革				担当部課	総務部契約検査課			
内容		総合評価方式は、工事施工の技術的能力や地域貢献度等の評価項目と入札価格とを総合的に評価し、落札者を決定する方式であり、地域に精通し貢献している企業が評価され受注機会の確保が図れることから、総合評価方式による入札を拡充し実施する。また、地元企業の受注機会が確保され、技術と経営に優れた健全な企業へと成長できるよう、入札制度を常に検証しながら改善を図る。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	更なる入札制度の改善のため、総合評価方式のガイドラインを作成し、総合評価方式の入札を拡充した。関係産業団体等との意見交換会を開催した。							
重要業績 評価指標 (KPI)		年間の総合評価方式による入札の実施件数					現状値(指標設定時)		13件		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		20		30		40		50		60	
実績値		25		30							
実施内容 [凡例] 計画 実績	総合評価方式の運用 ガイドライン作成										
	入札制度の検証・改善 (総合評価方式含む)										
	関係産業団体等との 意見交換										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備考		・2020年度に入札制度検証チームを設置し、検証結果を議会へ報告した(2021年3月16日全議員を対象として勉強会)。 ・2021年度に議会会派別の勉強会を計5回実施した。 ・2020年度、2021年度に関係産業団体2団体との意見交換を行った。 ・入札制度検証チームの検証結果及び関係産業団体との意見交換をもとに、「つくば市入札制度運用方針」の一部改定、「つくば市低入札価格調査実施要領」「つくば市最低制限価格取扱要領」の一部改正を行った。									

公約 番号	108	公約事業名称	空き店舗やチャレンジショップを活用した新規事業や創業の支援				担当部課	経済部産業振興課			
内容		市内創業予定者を対象に、伴走型の支援をしながら実践的なトレーニングの場を提供するチャレンジショップを実施する。地方創生推進交付金を活用したチャレンジショップ事業の支援内容や場所設定を精査し、新たなチャレンジショップ支援制度を創設する。また、つくば市創業支援等事業計画に基づく、つくば創業支援ネットワークにおける支援及び、新規創業促進補助金、既存商店街等空き店舗活用補助金により創業を促進する。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、伴走型の支援により、各々のビジネスプランの強味や課題が明確になり、顧客獲得の場として、成功の可能性を探ることができただけでなく、資金面のリスクに対して正当な評価が可能となる等、創業に弾みをつけた。また、創業支援事業のPRにもつながり、新規創業希望者も増加した。							
重要業績 評価指標 (KPI)		チャレンジショップ出店者数(交付金を活用できる2021年度で終了、その実績を踏まえ2022年度以降は検討)						現状値(指標設定時)		2件	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		4		8		—		—		—	
実績値		0		5							
実施内容 [凡例] 計画 実績	地方創生推進交付金によるチャレンジショップ事業										
	新たなチャレンジショップ支援制度										
	新規創業促進補助金										
	既存商店街等空き店舗活用補助金										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		12,450	3,370	17,400	17,845	10,332		9,725		9,725	
備 考											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	109-1	公約事業名称	企業の流出を食い止めるための中心市街地でのオフィス環境充実〔既存空き物件情報発信等〕				担当部課	経済部産業振興課			
内容		中心市街地に賃貸オフィスを所有する民間事業者や宅建協会等と連携し、既存空き物件等の情報収集を行い、市内進出や市内で事業拡大を考える事業者に対し発信していく。また、新規及び事業拡大を考えている事業者へフォローアップを行い、市内で事業が継続できるような受入環境の向上を図る。〔既存空き物件情報発信等〕									
進捗評価		順調 A	評価の分析	事業用不動産物件照会(宅建協会との連携事業)について、市ホームページで周知を図るとともに、新規及び事業拡大を検討している事業者へ物件情報を提供することができた。また、受入環境の向上を図るため、事業者からの相談環境を整えた。							
重要業績 評価指標 (KPI)		新規立地希望者及び市内移転希望事業者へのフォローアップ支援件数について、2024年度までに15件とする。 (累計)					現状値(指標設定時)		0件		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		3		6		10		15	
実績値		—		5							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	物件情報収集										
	情報発信方法の検討										
	情報発信										
	フォローアップ										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	0	0	0		0		0	
備 考											

公約 番号	109-2	公約事業名称	企業の流出を食い止めるための中心市街地でのオフィス環境充実〔多様な働き方を支援する場の整備等〕					担当部課	都市計画部学園地区市街地振興課			
内容	センタービルのリニューアルにあわせ、多様な働き方を支援する場を整備するとともに、駅に近接した国家公務員宿舎跡地等では駅前にふさわしい都市機能導入を検討するなど、オフィス環境を充実させる。〔多様な働き方を支援する場の整備等〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		つくばセンタービルにおいてつくばまちなかデザイン株式会社が整備する「働く人を支援する場」が2022年5月にオープン予定。国家公務員宿舎跡地については、2021年12月に市場型サウンディング調査を実施。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	整備支援											
	土地利用検討											
	実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	・2021年4月1日に市と地域の事業者が連携して設立した「つくばまちなかデザイン株式会社」につくばセンタービルの一部を貸し付け、同社が資金調達を行い、「働く人を支援する場」の整備を実施。 ・2021年12月に関東財務局と共同で市場型サウンディング調査を実施。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	110	公約事業名称	企業誘致のための受け入れ環境の充実				担当部課	経済部産業振興課 都市計画部地域開発振興室				
内容		茨城県や庁内関係部署と連携し、地域未来投資促進法を活用して産業用地の確保を図る。また、テレワーク等の働き方の多様化を進める企業を支援するため、駅周辺にサテライトオフィス等の確保を検討する。										
進捗評価		順調 A	評価の分析	茨城県や関東経済産業局と協議し、地域未来投資促進法を活用した産業用地の確保に向けた取組を進めている。								
重要業績 評価指標 (KPI)		—					現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	庁内関係部署との調整 地域経済牽引企業の確保 基本計画・土地利用調整計画の作成 物件の確保及び支援制度の検討											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	885		0		0	
備考		・既存工業団地立地企業へのアンケートを実施(回収率43%)。結果を基に、産業用地の検討中。 ・基本計画の案を策定し、県と関東経産局との協議を開始。										

公約番号	111	公約事業名称	物産品の販路開拓やブランディングをサポート				担当部課	経済部産業振興課			
内容		市認定制度による商品のPR及び認定制度への再チャレンジ支援、市外開催の物産展等への斡旋や展示会への出展助成、商品やパッケージの改良について専門家から助言を受けられる場の提供などの支援策を通じて、事業者の販路開拓やブランディングを支援する。									
進捗評価		順調 A	評価の分析		販路開拓の目的で、つくばコレクション認証事業者が市内大型SCにてイベントを開催した。物産品魅力度向上プログラムを開始し、パッケージデザイン編として、市民モニターによるWEBアンケートと個別相談会を実施した。						
重要業績評価指標 (KPI)		販路開拓・ブランディング支援制度の利用者数(累計)					現状値(指標設定時)		0人		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		0		8		— → 15		— → 22		— → 30	
実績値		0		8							
実施内容 [凡例] 計画 実績	物産品の認定 物産展等への斡旋										
	販路開拓・ブランディング 支援制度設計										
	販路開拓・ブランディング 支援										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		1,727	984	2,446	1,653	2,364		2,364		2,364	
備考		つくば市産業戦略に基づき、2022年度以降の目標値を設定した。 【実績値内訳】 販路開拓支援(販路拡大支援):5件、ブランディング支援(チャレンジ支援):3件									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	112-1	公約事業名称	日本酒・ワイン等の地酒振興に向けた取り組みを推進〔地酒の普及活動等〕				担当部課	経済部産業振興課				
内容	つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例に基づき、市内事業者等と連携し普及活動を推進する。県酒造組合とのタイアップイベントの開催や、市と議会、観光コンベンション協会、生産者、取扱事業者等で構成する協議会の創設等も視野に入れ、地酒の普及を通して、地場の食文化への理解を深め、市内産業の活性化に寄与する。〔地酒の普及活動等〕											
進捗評価	遅れ C		評価の分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業着手を見送っていたため遅れが生じた。								
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	推進事業の検討											
	協議会設立の検討											
	普及活動の実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	500		500		500	
備考	つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例は、2020年1月1日施行。											

公約 番号	112-2	公約事業名称	日本酒・ワイン等の地酒振興に向けた取り組みを推進〔ワイン産業の振興等〕				担当部課	経済部農業政策課				
内容	つくばワイン・フルーツ酒特区を活用し、ワイン用ぶどうの作付けを希望する農業者への支援と製品化されたワインの消費拡大を図る。〔ワイン産業の振興等〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		新規作付け希望者に対して農地の紹介や既存の取り組み者との連携を促すことで、就農へつなげることができ、生産農家が増加した。							
重要業績 評価指標 (KPI)	ワイン用ぶどう生産農家数(累計)						現状値(指標設定時)		3経営体			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			3		4		5		—		—	
実績値			3		4							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	ワイン用ぶどう栽培支援 醸造促進支援 消費拡大支援											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			700	0	600	462	660		660		660	
備考	・ワイン消費拡大のためのPRIは地産地消推進専用ウェブサイト「Farm to Table つくば」にて実施した。 ・2023年度以降の目標値は、2022年度までの実施状況を踏まえて設定する。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	113	公約事業名称	地元飲食店でのつくば産農産物の使用促進				担当部課	経済部農業政策課			
内容	市産農産物を取り扱う地域飲食店を応援するための地産地消レストラン事業を推進し、地元における市産農産物の消費拡大を促進する。										
進捗評価	順調 A		評価の分析	専用ウェブサイトやSNSを通して地産地消認証店の周知を行ったことで、店舗数が153件となり、目標を達成した。							
重要業績 評価指標 (KPI)	地産地消認証店舗数(累計)						現状値(指標設定時)		49店舗		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		100		150		150 → 155		150 → 160		150 → 165	
実績値		126		153							
実施内容 [凡例] 計画 実績	地産地消レストラン事業 認証店の募集										
	同認証店の周知										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		2,855	2,855	1,474	1,474	673		673		673	
備 考	2021年度に目標値を達成したため、2022年度以降の目標数を上方修正する。										

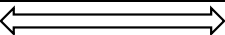
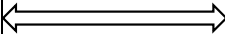
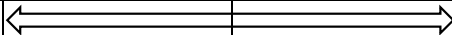
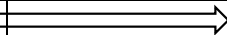
公約番号	114	公約事業名称	「地産地消推進ガイドライン」により学校給食での地元食材利用を推進				担当部課	教育局健康教育課			
内容		地元農家から、野菜の積極的購入を行う。また、生産者と給食センター等による意見交換会を行う。 栄養士によるつくば市産食材を多く使用したメニューや商品を開発し、給食への安定的な供給を図る。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析		目標値には達しなかったものの、各給食センターの献立に地産地消献立を取り入れ、つくば市産食材の導入を推進するとともに、つくば市産小麦のユメシホウパンや、さつまいもコロッケなどの商品を開発し、給食提供を行った。						
重要業績評価指標 (KPI)		学校給食の献立に使用した食品のうち、つくば市で生産・収穫された食品数の割合 (%)						現状値 (指標設定時)		17.2%	
								現状値 (2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		20.0		20.0		20.0		—	
実績値		—		18.8							
実施内容 [凡例] 計画 実績	地場産物の安定供給の体制づくり										
	献立作成及び使用食材の検討										
	生産者との意見交換会の実施										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		1,339,333	1,160,913	1,372,058	1,070,928	1,408,699		1,408,699		1,408,699	
備考		目標値については、つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドライン取組実施期間(2019年度から2023年度までの5年間)の中間年度である2021年度当初に設定することになっており、当該目標値を20%と設定した。									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	115	公約事業名称	若手農業者等の新規就農者育成による担い手確保					担当部課	経済部農業政策課		
内容		茨城県やJA等の関係機関と連携し、就農に必要な情報提供や就農相談により、新規就農者の掘り起こしを行う。また国や市の補助金等の利用促進、プロ農家による新規就農者に向けた経営プログラムを提供し、就農後の経営安定化に寄与する。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	就農相談会や情報提供及びセミナーを開催し、2021年度は新規就農者の内4名が補助金の受給を開始し、目標値を達成した。							
重要業績評価指標 (KPI)		新規就農者育成総合対策及び新規就農者経営支援補助金の受給者合計数(累計)						現状値(指標設定時)	5経営体		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合	—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		5		10		15		20		25	
実績値		6		10							
実施内容 [凡例] 計画 実績	補助金・交付金による支援										
	セミナー・交流会の実施										
	課題への相談体制の構築、運営										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		56,998	40,247	49,593	29,599	49,593		49,593		49,593	
備考		KPIについて:次世代人材投資資金の名称が2022年度から新規就農者育成総合対策(以下後継事業という)となるため、KPIの文言を変更。後継事業には、雇用就農資金(農の雇用事業)も含まれるため、2022年度以降のKPIは、新規就農者経営支援補助金(市単補助)、後継事業の経営開始資金、雇用就農資金の受給者数にて計上する。									

公約 番号	116	公約事業名称	研究機関や企業等が持つ技術の社会実装のため、必要となる調整ごとを市役所が 徹底支援				担当部課	政策イノベーション部科学技術振興課				
内容	未来社会を先導する先進的な取組を呼び込み、地域課題の解決や市民生活の向上等に資する民間の創意工夫を促すため、IoTやAIなどの革新的な技術を活用した製品、サービス等の社会実装に向けた実証実験を全国から公募し、実験場（フィールド）の提供やモニターの確保、費用負担などの支援を行う。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		市の課題解決を重視するため、テーマに加え、具体的な市の7つの課題を設定し、公募を行った。 社会実装を推進するため、採択事業者への専門家の助言機会の提供を、実験の計画段階及び終了後に行った。							
重要業績 評価指標 （KPI）	実証実験の採択件数（2020～2024年度で25件を実施）						現状値（指標設定時）		5件			
							現状値（2021年度末） ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			5		5		5		5		5	
実績値			5		6							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	企画提案の募集											
	企画提案の採択											
	採択案件の支援											
	事業展開の方策検討											
事業費見込み（千円）			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			5,823	4,002	7,610	5,351	6,456		6,446		6,446	
備考	・全国各地から提案17件のうち6件の実証実験を採択及び支援した。（R2企業版ふるさと納税繰越金） ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公開型オンライン最終審査会をリアルタイム配信のもと実施した。 ・今年度から各関係部署と連携し、実証実験の支援を行った。今後、各実験成果を市の課題解決に繋げていく。											

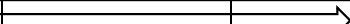
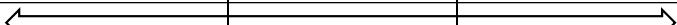
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	117	公約事業名称	老朽化が課題となっているセンタービル・センター広場のリニューアル				担当部課	都市計画部学園地区市街地振興課				
内容		研究学園都市のシンボルとして長年親しまれているつくばセンタービルを、市民活動の拠点として再整備するとともに、市民窓口や働く人が交流する場を新設し、駅前にふさわしい持続可能都市の拠点としてリニューアルする。また、つくばセンター広場は市の玄関口である駅前広場と連続したにぎわいや交流を生み、つくばならではの街並みと調和を図る広場にリニューアルする。										
進捗評価		順調 A	評価の分析	2021年3月に公共施設基本計画を策定。市民意見募集等を経て現在実施設計中。								
重要業績評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	基本計画											
	実施設計											
	整備											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			9,900	9,790	63,019	0	266,590		546,821		87,522	
備考		・公約番号5、6につくばセンタービルリニューアル後の関連施策を掲載。 ・2020年6月にリニューアルの方向性を公表、市民意見募集を実施。12月にオープンハウスを実施。2021年3月に公共施設基本計画を策定。 ・2021年6月に基本計画を一部変更、10月に市民意見募集、12月に基本計画を一部変更。2022年2月に計画に対する説明会と市民意見募集を実施。これらと並行して実施設計を実施。										

公約番号	118	公約事業名称	中心市街地の再生を担うまちづくり会社の立ち上げ						担当部課	都市計画部学園地区市街地振興課			
内容	まち全体の価値を向上させ、つくば駅周辺と市内外の人の流れを生み出すため、エリアマネジメントを積極的に推進するまちづくり会社を官民連携により設立し、持続あるまちづくりを実現する。												
進捗評価	達成 S		評価の分析	2021年4月1日に市と地域の事業者が連携して「つくばまちなかデザイン株式会社」を設立した。									
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—				
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—				
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		
目標値			—		—		—		—		—		
実績値			—		—								
実施内容 [凡例] 計画 実績	設立												
	各種調整												
	各種支援												
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
			60,000	60,000	0	0	0		0		0		
備考	2021年4月1日に市と地域の事業者が連携して「つくばまちなかデザイン株式会社」を設立した。2021年度、同社は、つくばセンター地区活性化協議会の事務局運営、つくばセンタービル地下駐車場の運営、「働く人を支援する場」の整備等を実施した。												

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	119	公約事業名称	中心市街地の中核となるエリアに都市機能を集積させるため、マンション等の新たな住宅建設に関する制限導入				担当部課	都市計画部都市計画課、学園地区市街地振興課				
内容	つくば駅に近接するコアエリアの拠点性とアクセスの良さをいかし、駅前にふさわしい都市機能を集積させるため、地区計画による住宅建築の制限を検討する。											
進捗評価	おおむね順調 B		評価の分析	2020年度に区域、手法を検討し、2021年7月に一部地権者との協議を実施した。								
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	現況調査											
	区域、手法の検討											
	地域の意見聴取、制限内容の検討											
	都市計画手続き											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	8,890	0	0		0		0	
備考	・2020年度に区域、手法を検討し、2021年7月に一部地権者との協議を実施。 ・都市計画手続き前に地域の意見を確認し制限内容を調整する必要があることから、実施内容として追加。これに伴い都市計画手続きを2023年度に修正。											

公約番号	120	公約事業名称	国家公務員宿舎跡地の再開発によるつくば駅周辺の活性化を促進				担当部課	都市計画部学園地区市街地振興課				
内容	つくば駅周辺の大街区宿舎跡地について、大規模で駅に近い希少な空間をいかし、住宅だけでなく複合的な都市機能の誘導に向け、様々な誘導施策を検討する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	地権者である関東財務局との協議を経て、2021年12月に共同でサウンディング型市場調査を実施した。								
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	土地利用方針の検討											
	地権者との調整											
	都市機能誘導											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	6,446	54	2,156		0		0	
備考	・2021年12月に関東財務局と共同でサウンディング型市場調査を実施。 ・検討においては全庁的な体制が必要。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	121	公約事業名称	図書館懇話会提言書で示された公園のように自由な図書館「ふれあいライブラリーパーク」の理念を実現する中央図書館の施設改修				担当部課	教育局中央図書館				
内容	2020年3月につくば市図書館懇話会から提出された提言書(つくば市図書館の将来構想2020 ふれあいライブラリーパーク～人と人、人と本、本と本がふれあう公園のように自由な図書館で、地域の課題を解決し、新たなモノ／コトを生み出す)に示された滞在型図書館を実現するために、中央図書館の施設改修を行う。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		2021年度つくば市立中央図書館利用者満足度調査において、施設の課題や改修に関する要望等の設問を設け意見を集めた。施設改修についての市民意見を聴取するため、懇話会等の設置について検討することとなった。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	先進事例等調査											
	市民との意見交換											
	施設改修方針 計画策定											
	施設改修工事設計											
	施設改修工事施工											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		500		0	
備考												

公約番号	122	公約事業名称	廃校を活用した文化芸術の新たな活動拠点整備					担当部課	市民部文化芸術課 都市計画部公有地利活用推進課			
内容	廃校を活用し、アーティストが作品制作や発表の場として利用するほか、地域のコミュニティスペースとなる文化芸術創造拠点の整備を行う。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		「文化芸術創造拠点の形成」についてつくば市文化芸術審議会に諮問し、審議会で審議した結果、計画地を旧田水山小学校とし、基本計画の策定に着手するよう答申を得た。							
重要業績評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	地元説明・試行事業											
	基本計画の策定											
	計画地 設計・工事											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			100	100	520	522	13,621		20,000		200,000	
備考	・2021年度は、文化芸術審議会において、「文化芸術創造拠点の形成」について専門家などを招集し審議を行った。 ・2022年度は、地域住民の意見も交えた上で、基本計画の策定を行う。設計・工事着手は、2023年度以降を予定している。 ・工事計画や事業計画などの具体的な立案とともに、地域住民を含めた市民への説明会などの実施を検討する。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	123	公約事業名称	コロナで活動が困難になっている文化芸術・伝統芸能の支援				担当部課	市民部文化芸術課			
内容		(公財)つくば文化振興財団と連携し、市内の文化団体やアーティストへの新型コロナウイルスの影響等の調査を行い、活動を支援する。									
進捗評価		おおむね順調 B	評価の分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、集客を伴うイベントは中止したが、(公財)つくば文化振興財団の主導で、外部講師を招いて市内在住・在勤・在学のアーティスト向けワークショップを実施した。							
重要業績評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	アーカイブ・情報発信										
	実情調査							今後の状況に応じて対応を検討する。			
	市内アーティスト・文化団体への活動支援										
	オンライン奨励事業・文化芸術応援チケット事業										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		9,500	6,388	600	0	600		0		0	
備考		・2021年度は、当初予定していたアーティストへの公演依頼等は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、(公財)つくば文化振興財団と連携し、市内のアーティストを対象としたワークショップを実施した。 ・今年度開催した事業の中で、新型コロナウイルス感染症の影響でアーティスト同士の繋がりが希薄になっているという意見が見られたため、2022年度は、アーティスト活動の場を提供するとともに、横のネットワークを構築・展開していくことを目標とする。									

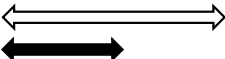
公約 番号	124	公約事業名称	公式記録の取れる陸上競技場の整備				担当部課	市民部スポーツ施設整備室			
内容		公式記録の取れる陸上競技場の整備について、その在り方や計画地の選定を行い、事業の必要性や妥当性等に関する大規模事業評価を経た上で、施設整備を行う。									
進捗評価		おおむね順調 B		評価の分析		2021年度中に大規模事業評価の答申を受け、市の方針を決定する予定であったが、市の方針決定が2022年度になる予定のため、スケジュールを見直した。					
重要業績 評価指標 (KPI)		—				現状値(指標設定時)		—			
						現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	基本構想策定 (種別・計画地等)										
	大規模事業評価										
	基本計画策定										
	基本・実施設計業務										
	建設工事										
	施設供用準備 (条例制定、維持管理)										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		9,687	9,192	0	0	0		0		0	
備考		・2020年7月～3月 陸上競技場整備基本構想策定検討会議 ・2021年4月 (仮称)つくば市陸上競技場整備基本構想策定 5月 全員協議会報告 6月 市民説明会 7月～3月 大規模事業評価委員会									

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	125	公約事業名称	障害者スポーツ支援と体験機会のさらなる充実				担当部課	市民部スポーツ振興課 福祉部障害者地域支援室				
内容	つくば市の障害者スポーツ人材を育成し、人材バンク制度などの障害者スポーツを支える体制の構築を検討する。また、スポーツイベント等で障害者スポーツを体験する機会を設ける。 スポーツ・レクリエーションなどを通じて、相互理解を深め、障害者スポーツの体験機会を提供するため、障害児運動教室やおひさまサンサン生き生きまつりを開催する。											
進捗評価	遅れ C		評価の分析		新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止としたイベント等が多く目標値には達しなかったものの、小規模の教室を開催した。これまで、市HP、広報紙、メールサービス等を活用して教室等の周知を行ってきたが、参加者に広がりが見られない。							
重要業績評価指標 (KPI)	障害者スポーツを含めたスポーツ・レクリエーションイベント等の開催数						現状値(指標設定時)		6回			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			6		7		8		9		10	
実績値			7		5							
実施内容 [凡例] 計画 実績	障害者スポーツ支援体制の検討・構築											
	障害者スポーツ支援制度等の運用											
	障害者スポーツのサポーター養成講習会の開催											
	障害者スポーツを含めたスポーツ・レクリエーションイベント等の開催											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			640	465	3,262	426	3,355		0		0	
備考	【実施内容】 障スポサポーター養成講座、車いすバドミントン教室、障害者スポーツニュースの配信 今後は、効果的な周知方法や、障害者スポーツに興味を持ってもらうための方策の検討が必要である。											

公約 番号	126	公約事業名称	シャワーを浴びられるランニング拠点の充実				担当部課	市民部スポーツ振興課				
内容	ランナーに愛されるまちを実現する一環として、つくば駅周辺の中心市街地等において、シャワーを浴びられるランニング拠点を整備する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		2021年度にランニングステーションの試験運用を開始することができた。 ホームページやSNSを活用してのPR、広報紙への掲載、スポーツ施設等へのチラシの配布、企業やランニングクラブへの周知等行ってきたが、利用者は伸び悩んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響も考えられるため、試験運用を継続し、更なる周知、アンケート等の実施により多くの声を聴取し、事業の在り方等についても検討していく。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	ランニング拠点の調査・検討、試験運用の検討											
	試験運用及びアンケート調査の実施											
	試験運用及びアンケート調査結果の分析											
	ランニング拠点の整備(ランステ本格運用)											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	343	218	466		0		0	
備考	ロードマップ実現のため、令和3年度に実施内容を見直し、より具体的なものとした。 【実施内容:ランニングステーション試験運用開始、ランニングステーションを活用したランニング講座の実施、ランニングマップ作成(動画QRコード、ランステ入り)、ランニングマップの紹介動画3本を撮影し、YouTubeチャンネル「世界のあしたが見えるまち。つくば」で配信】											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	127-1	公約事業名称	筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荃崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実[筑波ふれあいの里]				担当部課	経済部観光推進課、筑波ふれあいの里			
内容		2020年度に策定した筑波ふれあいの里アウトドアフィールド基本構想に基づき、魅力あるアウトドア体験施設としての整備を行う。〔筑波ふれあいの里〕									
進捗評価		遅れ C	評価の分析	新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用者数が目標値に達成することが困難であった。筑波ふれあいの里アウトドアフィールド基本構想及びキャンプ場の測量の一部が完了している。							
重要業績評価指標 (KPI)		筑波ふれあいの里利用者数						現状値(指標設定時)		17,471人	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		3,000		8,800		13,100		17,500		21,800	
実績値		5,484		6,403							
実施内容 [凡例] 計画 実績	基本構想策定										
	測量・設計										
	工事										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		8,975	8,932	10,769	7,326	15,059		126,400		0	
備考		・2021年度にキャンプ場の測量設計を行い、2022年度からキャンプ場のリニューアル設計を行っていく。 ・設計完了後、2023年度からキャンプ場のリニューアル工事を実施予定。 ・今後、施設が充実し魅力度が向上したことを利用者にアピールすることで、目標値の達成に努める。									

公約番号	127-2	公約事業名称	筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荃崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実〔豊里ゆかりの森〕				担当部課	経済部観光推進課、豊里ゆかりの森			
内容	豊里ゆかりの森の各既存施設を最大限に活用し、利用者のニーズに合致した魅力あるアウトドア体験施設としての整備を行う。〔豊里ゆかりの森〕										
進捗評価	遅れ C	評価の分析	緊急事態宣言等による利用停止を始めとした新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、利用者数が目標値に達成することが困難であった。バーベキュー場屋根改修工事及びキャンプ場女子トイレ改修工事並びにキャビンの改修設計を実施し、ゆかりの森の魅力度の向上を図った。								
重要業績評価指標 (KPI)	豊里ゆかりの森利用者数						現状値(指標設定時)		75,820人		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		40,000		50,000		70,000		76,000		78,000	
実績値		21,077		30,959							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	調査・分析	公約番号93-1と同一の実施内容									
	設計										
	工事										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		2,475	1,865	17,061	15,656	21,000		54,500		4,500	
備考	・2021年度は、バーベキュー場屋根改修工事及びキャンプ場女子トイレ改修工事並びにキャビンの改修設計を実施。 ・設計の次年度に工事を実施予定。 ・公約番号93-1と同一の内容。										

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	127-3	公約事業名称	筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荻崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実[荻崎こもれび六斗の森]				担当部課	経済部観光推進課、荻崎こもれび六斗の森			
内容		牛久沼周辺観光を推進するため、荻崎こもれび六斗の森の現状を分析し、利用者のニーズに合致した魅力あるアウトドア体験施設の整備を行う。[荻崎こもれび六斗の森]									
進捗評価		遅れ C	評価の分析	2021年2月にサニタリー棟完成、2022年3月に団体用屋根付きBBQ場が完成し施設の充実を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が長引き、利用者が外出を自粛したことなどから、利用実績が目標値に届かなかった。							
重要業績評価指標(KPI)		荻崎こもれび六斗の森利用者数					現状値(指標設定時)		8,896人		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		4,000		8,000		9,000		11,000		12,000	
実績値		3,691		4,894							
実施内容 [凡例] 計画 実績	調査・分析	公約番号99と同一の実施内容									
	設計										
	工事										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		115,020	87,208	109,788	17,277	30,455		31,705		29,813	
備考	・公約番号99と同一の実施内容。 ・設計完了後、2020年度にサニタリー棟と駐車場を整備し、2021年度に団体用バーベキュー場を整備した。 ・今後、施設が充実し魅力度が向上したことを利用者にアピールすることで、目標値の達成に努める。										

公約番号	128	公約事業名称	筑波山観光案内所の建て替えによる観光客の利便性向上					担当部課	経済部観光推進課		
内容	インバウンドを含めた観光客の利便性を向上するため、開放的で魅力ある観光案内所を整備し、筑波山観光の更なるにぎわいを創出する。										
進捗評価	順調 A		評価の分析	2019年度に実施した設計を基に、訪日外国人及び身体障害者にも利便性が高い筑波山観光案内所を整備した。							
重要業績評価指標 (KPI)	筑波山観光案内所利用者数(うち外国人)							現状値(指標設定時)	38,037人(うち外国人1,437人)		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合	—		
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度					
	目標値	20,000(500)	38,000(500)	40,000(2,000)	41,000(2,300)	42,000(2,500)					
	実績値	22,660(508)	未確定								
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	設計										
	工事										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		62,549	61,019	185,282	182,459	5,456		—		—	
備考	・2020年度に筑波山観光案内所擁壁改築にかかる設計を、2021年度に工事を完了した。 ・2021年度に筑波山観光案内所の改築工事が完了した。 ・2022年度に展望デッキの整備にかかる設計を行い、2023年度に工事予定。 ・2022年度に筑波山観光案内所の改築工事に伴い撤去した市営筑波山駐車場満空表示板を観光案内所内敷地に再設置予定。										

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約番号	129	公約事業名称	道の駅整備の検討を推進					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
内容	安全で快適に道路を利用するための道路交通環境を提供するとともに、地域のにぎわいを創出するため、道の駅整備の検討を進める。											
進捗評価	順調 A		評価の分析	情報収集や調査、筑波大学とのプロジェクト型共同実習の活用により、道の駅についての知見の蓄積につながった。								
重要業績評価指標 (KPI)	—							現状値(指標設定時)		—		
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容	[凡例]	計画 実績	調査・研究									
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	つくば市と筑波大学とのプロジェクト型共同実習において、「道の駅設置検討に関する事例調査」をテーマとして、収集した全国の道の駅の情報を基に、目的や特徴に応じて分類化し、それらが市のどのエリアに適しているかについての調査結果の報告を受けた。											

公約番号	130	公約事業名称	多言語での情報発信や案内の充実により外国人観光客にもさらに魅力的な観光地へ				担当部課	経済部観光推進課				
内容	市内観光スポットの観光案内表示の多言語化や、外国人向けウェブサイト情報の充実など、インバウンドの受け入れ態勢を整備する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		新型コロナウイルス感染症により外国人旅行者の入国が難しい状況であるが、実施内容については順調に推移している。							
重要業績評価指標 (KPI)	BiViつくば観光案内所・筑波山観光案内所の外国人利用者数 ()内は全体利用者数						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		未確定			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			1,000人(35,000人)		1,000人(53,000人)		3,000人(60,000人)		3,800人(63,000人)		4,500人(66,000人)	
実績値			1,076人(36,991人)		未確定							
実施内容 [凡例] 計画 実績	観光案内掲示板の 多言語QRコード導入											
	インバウンドに対応した 観光案内所の整備による 情報発信											
	外国人向けウェブサイト の情報更新											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			383	383	5,775	5,775	990		0		0	
備考	・インバウンドに対応した筑波山観光案内所の整備として、デジタルサイネージとタブレット型翻訳機を設置した。 ・KPIについては、算出根拠としていた「茨城県訪日外国人旅行者数」の統計が廃止となったため変更した。 ・KPIの算出根拠: BiViつくば観光案内所と筑波山観光案内所への外国人来訪者数 ()内は全体利用者数											

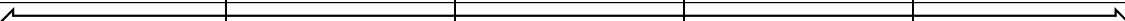
市長公約事業のロードマップ2020-2024個票（2022改訂版）

公約 番号	131	公約事業名称	筑波山山頂水道の湧水対策を推進				担当部課	経済部観光推進課 上下水道局水道工務課			
内容		筑波山観光用水である筑波山山頂水道の水源の湧水量をモニタリングし、湧水状況を継続的に調査する。また、緊急対策として、漏水が多発している老朽化した管路を更新する。									
進捗評価		順調 A	評価の分析	年間を通し湧水量のモニタリングを行い、管路更新工事を完了した。							
重要業績 評価指標 (KPI)		—						現状値(指標設定時)		—	
								現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—	
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	湧水量調査・分析										
	管路更新測量・設計										
	管路更新工事										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		23,096	18,054	151,089	130,375	423		423		423	
備 考		・2021年度に女体山頂～つつじヶ丘公衆トイレの配水管を更新したことで、頻発していた漏水を防ぐことができた。 ・筑波山の湧水量が減少傾向にあるため、引き続きモニタリング調査を実施し、源泉の湧水量を注視していく。									

公約 番号	132	公約事業名称	公園に滞在したくなるようなプレイスメイキングや店舗の出店促進					担当部課	都市計画部学園地区市街地振興課 建設部公園・施設課			
内容	駅前の公園では、多様なアクティビティや交流を生む場、にぎわいを生み出す店舗、オープンカフェやイベントなどの実施に向けた仕組みづくりや環境整備を進め、こどもから高齢者までのあらゆる世代が楽しめる特色や魅力のある空間を創出する。											
進捗評価	順調 A		評価の分析		カフェの一時的な出店やイベントを開催するとともに、カフェ等の恒常的な出店が可能となる仕組みについて検討を進めた。また、年間を通して適正な草刈りなどの植栽維持管理を実施することで、出店やイベントの開催につながった。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	検討・計画 実施 維持管理の実施											
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			26,799	26,799	25,538	25,538	23,094		23,094		23,094	
備考	・条例に基づく行為許可やベデカフェ要項により店舗やカフェの一時的な出店やイベントの開催が実現した。 ・カフェ等の恒常的な出店が可能となる仕組みについて検討を行った。 ・年間を通して芝刈りや低木の管理などの公園維持管理を実施した。 ・職員による園内点検を年2回実施し、軽微なものについては当年度対応、大規模になる場合に予算化などの対応をする。 ・事業費見込みについては、イベント開催が多い中央公園、大清水公園、研究学園駅前公園の維持管理費・環境整備費を計上。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約 番号	133	公約事業名称	子どもが自由に自然の中で遊べるプレイパークの整備を推進				担当部課	建設部公園・施設課			
内容		流星台プレイパークについては、利用団体と協議しながら整地を含めた環境整備を実施する。 また、公園を利用してプレイパークを実施している箇所については、利用団体と協議して環境整備を実施する。 新規のプレイパークとして公園を利用したい相談がきた場合については、周辺状況を確認しながら調整する。									
進捗評価		順調 A		評価の分析		流星台プレイパークについて、利用団体と調整して環境整備を実施することができた。					
重要業績 評価指標 (KPI)		—					現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 [凡例] 計画 実績	流星台プレイパーク 整備工事										
	研究学園駅前公園・中央 公園環境整備										
	実施団体との調整										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		800	745	800	92	800		800		800	
備 考		事業費見込みについては、流星台プレイパーク整備に要する経費を計上。									

公約 番号	134-1	公約事業名称	公園ごとの特色を大切にした維持管理と情報発信の充実〔官民連携・地域住民との連携等〕				担当部課	都市計画部学園地区市街地振興課				
内容	駅前の公園やセンター広場は、官民連携により、まちと一体となった維持管理や情報発信を行うことで、市の財政負担を削減しながらまちの魅力を高める。また、地域コミュニティや地域住民による主体的な維持管理と活用を促進し、公園の価値を向上させる。〔官民連携・地域住民との連携等〕											
進捗評価	順調 A		評価の分析		吾妻一丁目国家公務員宿舎跡地について、2021年9月に市、マンション事業者、つくばまちなかデザイン株式会社で連携協定を締結。							
重要業績 評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—			
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—			
			2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値			—		—		—		—		—	
実績値			—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績		官民連携手法の検討										
												
												
												
事業費見込み(千円)			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
			0	0	0	0	0		0		0	
備考	吾妻一丁目国家公務員宿舎跡地について、2021年9月に市、マンション事業者、つくばまちなかデザイン株式会社で、周囲の環境と一体となった魅力ある開発を推進することを目的とする連携協定を締結。											

市長公約事業のロードマップ2020-2024個票(2022改訂版)

公約番号	134-2	公約事業名称	公園ごとの特色を大切に維持管理と情報発信の充実〔公園の維持管理等〕				担当部課	建設部公園・施設課			
内容		周辺環境や周辺に住む人の意見を確認しながら、公園ごとの特色をいかした植栽の維持管理や遊具の更新を実施する。 公園の価値が向上できるような情報発信ができるよう関連部署と調整する。〔公園の維持管理等〕									
進捗評価		順調 A	評価の分析	公園施設長寿命化計画に基づき、計画された公園施設更新を実施するとともに、植栽の維持管理について、年間を通して適正に実施した。							
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	長寿命化計画に基づく遊具更新										
											
	公園植栽の維持管理										
											
関連部署との調整											
											
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		56,550	12,809	31,418	70,441	60,611		44,522		60,698	
備考	・事業費見込みについては、公園施設長寿命化対策に要する経費を計上。 ・植栽の維持管理については、年間を通して実施する。										

公約番号	135	公約事業名称	スケートボードパークの整備について検討を開始				担当部課	建設部公園・施設課			
内容	公園内でのスケートボードパークの整備について検討する。										
進捗評価	順調 A	評価の分析	整備エリアの調査・測量業務を行い、2022年度の予算に設計・工事費を計上した。								
重要業績評価指標 (KPI)	—						現状値(指標設定時)		—		
							現状値(2021年度末) ※今回、指標設定する場合		—		
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
目標値		—		—		—		—		—	
実績値		—		—							
実施内容 〔凡例〕 計画 実績	調査										
	スケートボード場の イメージ作成										
	計画策定業務										
	設計業務										
	整備工事										
事業費見込み(千円)		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		0	0	1,000	561	53,977		0		0	
備 考	2023年4月、さくら運動公園内においてスケートボードパークの供用開始を目指す。										